

4 調査結果(詳細)

4 - 1 未婚者の結婚の希望の実現

分析対象： 「全体サンプル」のうち 20～49 歳の未婚者及び 「未婚サンプル」

4. 調査結果（詳細）

4-1. 未婚者の結婚の希望の実現

【問 21】あなたは、将来、結婚したいと思いますか。

質問対象：結婚経験のない者（婚約中除く）

男性では「いずれは結婚したい」「結婚するつもりはない」が女性と比べて有意に高く、女性では「すぐにでも結婚したい」「2～3年以内に結婚したい」が男性と比べて有意に高くなっている。

年代別では、年齢が高い層（40～44歳及び45～49歳）では、男女ともに「結婚するつもりはない」が他の年代と比べて有意に高くなっている。

性年代別では、40～44歳の男性及び25～44歳の女性で「すぐにでも結婚したい」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4-1-1 結婚の希望有無(単一回答)

(%)

		すぐにでも結婚したい	2～3年以内に結婚したい	5年以内に結婚したい	いずれは結婚したい	結婚するつもりはない
男性	TOTAL (n=5338)	16.8	12.1	5.5	40.3	25.4
	合計 (n=3048)	13.1	11.0	5.4	44.0	26.5
	20-24歳 (n=748)	5.6	8.2	10.2	56.3	19.8
	25-29歳 (n=611)	10.8	16.9	8.5	40.1	23.7
	30-34歳 (n=499)	13.8	13.6	3.2	39.7	29.7
	35-39歳 (n=424)	15.3	12.7	2.4	41.5	28.1
	40-44歳 (n=427)	21.3	6.8	1.6	40.3	30.0
	45-49歳 (n=339)	19.2	5.9	1.5	38.3	35.1
	合計 (n=2290)	21.7	13.5	5.5	35.2	24.1
	20-24歳 (n=724)	10.8	14.2	13.8	43.9	17.3
女性	25-29歳 (n=457)	23.6	23.9	3.7	30.6	18.2
	30-34歳 (n=316)	32.6	15.5	0.9	27.8	23.1
	35-39歳 (n=284)	34.9	9.5	0.7	30.6	24.3
	40-44歳 (n=276)	25.4	4.7	0.4	37.0	32.6
	45-49歳 (n=233)	17.2	3.4	0.9	30.9	47.6

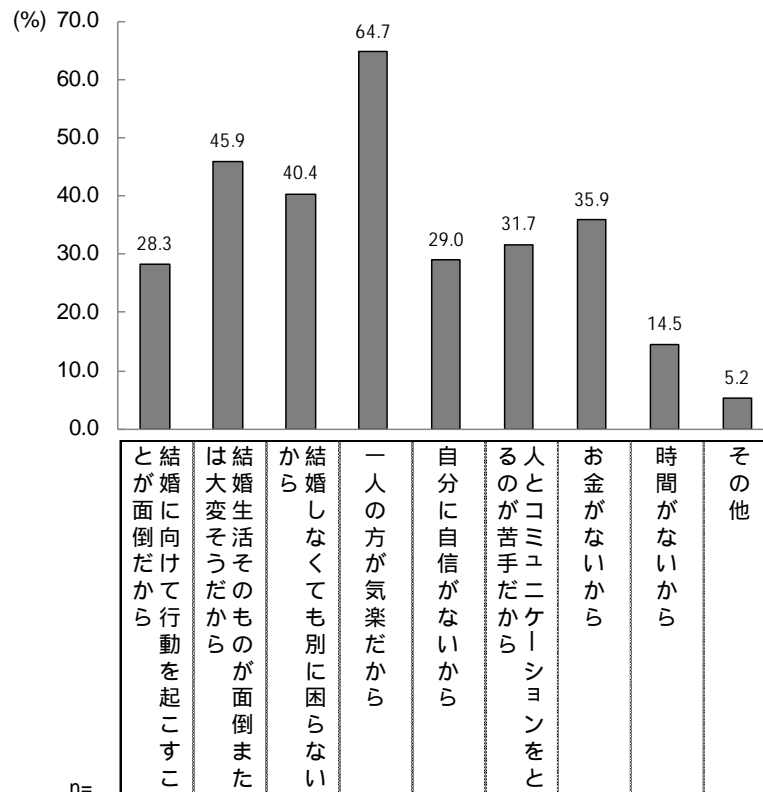
n=		すぐにも 結婚したい	2～3年以内 に結婚した い	5年以内に 結婚したい	いずれは結 婚したい	結婚するつ もりはない	(%)
TOTAL	5338	16.8	12.1	5.5	40.3	25.4	
男性	合計	3048	13.1	11.0	5.4	44.0	26.5
	20-24歳	748	5.6	8.2	10.2	56.3	19.8
	25-29歳	611	10.8	16.9	8.5	40.1	23.7
	30-34歳	499	13.8	13.6	3.2	39.7	29.7
	35-39歳	424	15.3	12.7	2.4	41.5	28.1
	40-44歳	427	21.3	6.8	1.6	40.3	30.0
	45-49歳	339	19.2	5.9	1.5	38.3	35.1
	女性	合計	2290	21.7	13.5	5.5	35.2
20-24歳	724	10.8	14.2	13.8	43.9	17.3	
25-29歳	457	23.6	23.9	3.7	30.6	18.2	
30-34歳	316	32.6	15.5	0.9	27.8	23.1	
35-39歳	284	34.9	9.5	0.7	30.6	24.3	
40-44歳	276	25.4	4.7	0.4	37.0	32.6	
45-49歳	233	17.2	3.4	0.9	30.9	47.6	

【問 22】結婚するつもりがないのはなぜですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のない者

男女とも「一人の方が気楽だから」が最も高くなっている。
 性別では、男性で「お金がないから」が45.1%と女性と比べて有意に高く、女性で「結婚生活そのものが面倒または大変そうだから」が55.5%と男性と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～29歳の女性で「人とコミュニケーションをとるのが苦手だから」が39.4%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 2 結婚をするつもりがない理由(複数回答)



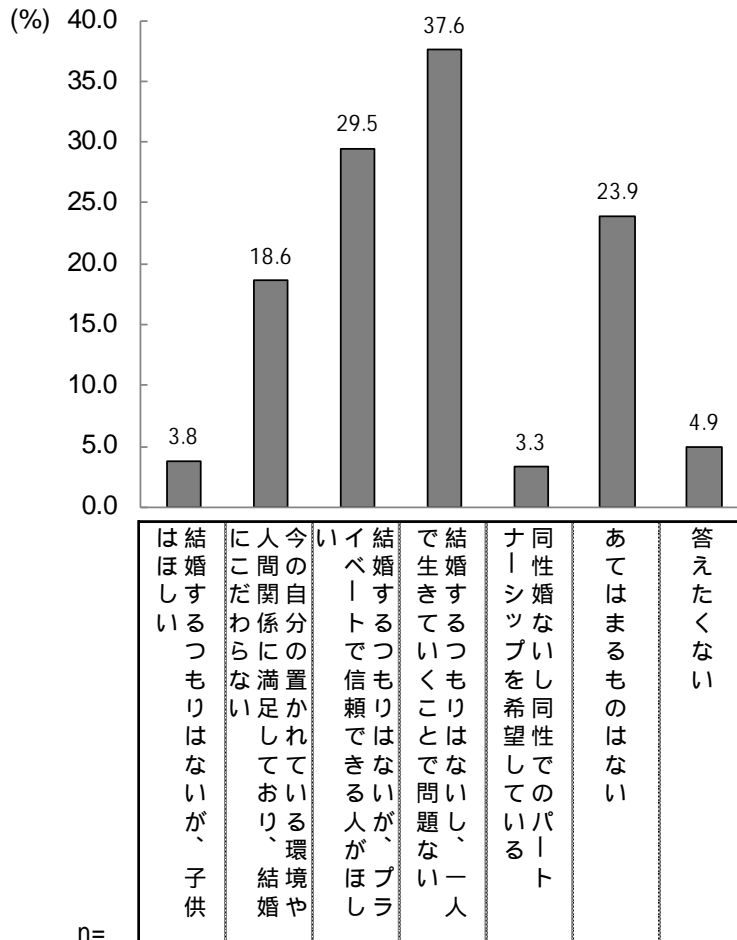
		n=	と結婚に向いて行動を起こすことが面倒だから	結婚生活そのものが面倒または大変そうだから	結婚しなくても別に困らないから	一人の方が気楽だから	自分に自信がないから	人とコミュニケーションをとるのが苦手だから	お金がないから	時間がないから	その他
TOTAL		1358	28.3	45.9	40.4	64.7	29.0	31.7	35.9	14.5	5.2
男性	合計	807	28.4	39.3	38.9	65.9	30.1	31.7	45.1	17.2	4.2
	20-29歳	293	28.3	36.2	38.2	64.5	30.4	36.2	42.3	24.6	4.1
	30-39歳	267	32.2	44.6	40.1	67.0	30.0	31.8	47.6	12.4	3.7
	40-49歳	247	24.3	37.2	38.5	66.4	30.0	26.3	45.7	13.8	4.9
女性	合計	551	28.1	55.5	42.6	62.8	27.4	31.6	22.5	10.5	6.7
	20-29歳	208	25.5	53.8	41.8	59.6	29.3	39.4	22.1	13.0	3.4
	30-39歳	142	32.4	64.1	41.5	71.1	30.3	35.9	27.5	12.0	8.5
	40-49歳	201	27.9	51.2	44.3	60.2	23.4	20.4	19.4	7.0	9.0

【問 23】あなたが思い描く家族形態について、あてはまるものをすべてお選び下さい。

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のない者

男性では「結婚するつもりはないし、一人で生きていくことで問題ない」が39.9%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「結婚するつもりはないが、プライベートで信頼できる人がほしい」が40.1%、「今の自分の置かれている環境や人間関係に満足しており、結婚にこだわらない」が24.5%と男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 3 思い描く家族形態(複数回答)



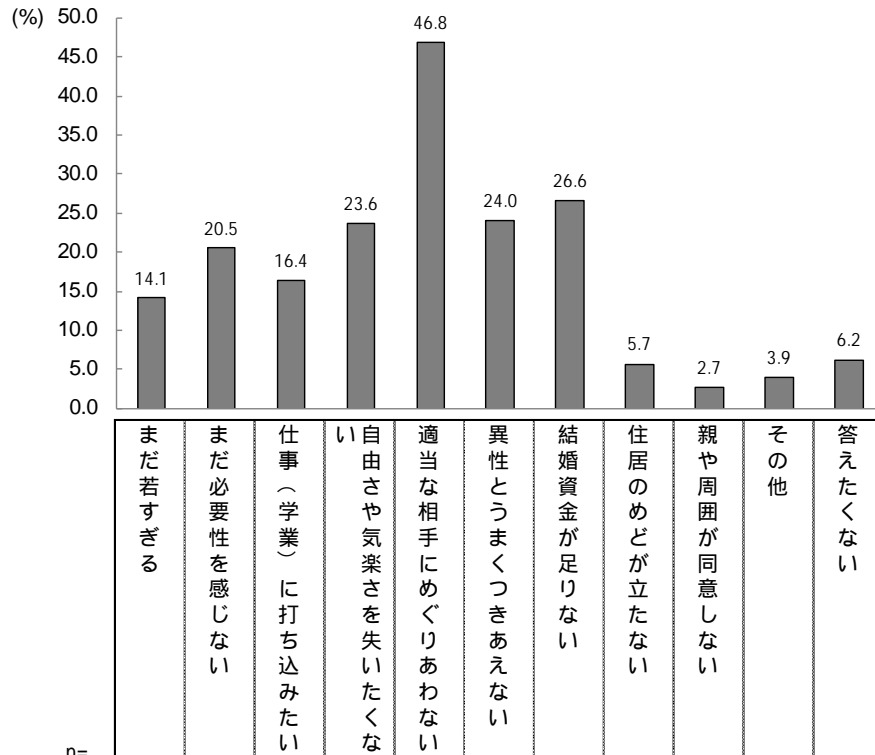
		n=	は結婚するつもりはないが、子供	に人間関係に満足しており、結婚や	今の自分の置かれている環境や	プライベートで信頼できる人がほしい	結婚するつもりはないが、一人で	結婚するつもりはないし、一人で	ナシ	同性婚を希望している	あてはまるものはない	答えたくない
TOTAL		1358	3.8	18.6	29.5	37.6	3.3	23.9	4.9			
男性	合計	807	4.3	14.5	22.3	39.9	3.1	27.0	5.8			
	20-29歳	293	4.1	15.7	21.5	38.2	3.4	30.0	6.8			
	30-39歳	267	4.1	13.5	22.1	44.2	4.9	24.0	5.2			
	40-49歳	247	4.9	14.2	23.5	37.2	0.8	26.7	5.3			
女性	合計	551	3.1	24.5	40.1	34.1	3.6	19.4	3.6			
	20-29歳	208	2.9	25.0	42.8	34.6	6.7	15.9	3.8			
	30-39歳	142	2.1	25.4	40.8	34.5	3.5	21.1	4.2			
	40-49歳	201	4.0	23.4	36.8	33.3	0.5	21.9	3.0			

【問 24】あなたが今、結婚していない理由を3つまで教えて下さい。

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中除く）

男女とも「適当な相手にめぐりあわない」が最も高くなっている。
 性別では、男性で「結婚資金が足りない」が32.7%、「異性とうまくつきあえない」が26.4%と女性と比べて有意に高くなっている。女性で「適当な相手にめぐりあわない」が48.7%、「自由さや気楽さを失いたくない」が25.2%と男性と比べて有意に高くなっている。
 年代別では、男女とも20～29歳で「まだ若すぎる」「まだ必要性を感じない」「仕事（学業）に打ち込みたい」が30～49歳と比べて有意に高くなっている。また男女とも30～49歳で「適当な相手にめぐりあわない」が20～29歳と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～39歳の男性で「結婚資金が足りない」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。

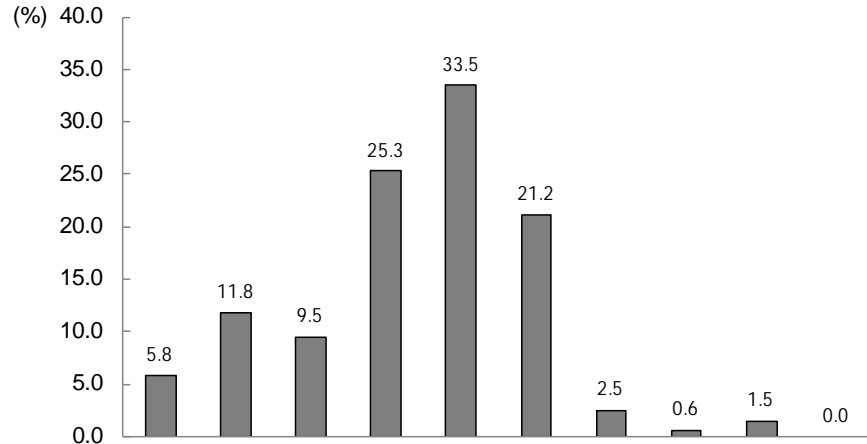
図表 4 - 1 - 4 結婚していない理由(複数回答、3つまで)



		n=	まだ若すぎる	まだ必要性を感じない	仕事（学業）に打ち込みたい	自由さや気楽さを失いたくない	適当な相手にめぐりあわない	異性とうまくつきあえない	結婚資金が足りない	住居のめどが立たない	親や周囲が同意しない	その他	答えたくない
TOTAL		3980	14.1	20.5	16.4	23.6	46.8	24.0	26.6	5.7	2.7	3.9	6.2
男性	合計	2241	14.1	19.9	15.5	22.4	45.4	26.4	32.7	6.2	1.7	2.8	6.1
	20-29歳	1066	28.9	24.0	25.4	19.1	35.1	23.6	34.2	5.9	1.5	2.1	4.8
	30-39歳	656	1.1	17.1	7.3	24.1	52.3	32.6	34.0	7.2	2.3	2.6	6.4
	40-49歳	519	0.4	15.2	5.4	26.8	57.8	24.1	27.9	5.6	1.5	4.4	8.3
女性	合計	1739	14.1	21.3	17.7	25.2	48.7	21.0	18.7	5.1	4.0	5.3	6.3
	20-29歳	973	24.7	27.6	28.2	25.1	38.6	17.9	21.7	5.2	3.6	4.8	4.8
	30-39歳	458	0.7	14.4	5.5	24.2	61.1	30.1	14.6	3.3	5.0	5.5	9.4
	40-49歳	308	0.6	11.4	2.6	26.9	62.0	17.5	15.6	7.1	3.6	6.5	6.2

具体的な相手を探すための行動の有無別・性別では、結婚していない理由を見ると、特に何も行動を起こしていない男性で「異性とうまくつきあえない」が37.3%と他と比べて有意に高くなっている。また、特に何も行動を起こしていない女性で「自由さや気楽さを失いたくない」「まだ必要性を感じない」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 5 「適当な相手にめぐりあわない」と回答した者のうち、問26の具体的な相手を探すための行動の有無別・性別でみた結婚していない理由(複数回答)



		n=	まだ若すぎる	まだ必要性を感じない	仕事(学業)に打ち込みたい	自由さや気楽さを失いたくない	異性とうまくつきあえない	結婚資金が足りない	住居のめどが立たない	親や周囲が同意しない	その他	答えたくない
TOTAL		1864	5.8	11.8	9.5	25.3	33.5	21.2	2.5	0.6	1.5	0.0
何らかの行動を起こした	男性	318	3.8	9.1	9.4	20.8	37.1	26.1	3.8	0.9	2.2	0.0
	女性	402	4.7	9.2	11.9	26.9	33.8	13.9	1.7	0.7	1.0	0.0
特に何も行動を起こしていない	男性	699	6.3	12.0	8.3	24.2	37.3	30.3	3.4	0.0	1.4	0.0
	女性	445	7.4	15.7	9.4	29.0	24.7	10.1	0.9	1.1	1.6	0.0

何らかの行動を起こした：問26において、「特に何も行動を起こしていない」以外を選択した男女
 特に何も行動を起こしていない：問26において、「特に何も行動を起こしていない」を選択した男女
 「適当な相手にめぐりあわない」が100%のため、省略している。

【問25】「適当な相手にめぐりあわない」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選び下さい。

質問対象：問24で「適当な相手にめぐりあわない」と回答した者

男女とも「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が最も高くなっている。
 性別では、男性で「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」が14.5%と女性と比べて有意に高くなっている。女性で「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が15.5%、「結婚に結びつかないような相手(例：結婚願望のない未婚者や既婚者)ばかり好きになってしまう」が7.8%と男性と比べて有意に高くなっている。
 年代別では、男女とも20～29歳で「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」が30～49歳と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、30～39歳の男性で「そもそも身近に自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」が50.1%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。また、20～29歳の女性で「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」が26.6%、「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」が18.6%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 6 適当な相手にめぐりあわない具体的な内容(単一回答)

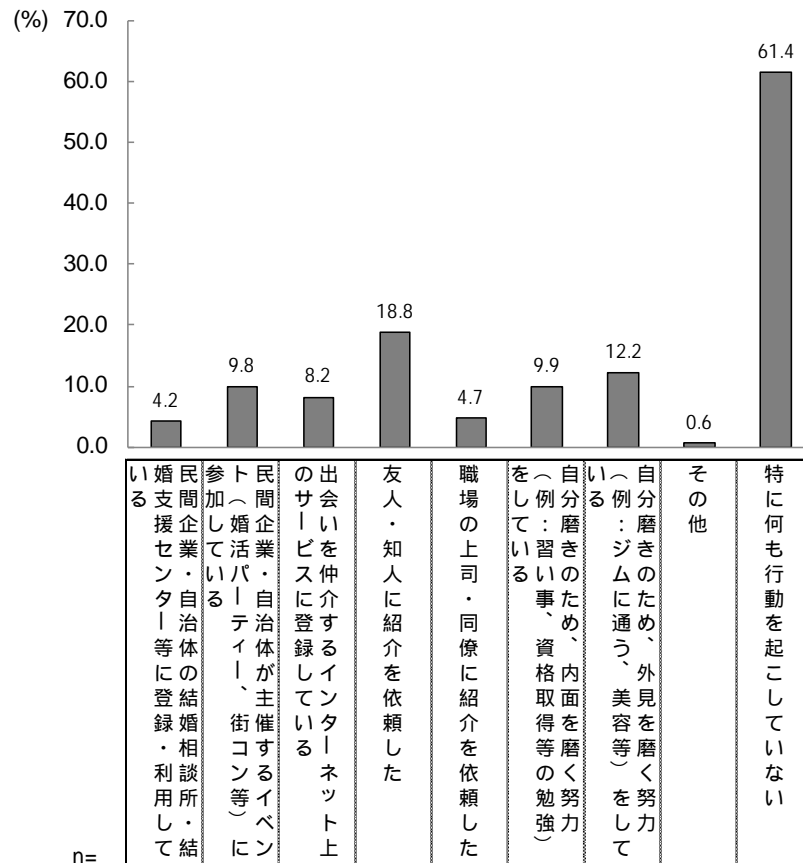
		n=	そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない	同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない	結婚に結びつかないような相手(例：結婚願望のない未婚者や既婚者)ばかり好きになってしまう	好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない	そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない	交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない	その他	答えたくない	(%)
TOTAL		1864	42.6	13.5	6.3	11.9	18.0	2.4	1.5	3.9	
男性	合計	1017	44.2	11.8	5.1	14.5	16.6	2.0	1.6	4.2	
	20-29歳	374	38.0	12.6	2.9	13.9	23.5	2.1	2.7	4.3	
	30-39歳	343	50.1	9.0	7.6	14.3	12.8	1.5	0.6	4.1	
	40-49歳	300	45.3	14.0	5.0	15.3	12.3	2.3	1.3	4.3	
女性	合計	847	40.6	15.5	7.8	8.7	19.7	2.8	1.4	3.4	
	20-29歳	376	32.4	18.6	6.6	8.0	26.6	2.7	1.9	3.2	
	30-39歳	280	47.1	10.4	7.1	10.7	17.9	2.9	0.4	3.6	
	40-49歳	191	47.1	16.8	11.0	7.3	8.9	3.1	2.1	3.7	

【問 26】具体的な相手を探すため、何か行動を起こしましたか。

質問対象：問 24 で「適当な相手にめぐりあわない」と回答した者

男女とも「特に何も行動を起こしていない」が最も高くなっている。
 性別では、女性で「友人・知人に紹介を依頼した」が 23.5%、「自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）をしている」が 17.8%、「自分磨きのため、内面を磨く努力（例：習い事、資格取得等の勉強）をしている」が 12.8%、「民間企業・自治体が主催するイベント（婚活パーティー、街コン等）に参加している」が 12.4%と男性と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、30～39歳の女性で「友人・知人に紹介を依頼した」が 32.1%、「民間企業・自治体が主催するイベント（婚活パーティー、街コン等）に参加している」が 17.9%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 7 相手を探すために起こした行動(複数回答)



		n=	民間企業・自治体の結婚相談所・結	民間企業・自治体主催するイベント（婚活パーティー、街コン等）に参加している	出会いを仲介するインターネット上のサービスに登録している	友人・知人に紹介を依頼した	職場の上司・同僚に紹介を依頼した	（例：習い事、資格取得等の勉強）	自分磨きのため、内面を磨く努力	自分磨きのため、外見を磨く努力（例：ジムに通う、美容等）	その他	特になにも行動を起こしていない
TOTAL		1864	4.2	9.8	8.2	18.8	4.7	9.9	12.2	12.2	0.6	61.4
男性	合計	1017	4.2	7.7	7.7	14.8	4.7	7.5	7.5	0.5	68.7	
	20-29歳	374	1.1	5.9	6.7	11.8	4.0	9.4	8.0	0.5	72.5	
	30-39歳	343	5.8	8.5	9.0	16.3	4.7	6.7	8.7	0.6	64.7	
	40-49歳	300	6.3	9.0	7.3	17.0	5.7	6.0	5.3	0.3	68.7	
女性	合計	847	4.1	12.4	8.7	23.5	4.7	12.8	17.8	0.8	52.5	
	20-29歳	376	1.3	9.6	8.8	19.7	4.0	13.8	20.7	1.1	54.8	
	30-39歳	280	6.8	17.9	11.1	32.1	6.4	11.4	14.6	1.1	45.7	
	40-49歳	191	5.8	9.9	5.2	18.3	3.7	12.6	16.8	0.0	58.1	

【問 27】あなたは、どのような状況になれば結婚すると思いますか。ご自分にあてはまると思われることを、すべてお選び下さい。

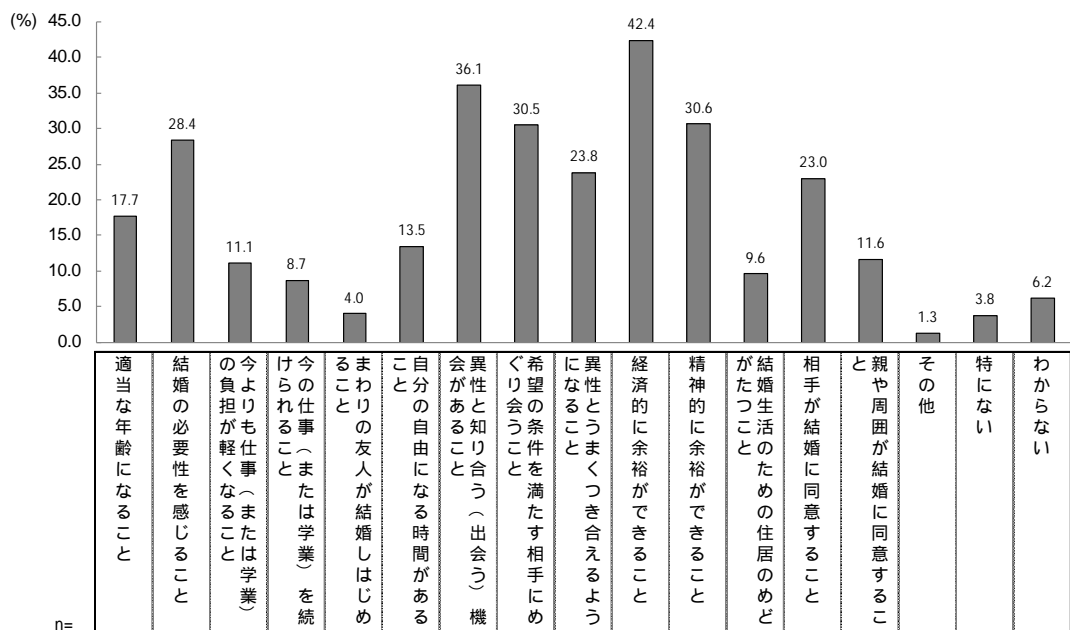
質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中除く）

男性では「経済的に余裕ができること」が46.7%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「異性と知り合う（出会う）機会があること」が38.9%、「希望の条件を満たす相手にめぐり会うこと」が36.2%、「精神的に余裕ができること」が32.3%、「結婚の必要性を感じること」が30.2%、「相手が結婚に同意すること」が28.8%、「自分の自由になる時間があること」及び「親や周囲が結婚に同意すること」がともに15.5%、「まわりの友人が結婚しはじめること」が5.1%と男性と比べて有意に高くなっている。

年代別では、男女とも20～29歳で「経済的に余裕ができること」「適当な年齢になること」「今よりも仕事（または学業）の負担が軽くなること」「今の仕事（または学業）を続けられること」が30～49歳と比べて有意に高くなっている。

性年代別では、30～39歳の女性では「異性と知り合う（出会う）機会があること」「異性とうまくつき合えるようになること」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 8 結婚する気持ちになるような状況(複数回答)



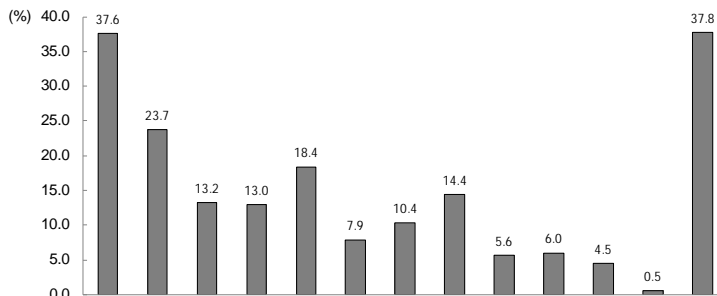
		n=	17.7	28.4	11.1	8.7	4.0	13.5	36.1	30.5	23.8	42.4	30.6	9.6	23.0	11.6	1.3	3.8	6.2
			適当な年齢になること	結婚の必要性を感じる	今よりも仕事(または学業)の負担が軽くなる	今の仕事(または学業)を続けられる	まわりの友人が結婚しはじめる	自分の自由になる時間がある	異性と知り合う(出会う)機会がある	希望の条件を満たす相手にめぐり会う	異性とうまくつき合えるようになる	経済的に余裕ができる	精神的に余裕ができる	結婚生活のための住居のめどがたつ	相手が結婚に同意すること	親や周囲が結婚に同意すること	その他	特になし	わからない
TOTAL		3980	17.7	28.4	11.1	8.7	4.0	13.5	36.1	30.5	23.8	42.4	30.6	9.6	23.0	11.6	1.3	3.8	6.2
男性	合計	2241	18.3	27.0	11.1	8.5	3.2	12.0	33.9	26.1	23.7	46.7	29.2	9.2	18.5	8.6	0.8	4.4	7.1
	20-29歳	1066	33.0	29.4	14.4	12.2	5.0	10.8	29.0	22.7	24.2	52.5	30.7	10.7	19.4	11.0	0.8	3.4	5.3
	30-39歳	656	6.4	26.1	8.7	6.9	2.6	13.0	39.0	30.9	25.6	44.5	29.3	8.2	18.4	7.0	0.6	5.0	7.8
	40-49歳	519	3.1	23.3	7.3	2.9	0.2	13.5	37.6	26.8	20.0	37.4	26.2	7.3	16.8	5.8	1.0	5.8	9.6
女性	合計	1739	16.9	30.2	11.2	9.1	5.1	15.5	38.9	36.2	24.1	36.8	32.3	10.1	28.8	15.5	1.8	3.0	5.1
	20-29歳	973	27.2	34.6	13.6	11.4	7.4	16.0	36.3	34.2	24.5	46.0	36.8	11.5	29.0	18.6	1.6	1.7	3.8
	30-39歳	458	4.6	25.1	8.7	7.4	2.0	15.1	45.4	40.4	29.5	23.8	27.5	7.2	27.3	11.1	2.0	2.8	6.6
	40-49歳	308	2.6	23.7	7.5	4.2	2.3	14.3	37.7	36.4	14.9	26.9	25.3	9.7	30.2	12.3	2.3	7.1	6.8

【問 28】自分が思い描く、結婚相手との理想的な出会いの場は次のうちどれですか。

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

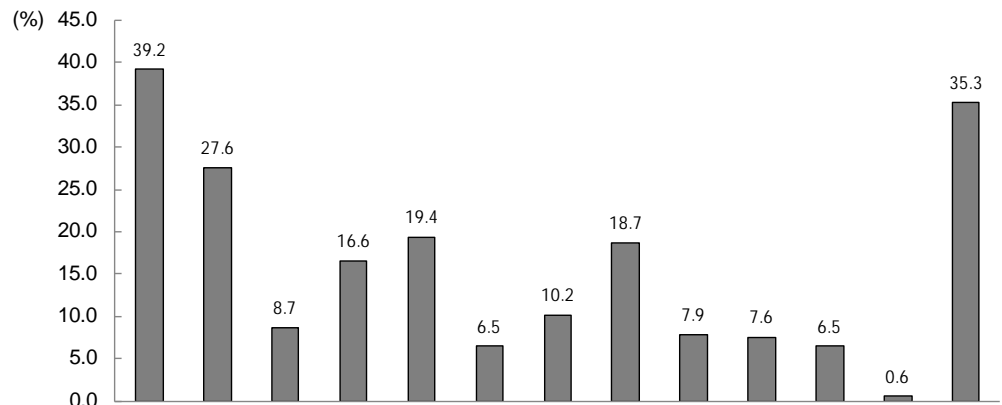
男女とも「出会い方には特にこだわらない」「職場や仕事で」が高くなっている。
 性別では、男性で「合コンなどの飲み会・イベントで」が16.0%、「出会いを仲介するインターネット上のサービスで」が7.0%と女性と比べて有意に高くなっている。女性で「職場や仕事で」が42.1%、「友人・兄弟姉妹を通じて」が28.6%、「サークル・クラブ・習いごとで」が21.0%、「学校で」が14.9%、「アルバイトで」が9.0%、「親からの紹介またはお見合いで」が6.7%と男性と比べて有意に高くなっている。
 年代別では、男女とも20～24歳で「学校で」が25～49歳と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～24歳の女性で「職場や仕事で」が49.5%と他の性年代と比べて有意に高くなっているほか、25～39歳の女性で「友人・兄弟姉妹を通じて」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。
 具体的な相手を探すための行動の有無別・性別では、何らかの行動を起こした人は男女とも「自治体などが主催する婚活イベントで」「親からの紹介またはお見合いで」が、特に何も行動を起こしていない人と比べて有意に高くなっている。何らかの行動を起こした男性では「合コンなどの飲み会・イベントで」「街なかや旅先で」「出会いを仲介するインターネット上のサービスで」、何らかの行動を起こした女性では「職場や仕事で」「友人・兄弟姉妹を通じて」「サークル・クラブ・習いごとで」「幼なじみ・隣人」「アルバイトで」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 9 結婚相手との理想的な出会いの場(複数回答)



		n=													
		職場や仕事で	友人・兄弟姉妹を通じて	学校で	街なかや旅先で	サークル・クラブ・習いごとで	アルバイトで	幼なじみ・隣人	合コンなどの飲み会・イベントで	親からの紹介またはお見合いで	ネット上のサービスで	出会いを仲介するインターネット上のサービスで	自治体などが主催する婚活イベントで	その他	出会い方には特にこだわらない
TOTAL	4093	37.6	23.7	13.2	13.0	18.4	7.9	10.4	14.4	5.6	6.0	4.5	0.5	37.8	
合計	2291	34.0	19.8	11.8	13.5	16.4	6.9	9.7	16.0	4.7	7.0	4.9	0.6	40.4	
20-24歳	606	38.1	19.5	26.2	10.6	16.5	11.2	11.7	11.6	3.1	3.1	2.5	0.2	36.6	
25-29歳	487	33.1	22.8	11.9	14.6	18.1	6.6	11.3	16.2	3.7	9.2	6.2	0.6	39.4	
30-34歳	358	32.7	21.5	6.1	14.0	14.0	6.4	9.2	19.0	8.4	10.6	6.4	0.6	39.4	
35-39歳	314	35.4	20.1	7.0	16.6	17.5	6.7	7.6	18.5	5.4	7.3	6.1	0.6	38.2	
40-44歳	304	31.6	17.4	2.6	11.8	16.1	3.0	8.6	17.4	5.9	7.2	4.9	0.7	45.7	
45-49歳	222	27.9	14.0	0.5	16.2	14.9	2.7	5.9	17.6	2.7	5.9	5.0	1.8	50.0	
合計	1802	42.1	28.6	14.9	12.4	21.0	9.0	11.3	12.3	6.7	4.7	4.1	0.4	34.5	
20-24歳	612	49.5	26.3	27.3	10.9	21.1	15.2	14.5	12.6	5.4	4.1	1.8	0.7	27.9	
25-29歳	397	40.8	33.8	13.4	13.1	20.7	7.3	12.6	14.9	7.8	6.3	6.3	0.0	34.3	
30-34歳	258	41.9	35.7	9.3	15.5	23.3	7.0	11.2	13.2	7.0	3.9	3.5	0.8	33.7	
35-39歳	224	37.9	29.9	4.5	12.1	19.2	4.0	6.7	10.3	8.5	4.9	5.4	0.0	37.5	
40-44歳	189	34.9	20.1	4.8	13.2	21.2	5.3	6.3	11.1	6.9	6.9	6.3	0.0	42.3	
45-49歳	122	28.7	18.9	4.9	9.8	19.7	3.3	6.6	6.6	4.9	0.0	3.3	1.6	51.6	

図表 4 - 1 - 10 問 24 で「適当な相手にめぐりあわない」と回答した者のうち具体的な相手を探すための行動の有無別・性別でみた結婚相手との理想的な出会いの場(複数回答)



		n=	職場や仕事で	友人・兄弟姉妹を通じて	学校で	街なかや旅先で	サークル・クラブ・習いごとで	アルバイトで	幼なじみ・隣人	合コンなどの飲み会・イベントで	親からの紹介またはお見合いで	上のサービイスで	出合いを仲介するインターネット	自治体などが主催する婚活イベントで	その他	出会い方には特にこだわらない
TOTAL		1864	39.2	27.6	8.7	16.6	19.4	6.5	10.2	18.7	7.9	7.6	6.5	0.6	35.3	
何らかの行動を起こした	男性	318	38.4	30.5	9.7	25.5	22.0	6.6	13.2	31.8	11.3	17.3	13.5	0.9	24.8	
	女性	402	45.8	42.0	9.5	15.4	30.1	9.5	14.7	21.9	12.2	8.2	9.0	0.7	23.1	
特に何も行動を起こしていない	男性	699	35.1	18.7	7.7	15.5	13.6	5.2	7.9	16.5	4.9	5.7	4.1	0.4	44.9	
	女性	445	40.4	26.3	9.0	13.3	17.1	6.1	7.6	9.9	6.3	3.1	3.1	0.4	38.7	

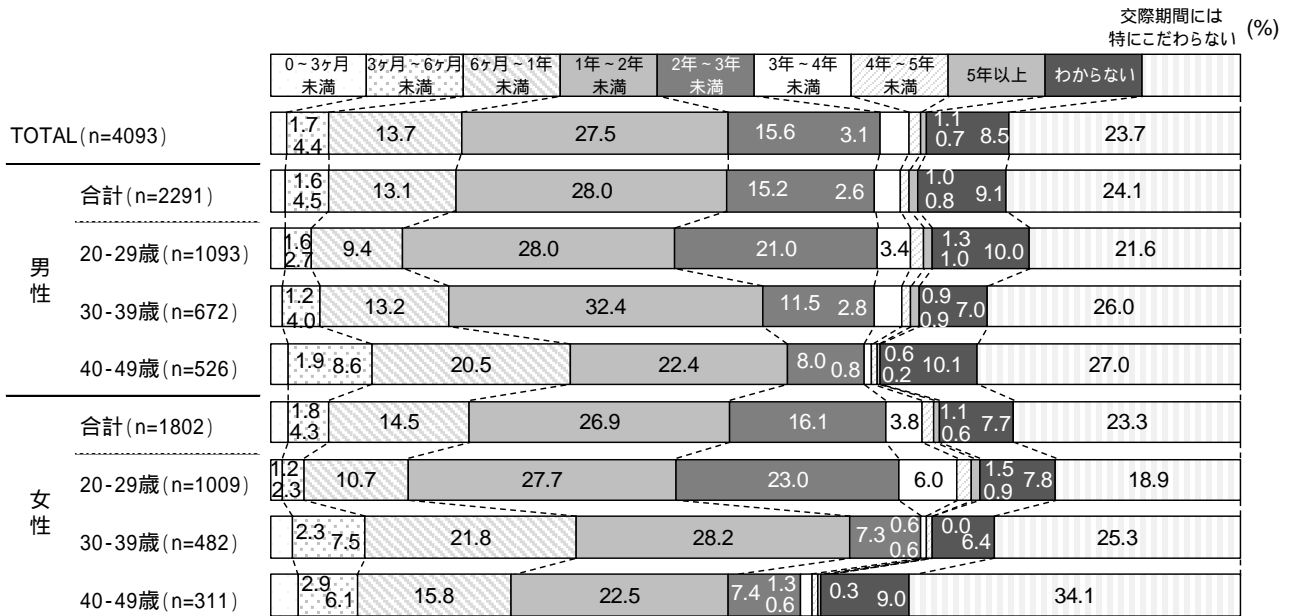
何らかの行動を起こした：問26において、「特に何も行動を起こしていない」以外を選択した男女
 特に何も行動を起こしていない：問26において、「特に何も行動を起こしていない」を選択した男女

【問 29】交際相手との結婚(事実婚を含む)に踏み切るまでに、どの程度の交際期間が必要だと思いますか。

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男女とも「1年～2年未満」が最も高く、次いで「交際期間には特にこだわらない」となっている。
 性別では、女性で「3年～4年未満」が男性と比べて有意に高くなっている。
 年代別では、男女とも20～29歳で「2年～3年未満」が30～49歳と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、30～39歳の男性で「1年～2年未満」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。また30～39歳の女性及び40～49歳の男性で「3ヶ月～6ヶ月未満」「6ヶ月～1年未満」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 11 結婚に至るまでに必要な交際期間(単一回答)

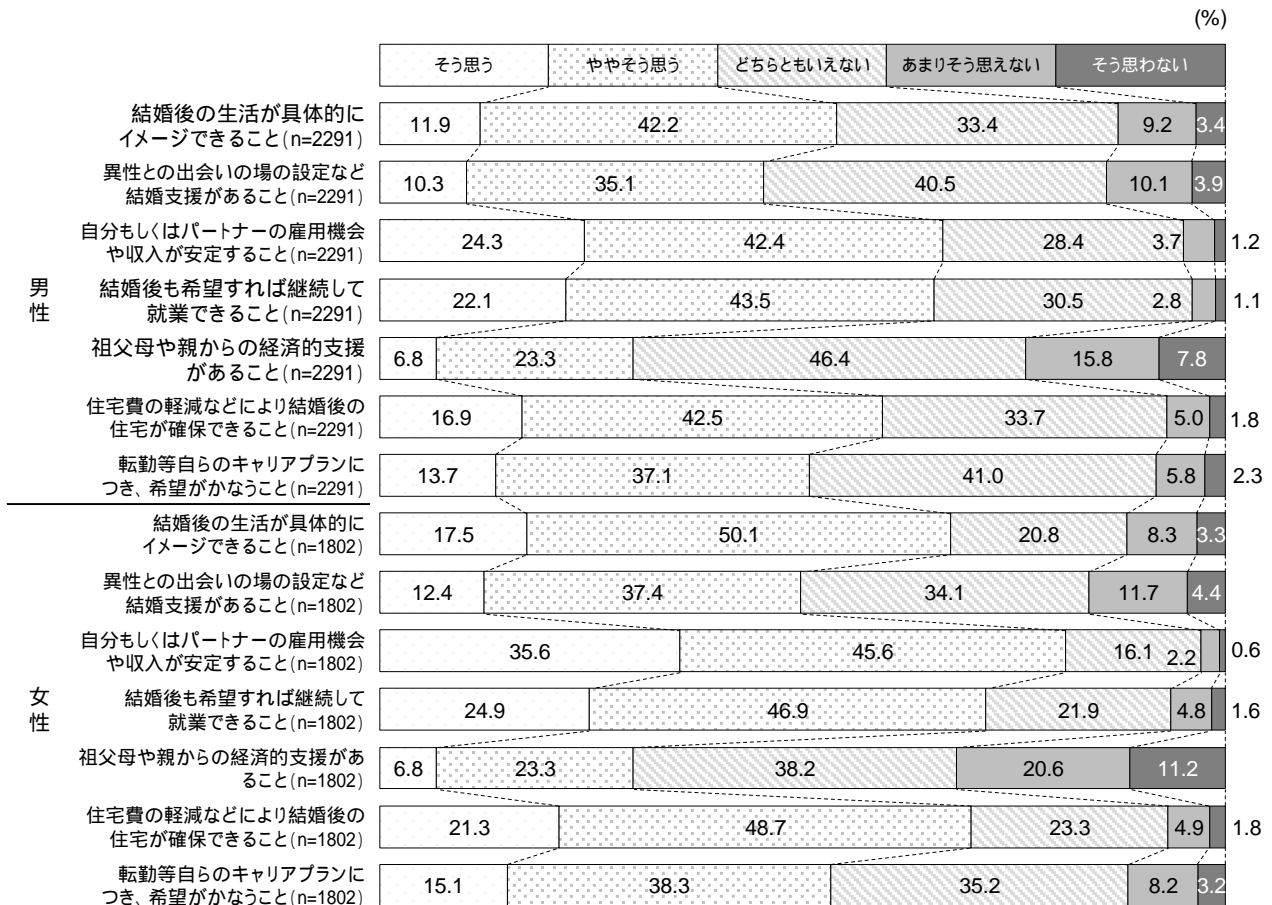


n=		0-3ヶ月未満	3ヶ月-6ヶ月未満	6ヶ月-1年未満	1年-2年未満	2年-3年未満	3年-4年未満	4年-5年未満	5年以上	わからない	交際期間には特にこだわらない (%)
TOTAL	4093	1.7	4.4	13.7	27.5	15.6	3.1	1.1	0.7	8.5	23.7
合計	2291	1.6	4.5	13.1	28.0	15.2	2.6	1.0	0.8	9.1	24.1
男性	20-29歳	1.6	2.7	9.4	28.0	21.0	3.4	1.3	1.0	10.0	21.6
	30-39歳	1.2	4.0	13.2	32.4	11.5	2.8	0.9	0.9	7.0	26.0
	40-49歳	1.9	8.6	20.5	22.4	8.0	0.8	0.6	0.2	10.1	27.0
	合計	1802	1.8	4.3	14.5	26.9	16.1	3.8	1.1	0.6	7.7
女性	20-29歳	1.2	2.3	10.7	27.7	23.0	6.0	1.5	0.9	7.8	18.9
	30-39歳	2.3	7.5	21.8	28.2	7.3	0.6	0.6	0.0	6.4	25.3
	40-49歳	2.9	6.1	15.8	22.5	7.4	1.3	0.6	0.3	9.0	34.1
	合計	1802	1.8	4.3	14.5	26.9	16.1	3.8	1.1	0.6	7.7

【問 30】あなたは、次のような支援・環境があれば結婚の希望がかないやすくなると思いますか。

「そう思う」「ややそう思う」の合計では、男女とも「自分もしくはパートナーの雇用機会や収入が安定すること」が最も高く、次いで「結婚後も希望すれば継続して就業できること」となっている。

図表 4 - 1 - 12 結婚の希望がかないやすくなる支援・環境(それぞれ単一回答)



(1) 結婚後の生活が具体的にイメージできること

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「どちらともいえない」が33.4%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「ややそう思う」「そう思う」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 13 結婚の希望がないやすくなる支援・環境：結婚後の生活が具体的にイメージできること
(単一回答) / 性年代別

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない
TOTAL (n=4093)		14.3	45.7	27.8	8.8	3.4
合計 (n=2291)		11.9	42.2	33.4	9.2	3.4
男性	20-29歳 (n=1093)	13.4	44.4	30.2	8.9	3.1
	30-39歳 (n=672)	11.2	42.6	32.7	10.0	3.6
	40-49歳 (n=526)	9.5	37.1	40.9	8.7	3.8
合計 (n=1802)		17.5	50.1	20.8	8.3	3.3
女性	20-29歳 (n=1009)	19.0	49.7	18.2	9.8	3.3
	30-39歳 (n=482)	16.0	51.5	22.4	6.8	3.3
	40-49歳 (n=311)	14.8	49.5	26.4	5.8	3.5

n=		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	
TOTAL		4093	14.3	45.7	27.8	8.8	3.4
合計		2291	11.9	42.2	33.4	9.2	3.4
男性	20-29歳	1093	13.4	44.4	30.2	8.9	3.1
	30-39歳	672	11.2	42.6	32.7	10.0	3.6
	40-49歳	526	9.5	37.1	40.9	8.7	3.8
合計		1802	17.5	50.1	20.8	8.3	3.3
女性	20-29歳	1009	19.0	49.7	18.2	9.8	3.3
	30-39歳	482	16.0	51.5	22.4	6.8	3.3
	40-49歳	311	14.8	49.5	26.4	5.8	3.5

(2) 異性との出会いの場の設定など結婚支援があること

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「どちらともいえない」が40.5%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「そう思う」が12.4%と男性と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～29歳の女性で「ややそう思う」が39.9%、30～39歳の女性で「そう思う」が14.1%と、それぞれ他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 14 結婚の希望がかないやすくなる支援・環境:異性との出会いの場の設定など結婚支援があること(単一回答)

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない
TOTAL (n=4093)		11.2	36.1	37.7	10.8	4.1
男性	合計 (n=2291)	10.3	35.1	40.5	10.1	3.9
	20-29歳 (n=1093)	11.4	34.1	39.6	10.5	4.3
	30-39歳 (n=672)	10.0	39.1	39.4	8.3	3.1
	40-49歳 (n=526)	8.6	32.1	43.7	11.4	4.2
	合計 (n=1802)	12.4	37.4	34.1	11.7	4.4
女性	20-29歳 (n=1009)	12.2	39.9	31.7	12.2	4.0
	30-39歳 (n=482)	14.1	35.7	35.7	9.8	4.8
	40-49歳 (n=311)	10.3	31.8	39.5	13.2	5.1

n=		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	
TOTAL	4093	11.2	36.1	37.7	10.8	4.1	
男性	合計	2291	10.3	35.1	40.5	10.1	3.9
	20-29歳	1093	11.4	34.1	39.6	10.5	4.3
	30-39歳	672	10.0	39.1	39.4	8.3	3.1
	40-49歳	526	8.6	32.1	43.7	11.4	4.2
	合計	1802	12.4	37.4	34.1	11.7	4.4
女性	20-29歳	1009	12.2	39.9	31.7	12.2	4.0
	30-39歳	482	14.1	35.7	35.7	9.8	4.8
	40-49歳	311	10.3	31.8	39.5	13.2	5.1

(%)

(3) 自分もしくはパートナーの雇用機会や収入が安定すること

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「どちらともいえない」「あまりそう思えない」が女性と比べて有意に高くなっている。
 女性では「ややそう思う」「そう思う」が男性と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～29歳の女性で「そう思う」が38.8%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 15 結婚の希望がないやすくなる支援・環境：自分もしくはパートナーの雇用機会や収入が安定すること(単一回答)

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	
TOTAL (n=4093)		29.2	43.8	23.0	3.0	1.0	
男性	合計 (n=2291)	24.3	42.4	28.4	3.7	1.2	
	20-29歳 (n=1093)	25.8	42.5	27.3	3.3	1.1	
	30-39歳 (n=672)	23.8	44.9	27.7	2.4	1.2	
	40-49歳 (n=526)	21.7	38.8	31.7	6.3	1.5	
	合計 (n=1802)	35.6	45.6	16.1	2.2	0.6	
女性	20-29歳 (n=1009)	38.8	45.5	13.7	1.9	0.2	
	30-39歳 (n=482)	31.7	47.1	17.4	2.7	1.0	
	40-49歳 (n=311)	31.2	43.4	21.9	2.3	1.3	

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	(%)
TOTAL		4093	29.2	43.8	23.0	3.0	1.0	
男性	合計	2291	24.3	42.4	28.4	3.7	1.2	
	20-29歳	1093	25.8	42.5	27.3	3.3	1.1	
	30-39歳	672	23.8	44.9	27.7	2.4	1.2	
	40-49歳	526	21.7	38.8	31.7	6.3	1.5	
	合計	1802	35.6	45.6	16.1	2.2	0.6	
女性	20-29歳	1009	38.8	45.5	13.7	1.9	0.2	
	30-39歳	482	31.7	47.1	17.4	2.7	1.0	
	40-49歳	311	31.2	43.4	21.9	2.3	1.3	

(4) 結婚後も希望すれば継続して就業できること

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「どちらともいえない」が30.5%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「ややそう思う」「そう思う」「あまりそう思えない」が男性と比べて有意に高くなっている。性年代別では、20～29歳の女性で「ややそう思う」「そう思う」が、30～39歳の女性で「ややそう思う」が、それぞれ他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 16 結婚の希望がかないやすくなる支援・環境：結婚後も希望すれば継続して就業できること
(単一回答)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	(%)
TOTAL (n=4093)		23.3	45.0	26.7	3.7	1.3	
男性	合計 (n=2291)	22.1	43.5	30.5	2.8	1.1	
	20-29歳 (n=1093)	24.2	42.1	29.8	2.7	1.2	
	30-39歳 (n=672)	22.0	44.5	30.8	1.9	0.7	
	40-49歳 (n=526)	17.9	45.2	31.6	4.0	1.3	
女性	合計 (n=1802)	24.9	46.9	21.9	4.8	1.6	
	20-29歳 (n=1009)	28.3	47.8	18.1	4.3	1.5	
	30-39歳 (n=482)	20.1	49.6	24.3	4.8	1.2	
	40-49歳 (n=311)	20.9	39.9	30.2	6.4	2.6	

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	(%)
TOTAL		4093	23.3	45.0	26.7	3.7	1.3	
男性	合計	2291	22.1	43.5	30.5	2.8	1.1	
	20-29歳	1093	24.2	42.1	29.8	2.7	1.2	
	30-39歳	672	22.0	44.5	30.8	1.9	0.7	
	40-49歳	526	17.9	45.2	31.6	4.0	1.3	
女性	合計	1802	24.9	46.9	21.9	4.8	1.6	
	20-29歳	1009	28.3	47.8	18.1	4.3	1.5	
	30-39歳	482	20.1	49.6	24.3	4.8	1.2	
	40-49歳	311	20.9	39.9	30.2	6.4	2.6	

(5) 祖父母や親からの経済的支援があること

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「どちらともいえない」が46.4%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「あまりそう思えない」「そう思わない」が男性と比べて有意に高くなっている。
 年代別では、男女とも20～29歳で「ややそう思う」「そう思う」が30～49歳と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、30～49歳の女性で「そう思わない」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 17 結婚の希望がかないやすくなる支援・環境: 祖父母や親からの経済的支援があること
 (単一回答)

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない
TOTAL (n=4093)		6.8	23.3	42.8	17.9	9.3
合計 (n=2291)		6.8	23.3	46.4	15.8	7.8
男性	20-29歳 (n=1093)	8.6	28.1	43.3	13.8	6.2
	30-39歳 (n=672)	6.0	22.6	48.7	14.6	8.2
	40-49歳 (n=526)	4.0	14.1	50.0	21.3	10.6
	合計 (n=1802)	6.8	23.3	38.2	20.6	11.2
女性	20-29歳 (n=1009)	8.8	27.5	34.4	21.3	8.0
	30-39歳 (n=482)	4.6	21.4	41.9	19.7	12.4
	40-49歳 (n=311)	3.5	12.5	45.0	19.6	19.3

n=		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	(%)
TOTAL	4093	6.8	23.3	42.8	17.9	9.3	
合計	2291	6.8	23.3	46.4	15.8	7.8	
男性	20-29歳	8.6	28.1	43.3	13.8	6.2	
	30-39歳	6.0	22.6	48.7	14.6	8.2	
	40-49歳	4.0	14.1	50.0	21.3	10.6	
女性	合計	1802	6.8	23.3	38.2	20.6	11.2
	20-29歳	1009	8.8	27.5	34.4	21.3	8.0
	30-39歳	482	4.6	21.4	41.9	19.7	12.4
	40-49歳	311	3.5	12.5	45.0	19.6	19.3

(6) 住宅費の軽減などにより結婚後の住宅が確保できること

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「どちらともいえない」が33.7%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「ややそう思う」「そう思う」が男性と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～29歳の女性で「ややそう思う」「そう思う」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 18 結婚の希望がないやすくなる支援・環境：住宅費の軽減などにより結婚後の住宅が確保できること(単一回答)

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	
TOTAL (n=4093)		18.8	45.2	29.1	5.0	1.8	
男性	合計 (n=2291)	16.9	42.5	33.7	5.0	1.8	
	20-29歳 (n=1093)	19.2	43.3	32.2	3.8	1.6	
	30-39歳 (n=672)	17.0	42.7	33.6	4.9	1.8	
	40-49歳 (n=526)	12.2	40.7	37.1	7.6	2.5	
	合計 (n=1802)	21.3	48.7	23.3	4.9	1.8	
女性	20-29歳 (n=1009)	24.3	50.3	20.6	3.8	1.0	
	30-39歳 (n=482)	17.4	49.2	25.5	5.0	2.9	
	40-49歳 (n=311)	17.4	42.8	28.3	8.7	2.9	

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない	(%)
TOTAL		4093	18.8	45.2	29.1	5.0	1.8	
男性	合計	2291	16.9	42.5	33.7	5.0	1.8	
	20-29歳	1093	19.2	43.3	32.2	3.8	1.6	
	30-39歳	672	17.0	42.7	33.6	4.9	1.8	
	40-49歳	526	12.2	40.7	37.1	7.6	2.5	
	合計	1802	21.3	48.7	23.3	4.9	1.8	
女性	20-29歳	1009	24.3	50.3	20.6	3.8	1.0	
	30-39歳	482	17.4	49.2	25.5	5.0	2.9	
	40-49歳	311	17.4	42.8	28.3	8.7	2.9	

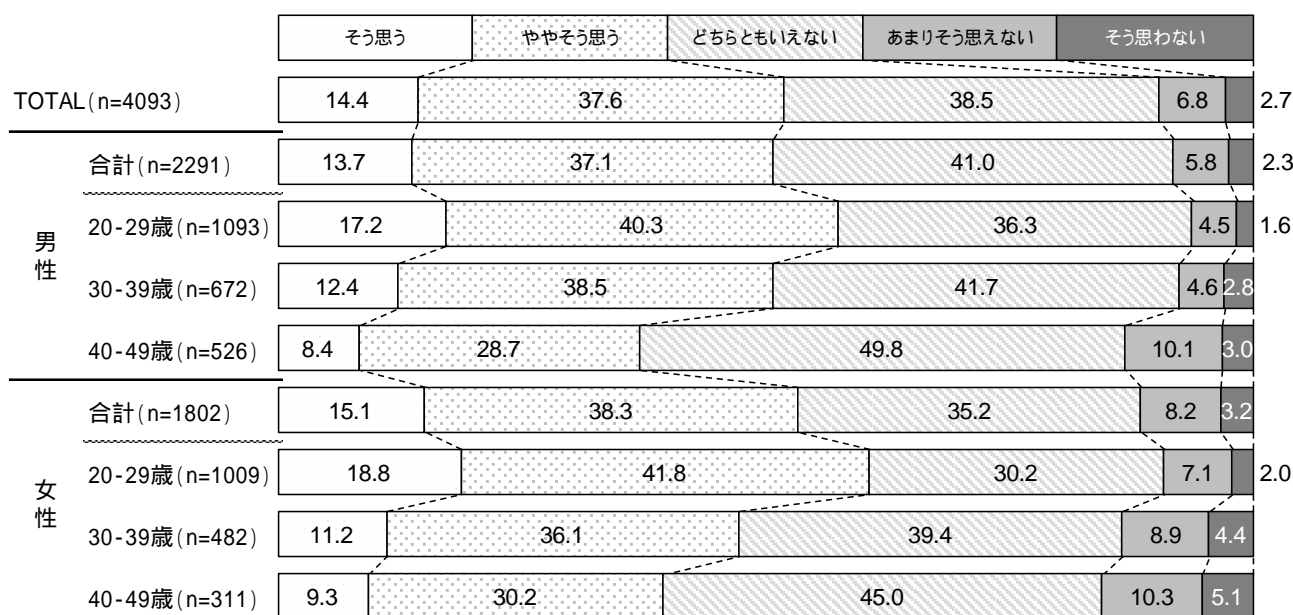
(7) 転職等自らのキャリアプランにつき、希望がかなうこと

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「どちらともいえない」が41.0%と女性と比べて有意に高くなっている。女性では「あまりそう思えない」が8.2%と男性と比べて有意に高くなっている。
年代別では、男女とも20～29歳で「ややそう思う」「そう思う」が30～49歳と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 19 結婚の希望がかないやすくなる支援・環境：転職等自らのキャリアプランにつき、希望がかなうこと(単一回答)

(%)



	n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思えない	そう思わない
TOTAL	4093	14.4	37.6	38.5	6.8	2.7
男性						
合計	2291	13.7	37.1	41.0	5.8	2.3
20-29歳	1093	17.2	40.3	36.3	4.5	1.6
30-39歳	672	12.4	38.5	41.7	4.6	2.8
40-49歳	526	8.4	28.7	49.8	10.1	3.0
女性						
合計	1802	15.1	38.3	35.2	8.2	3.2
20-29歳	1009	18.8	41.8	30.2	7.1	2.0
30-39歳	482	11.2	36.1	39.4	8.9	4.4
40-49歳	311	9.3	30.2	45.0	10.3	5.1

【問 31】結婚する際、利用してみたい、あるいはあればいいと思う、行政・公的機関等のサービスをすべてお選び下さい。

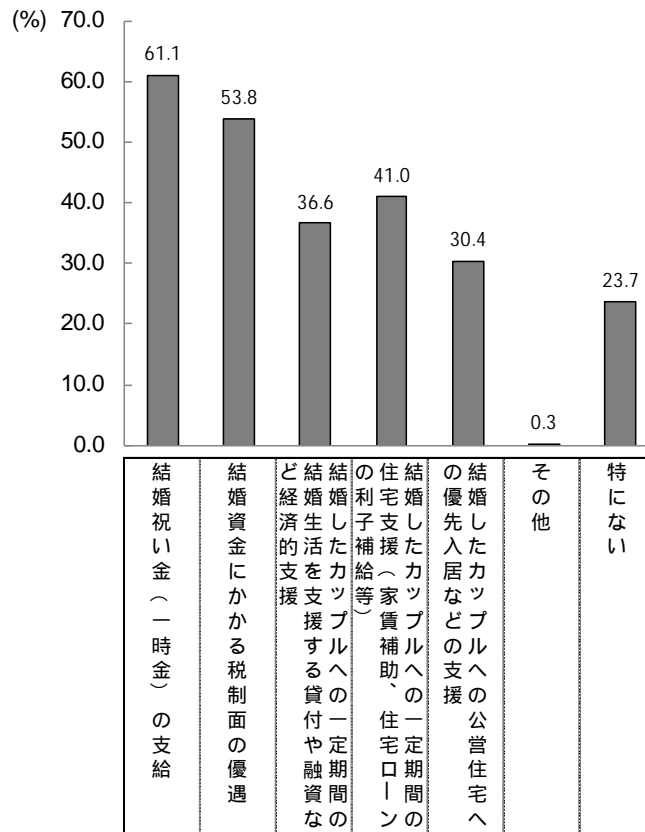
質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男女とも「結婚祝い金（一時金）の支給」が最も高く、次いで「結婚資金にかかる税制面の優遇」となっている。

性別では、女性で「結婚祝い金（一時金）の支給」「結婚したカップルへの一定期間の住宅支援（家賃補助、住宅ローンの利子補給等）」「結婚したカップルへの一定期間の結婚生活を支援する貸付や融資など経済的支援」が男性と比べて有意に高くなっている。

性年代別では、30～39歳の男性で「結婚資金にかかる税制面の優遇」が57.7%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 20 利用希望の行政・公的機関等のサービス(複数回答)



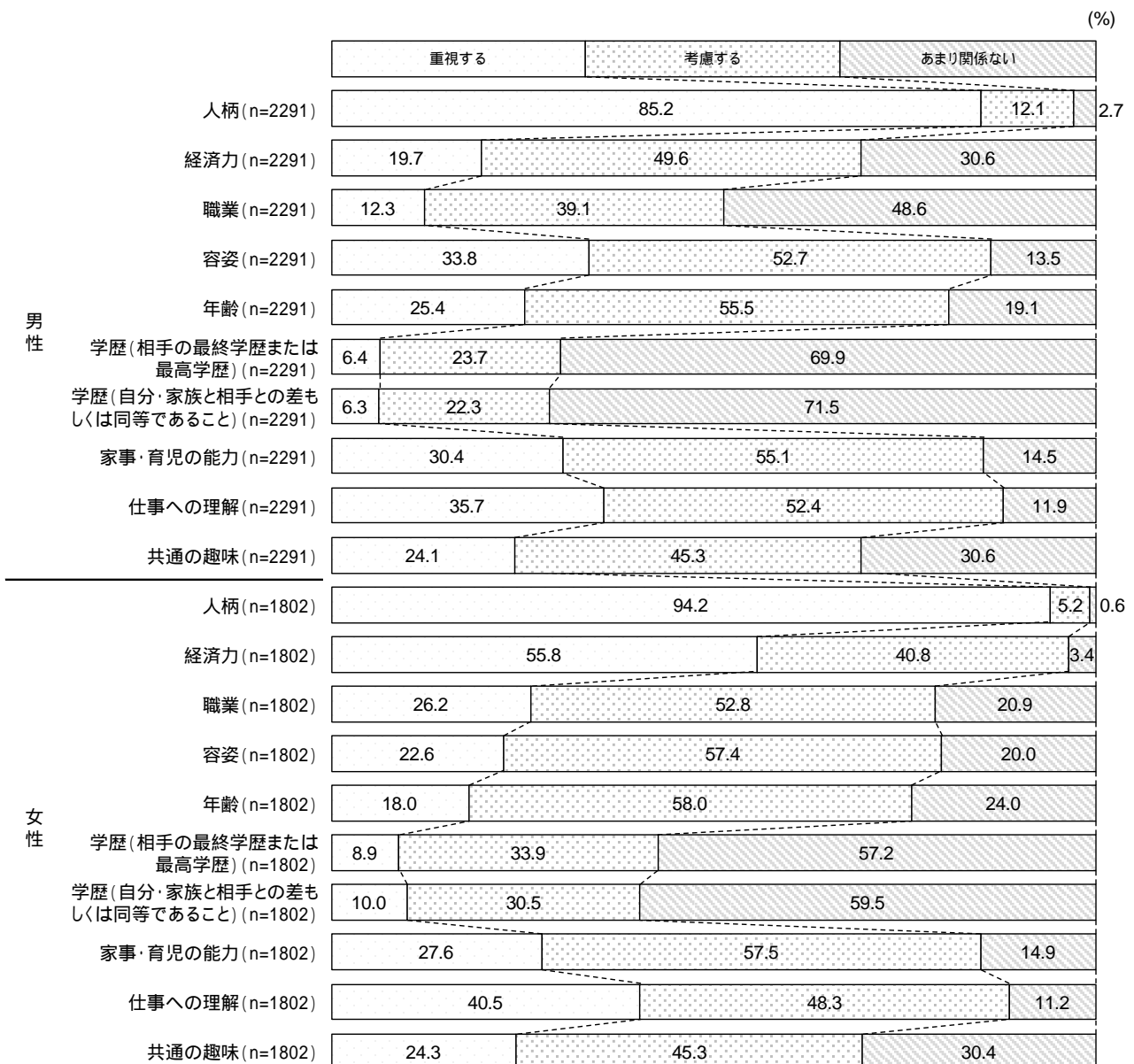
		n=	結婚祝い金（一時金）の支給	結婚資金にかかる税制面の優遇	結婚したカップルへの一定期間の結婚生活を支援する貸付や融資など経済的支援	結婚したカップルへの一定期間の住宅支援（家賃補助、住宅ローンの利子補給等）	結婚したカップルへの一定期間の公営住宅への優先入居などの支援	その他	特になし
TOTAL		4093	61.1	53.8	36.6	41.0	30.4	0.3	23.7
男性	合計	2291	57.9	52.9	34.8	37.7	29.9	0.4	26.5
	20-29歳	1093	56.1	50.5	33.9	35.6	27.4	0.5	27.0
	30-39歳	672	62.2	57.7	39.0	41.8	33.0	0.1	24.6
	40-49歳	526	56.1	51.7	31.4	36.9	31.0	0.6	27.9
女性	合計	1802	65.1	54.8	38.9	45.1	31.2	0.1	20.0
	20-29歳	1009	65.3	56.3	42.0	46.5	30.9	0.2	18.7
	30-39歳	482	68.7	57.3	37.8	46.3	32.6	0.0	19.3
	40-49歳	311	58.8	46.3	30.5	38.9	29.9	0.0	25.4

【問 32】あなたが結婚相手を決めるとき、次の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号をお答え下さい。

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

「重視する」と「考慮する」の合計について、男女とも「人柄」が最も高くなっている（男性 97.3%、女性 99.4%）。
 男性では、次いで「仕事への理解」が 88.1%、「容姿」が 86.5%となっている。
 女性では、次いで「経済力」が 96.6%、「仕事への理解」が 88.8%となっている。

図表 4 - 1 - 21 結婚相手としてどの程度重視するか(それぞれ単一回答)



(1)人柄

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「考慮する」「あまり関係ない」が女性と比べて有意に高く、女性では「重視する」が94.2%と男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 22 結婚相手としてどの程度重視するか:人柄(単一回答)

		重視する	考慮する	あまり関係ない	(%)
TOTAL (n=4093)		89.2	9.0	1.8	
合計 (n=2291)		85.2	12.1	2.7	
男性	20-29歳 (n=1093)	84.4	13.1	2.5	
	30-39歳 (n=672)	86.5	10.6	3.0	
	40-49歳 (n=526)	85.4	12.0	2.7	
合計 (n=1802)		94.2	5.2	0.6	
女性	20-29歳 (n=1009)	94.9	4.3	0.8	
	30-39歳 (n=482)	94.0	5.6	0.4	
	40-49歳 (n=311)	92.3	7.4	0.3	

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない	(%)
TOTAL		4093	89.2	9.0	1.8	
合計		2291	85.2	12.1	2.7	
男性	20-29歳	1093	84.4	13.1	2.5	
	30-39歳	672	86.5	10.6	3.0	
	40-49歳	526	85.4	12.0	2.7	
合計		1802	94.2	5.2	0.6	
女性	20-29歳	1009	94.9	4.3	0.8	
	30-39歳	482	94.0	5.6	0.4	
	40-49歳	311	92.3	7.4	0.3	

(2) 経済力

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「考慮する」「あまり関係ない」が女性より有意に高く、女性では「重視する」が55.8%と男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 23 結婚相手としてどの程度重視するか：経済力(単一回答)

(%)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		35.6	45.8	18.6
男性	合計 (n=2291)	19.7	49.6	30.6
	20-29歳 (n=1093)	22.4	49.6	28.0
	30-39歳 (n=672)	17.7	51.5	30.8
	40-49歳 (n=526)	16.7	47.3	35.9
女性	合計 (n=1802)	55.8	40.8	3.4
	20-29歳 (n=1009)	53.1	42.8	4.1
	30-39歳 (n=482)	56.6	40.9	2.5
	40-49歳 (n=311)	63.0	34.4	2.6

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	35.6	45.8	18.6
男性	合計	2291	19.7	49.6	30.6
	20-29歳	1093	22.4	49.6	28.0
	30-39歳	672	17.7	51.5	30.8
	40-49歳	526	16.7	47.3	35.9
女性	合計	1802	55.8	40.8	3.4
	20-29歳	1009	53.1	42.8	4.1
	30-39歳	482	56.6	40.9	2.5
	40-49歳	311	63.0	34.4	2.6

(3) 職業

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「あまり関係ない」が48.6%と女性と比べて有意に高く、女性では「考慮する」「重視する」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 24 結婚相手としてどの程度重視するか：職業(単一回答)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		18.4	45.2	36.4
合計 (n=2291)		12.3	39.1	48.6
男性	20-29歳 (n=1093)	15.6	41.0	43.4
	30-39歳 (n=672)	10.4	38.2	51.3
	40-49歳 (n=526)	7.8	36.3	55.9
合計 (n=1802)		26.2	52.8	20.9
女性	20-29歳 (n=1009)	24.6	53.5	21.9
	30-39歳 (n=482)	26.8	55.4	17.8
	40-49歳 (n=311)	30.9	46.6	22.5

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	18.4	45.2	36.4
合計		2291	12.3	39.1	48.6
男性	20-29歳	1093	15.6	41.0	43.4
	30-39歳	672	10.4	38.2	51.3
	40-49歳	526	7.8	36.3	55.9
合計		1802	26.2	52.8	20.9
女性	20-29歳	1009	24.6	53.5	21.9
	30-39歳	482	26.8	55.4	17.8
	40-49歳	311	30.9	46.6	22.5

(4) 容姿

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「重視する」が33.8%と女性と比べて有意に高く、女性では「考慮する」「あまり関係ない」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 25 結婚相手としてどの程度重視するか:容姿(単一回答)

(%)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		28.9	54.8	16.4
合計 (n=2291)		33.8	52.7	13.5
男性	20-29歳 (n=1093)	34.2	52.5	13.3
	30-39歳 (n=672)	34.7	52.4	12.9
	40-49歳 (n=526)	31.7	53.6	14.6
合計 (n=1802)		22.6	57.4	20.0
女性	20-29歳 (n=1009)	25.4	53.9	20.7
	30-39歳 (n=482)	19.5	62.7	17.8
	40-49歳 (n=311)	18.3	60.5	21.2

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	28.9	54.8	16.4
合計		2291	33.8	52.7	13.5
男性	20-29歳	1093	34.2	52.5	13.3
	30-39歳	672	34.7	52.4	12.9
	40-49歳	526	31.7	53.6	14.6
合計		1802	22.6	57.4	20.0
女性	20-29歳	1009	25.4	53.9	20.7
	30-39歳	482	19.5	62.7	17.8
	40-49歳	311	18.3	60.5	21.2

(5) 年齢

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「重視する」が25.4%と女性と比べて有意に高く、女性では「あまり関係ない」が24.0%と男性と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～29歳の男性で「重視する」が28.8%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。また、30～39歳の女性で「考慮する」が62.4%、40～49歳の女性で「あまり関係ない」が31.5%と、それぞれ他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 26 結婚相手としてどの程度重視するか：年齢(単一回答)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		22.2	56.6	21.2
男性	合計 (n=2291)	25.4	55.5	19.1
	20-29歳 (n=1093)	28.8	55.2	16.0
	30-39歳 (n=672)	24.0	56.1	19.9
	40-49歳 (n=526)	20.3	55.3	24.3
女性	合計 (n=1802)	18.0	58.0	24.0
	20-29歳 (n=1009)	20.5	56.7	22.8
	30-39歳 (n=482)	16.0	62.4	21.6
	40-49歳 (n=311)	12.9	55.6	31.5

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	22.2	56.6	21.2
男性	合計	2291	25.4	55.5	19.1
	20-29歳	1093	28.8	55.2	16.0
	30-39歳	672	24.0	56.1	19.9
	40-49歳	526	20.3	55.3	24.3
女性	合計	1802	18.0	58.0	24.0
	20-29歳	1009	20.5	56.7	22.8
	30-39歳	482	16.0	62.4	21.6
	40-49歳	311	12.9	55.6	31.5

(6) 学歴(相手の最終学歴または最高学歴)

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者(婚約中含む)

男性では「あまり関係ない」が69.9%と女性と比べて有意に高く、女性では「考慮する」「重視する」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 27 結婚相手としてどの程度重視するか:学歴(相手の最終学歴または最高学歴)(単一回答)

(%)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL	(n=4093)	7.5	28.2	64.3
男性	合計(n=2291)	6.4	23.7	69.9
	20-29歳(n=1093)	8.5	27.3	64.2
	30-39歳(n=672)	5.2	21.9	72.9
	40-49歳(n=526)	3.6	18.4	77.9
女性	合計(n=1802)	8.9	33.9	57.2
	20-29歳(n=1009)	9.6	33.8	56.6
	30-39歳(n=482)	7.5	34.4	58.1
	40-49歳(n=311)	9.0	33.4	57.6

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	7.5	28.2	64.3
男性	合計	2291	6.4	23.7	69.9
	20-29歳	1093	8.5	27.3	64.2
	30-39歳	672	5.2	21.9	72.9
	40-49歳	526	3.6	18.4	77.9
女性	合計	1802	8.9	33.9	57.2
	20-29歳	1009	9.6	33.8	56.6
	30-39歳	482	7.5	34.4	58.1
	40-49歳	311	9.0	33.4	57.6

(7) 学歴(自分・家族と相手との差もしくは同等であること)

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者(婚約中含む)

男性では「あまり関係ない」が71.5%と女性と比べて有意に高く、女性では「考慮する」「重視する」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 28 結婚相手としてどの程度重視するか:学歴(自分・家族と相手との差もしくは同等であること)
(単一回答)

(%)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		7.9	25.9	66.2
合計 (n=2291)		6.3	22.3	71.5
男性	20-29歳 (n=1093)	8.7	25.3	66.0
	30-39歳 (n=672)	4.5	22.3	73.2
	40-49歳 (n=526)	3.6	15.8	80.6
合計 (n=1802)		10.0	30.5	59.5
女性	20-29歳 (n=1009)	10.3	31.1	58.6
	30-39歳 (n=482)	9.5	29.7	60.8
	40-49歳 (n=311)	9.6	29.6	60.8

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	7.9	25.9	66.2
合計		2291	6.3	22.3	71.5
男性	20-29歳	1093	8.7	25.3	66.0
	30-39歳	672	4.5	22.3	73.2
	40-49歳	526	3.6	15.8	80.6
	合計	1802	10.0	30.5	59.5
女性	20-29歳	1009	10.3	31.1	58.6
	30-39歳	482	9.5	29.7	60.8
	40-49歳	311	9.6	29.6	60.8

(8)家事・育児の能力

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男女で有意な差はみられなかった。
 性年代別では、20～29歳の男性で「重視する」が33.9%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。また、40～49歳の女性で「あまり関係ない」が20.6%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 29 結婚相手としてどの程度重視するか：家事・育児の能力(単一回答)

(%)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		29.2	56.1	14.7
男性	合計 (n=2291)	30.4	55.1	14.5
	20-29歳 (n=1093)	33.9	51.7	14.4
	30-39歳 (n=672)	26.5	58.5	15.0
	40-49歳 (n=526)	28.1	57.8	14.1
女性	合計 (n=1802)	27.6	57.5	14.9
	20-29歳 (n=1009)	31.1	56.1	12.8
	30-39歳 (n=482)	25.1	59.1	15.8
	40-49歳 (n=311)	19.9	59.5	20.6

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	29.2	56.1	14.7
男性	合計	2291	30.4	55.1	14.5
	20-29歳	1093	33.9	51.7	14.4
	30-39歳	672	26.5	58.5	15.0
	40-49歳	526	28.1	57.8	14.1
女性	合計	1802	27.6	57.5	14.9
	20-29歳	1009	31.1	56.1	12.8
	30-39歳	482	25.1	59.1	15.8
	40-49歳	311	19.9	59.5	20.6

(9) 仕事への理解

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「考慮する」が 52.4%と女性と比べて有意に高く、女性では「重視する」が 40.5%と男性と比べて有意に高くなっている。
 年代別では、男女とも 20～29歳で「重視する」が 30～49歳と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 30 結婚相手としてどの程度重視するか:仕事への理解(単一回答)

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		37.8	50.6	11.6
男性	合計 (n=2291)	35.7	52.4	11.9
	20-29歳 (n=1093)	41.0	49.0	10.0
	30-39歳 (n=672)	32.4	55.5	12.1
	40-49歳 (n=526)	29.1	55.3	15.6
女性	合計 (n=1802)	40.5	48.3	11.2
	20-29歳 (n=1009)	46.2	45.9	7.9
	30-39歳 (n=482)	35.1	51.0	13.9
	40-49歳 (n=311)	30.2	52.1	17.7

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	37.8	50.6	11.6
男性	合計	2291	35.7	52.4	11.9
	20-29歳	1093	41.0	49.0	10.0
	30-39歳	672	32.4	55.5	12.1
	40-49歳	526	29.1	55.3	15.6
女性	合計	1802	40.5	48.3	11.2
	20-29歳	1009	46.2	45.9	7.9
	30-39歳	482	35.1	51.0	13.9
	40-49歳	311	30.2	52.1	17.7

(10)共通の趣味

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男女で有意な差はみられなかった。
年代別では、男女とも20～29歳で「重視する」が30～49歳と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 31 結婚相手としてどの程度重視するか:共通の趣味(単一回答) / 性年代別

		重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL (n=4093)		24.2	45.3	30.5
合計 (n=2291)		24.1	45.3	30.6
男性	20-29歳 (n=1093)	28.0	45.0	27.0
	30-39歳 (n=672)	21.7	46.0	32.3
	40-49歳 (n=526)	19.2	44.9	35.9
合計 (n=1802)		24.3	45.3	30.4
女性	20-29歳 (n=1009)	27.0	44.1	28.9
	30-39歳 (n=482)	20.7	44.2	35.1
	40-49歳 (n=311)	20.9	51.1	28.0

		n=	重視する	考慮する	あまり関係ない
TOTAL		4093	24.2	45.3	30.5
合計		2291	24.1	45.3	30.6
男性	20-29歳	1093	28.0	45.0	27.0
	30-39歳	672	21.7	46.0	32.3
	40-49歳	526	19.2	44.9	35.9
合計		1802	24.3	45.3	30.4
女性	20-29歳	1009	27.0	44.1	28.9
	30-39歳	482	20.7	44.2	35.1
	40-49歳	311	20.9	51.1	28.0

【問 33】結婚生活を送るに当たって相手に求める年収(税込)は、どのくらいですか。当てはまるものをお選び下さい。

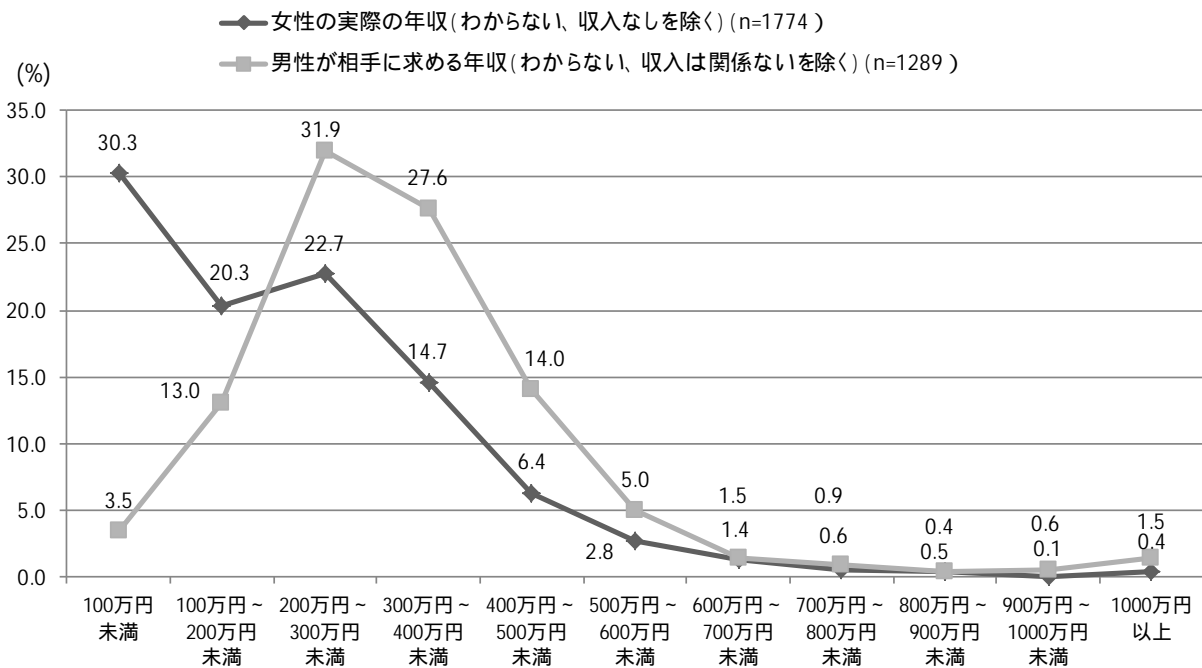
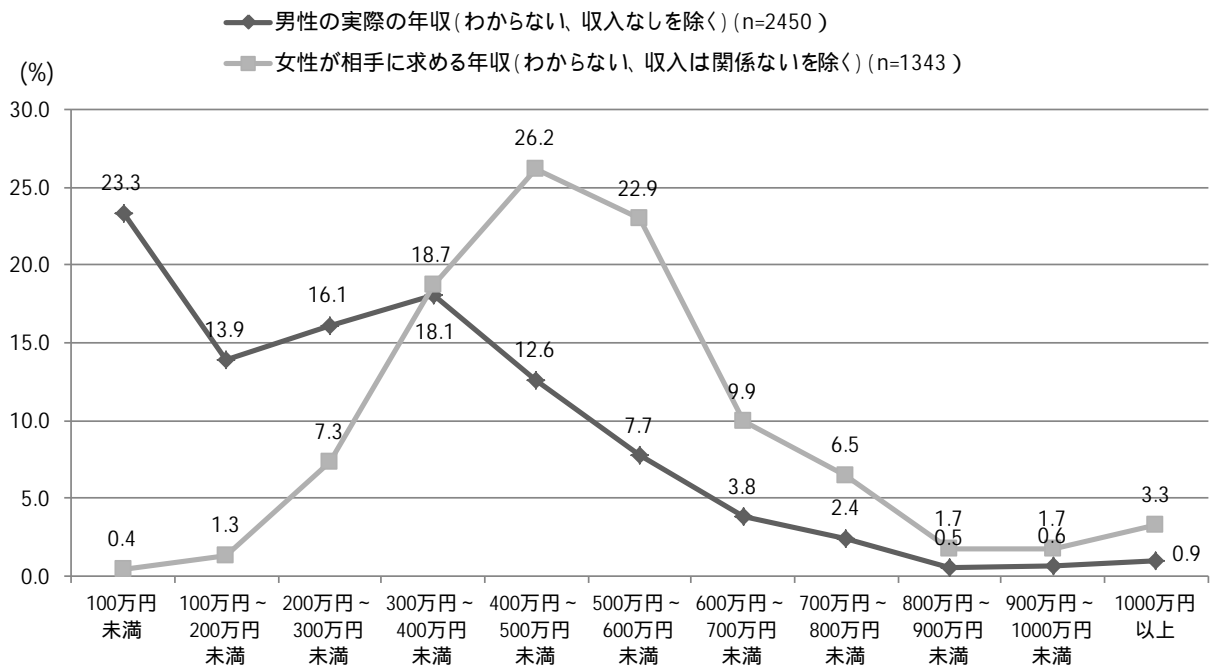
質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男性では「300万円未満」「収入は関係ない」が女性と比べて有意に高く、女性では「400万円以上」の割合が男性と比べて有意に高くなっている。
 男性の実際の年収では、「100万円未満」が最も高く、次いで「300万円～400万円未満」となっており、それ以上の年収区分の割合は徐々に低くなる傾向があるが、女性が相手に求める年収は「400万円～500万円未満」が最も高く、次いで「500万円～600万円未満」となっており、男性の実際の年収の分布と女性が相手に求める年収の分布でずれがあることがわかる。
 女性の実際の年収では、「100万円未満」が最も高く、次いで「200万円～300万円未満」となっており、それ以上の年収区分の割合は徐々に低くなる傾向があるが、男性が相手に求める年収は「200万円～300万円未満」が最も高く、次いで「300万円～400万円未満」となっており、女性の実際の年収の分布と男性が相手に求める年収の分布では大きなずれはない。
 結婚後の共働き意向別・性別では、共働きの意向のある男性では「100万円～400万円未満」が、共働きの意向のない男性では「100万円未満」が、それぞれ他と比べて有意に高くなっている。
 女性では共働きの意向の有無にかかわらず「400万円～700万円未満」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 32 結婚相手に求める年収(単一回答)

	n=	100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1000万円未満	1000万円以上	収入は関係ない	わからない	(%)
TOTAL	4093	1.2	4.5	12.4	14.8	13.0	9.1	3.7	2.4	0.7	0.8	1.5	15.9	19.8	
合計	2291	2.0	7.3	17.9	15.5	7.9	2.8	0.8	0.5	0.2	0.3	0.8	24.9	18.9	
男性															
20-29歳	1093	2.0	8.4	18.9	14.9	7.7	2.9	1.0	0.6	0.3	0.5	0.8	22.7	19.2	
30-39歳	672	1.9	6.1	17.3	16.5	8.3	3.6	1.0	0.1	0.0	0.1	1.0	25.6	18.3	
40-49歳	526	1.9	6.7	16.7	15.6	7.8	1.7	0.2	0.8	0.4	0.4	0.6	28.5	18.8	
女性															
合計	1802	0.3	1.0	5.4	13.9	19.5	17.1	7.4	4.8	1.3	1.3	2.4	4.6	20.9	
20-29歳	1009	0.3	0.9	6.5	15.7	19.7	14.2	6.3	4.3	1.2	1.2	2.6	4.5	22.7	
30-39歳	482	0.6	1.2	4.8	12.4	21.8	19.7	8.9	3.7	1.5	1.2	1.5	3.5	19.1	
40-49歳	311	0.0	1.0	2.9	10.6	15.4	22.5	8.4	8.4	1.3	1.6	3.5	6.4	18.0	

図表 4 - 1 - 33 結婚相手に求める年収(単一回答)と実際の年収の比較



図表 4 - 1 - 34 結婚相手に求める年収(単一回答) / 結婚後の共働きの意向別・性別

		n=	100万円 未満	100万円～ 200万円 未満	200万円～ 300万円 未満	300万円～ 400万円 未満	400万円～ 500万円 未満	500万円～ 600万円 未満	600万円～ 700万円 未満	700万円～ 800万円 未満	800万円～ 900万円 未満	900万円～ 1000万円 未満	1000万円 以上	収入は 関係ない	わからない	(%)
TOTAL		4093	1.2	4.5	12.4	14.8	13.0	9.1	3.7	2.4	0.7	0.8	1.5	15.9	19.8	
共働きの 意向あり	男性	1430	1.7	8.5	21.4	19.9	9.0	3.7	1.0	0.7	0.1	0.4	0.5	19.9	13.3	
	女性	1230	0.2	1.1	6.0	15.4	21.5	17.5	7.4	5.4	1.1	1.2	1.9	4.7	16.7	
共働きの 意向なし	男性	205	5.4	7.3	16.6	9.8	10.7	4.4	2.0	0.5	0.5	1.0	2.9	30.7	8.3	
	女性	196	0.5	1.0	4.1	10.2	19.9	23.5	10.2	4.6	2.6	1.5	5.6	2.0	14.3	
わからない	男性	656	1.5	4.9	10.8	7.9	4.7	0.5	0.2	0.2	0.3	0.0	0.9	33.8	34.3	
	女性	376	0.5	0.8	4.3	11.2	12.8	12.5	5.9	3.2	1.3	1.3	2.7	5.3	38.3	

性別・年収別では、年収300万円未満の男性で、相手に300万円未満の年収を求める割合が、他の性別・年収区分と比べて有意に高くなっている。また、年収300万円～500万円未満の男性で、相手に200万円～400万円未満を求める割合が、他の性別・年収区分と比べて有意に高くなっている。

女性では、自身の年収と同程度以上の年収を結婚相手に求める割合が他の性別・年収区分と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 35 結婚相手に求める年収(単一回答) / 性別・年収別

n=		100万円未満	100万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～600万円未満	600万円～700万円未満	700万円～800万円未満	800万円～900万円未満	900万円～1000万円未満	1000万円以上	収入は関係ない	わからない	(%)
TOTAL	4093	1.2	4.5	12.4	14.8	13.0	9.1	3.7	2.4	0.7	0.8	1.5	15.9	19.8	
合計	2062	2.1	8.0	19.5	16.8	8.5	3.0	0.9	0.6	0.2	0.4	0.9	24.2	14.7	
収入はなかった	201	3.0	5.0	9.0	10.0	6.0	3.0	1.5	1.0	1.0	1.5	2.5	24.4	32.3	
男性															
300万円未満	940	2.9	13.1	25.7	9.8	4.0	2.0	0.9	0.4	0.1	0.4	0.7	22.8	17.1	
300～500万円未満	600	0.8	4.0	19.3	28.5	12.8	1.7	0.3	0.3	0.0	0.2	0.3	22.2	9.5	
500～700万円未満	230	1.3	3.0	10.9	19.1	13.9	8.7	2.2	0.9	0.4	0.0	0.4	31.7	7.4	
700～1000万円未満	72	1.4	0.0	2.8	25.0	18.1	9.7	1.4	2.8	1.4	0.0	0.0	33.3	4.2	
1000～1500万円未満	11	18.2	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.4	9.1	
1500万円以上	8	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	37.5	0.0	
女性															
合計	1536	0.4	1.1	6.1	14.9	21.5	18.1	7.8	5.4	1.4	1.1	2.3	4.0	16.0	
収入はなかった	162	1.2	0.6	4.9	12.3	13.6	15.4	5.6	5.6	0.0	1.9	4.3	6.8	27.8	
300万円未満	993	0.4	1.6	8.4	17.7	21.3	15.4	5.5	4.1	1.1	0.9	1.6	3.9	17.9	
300～500万円未満	304	0.0	0.0	0.7	10.2	28.3	27.6	12.8	6.3	2.3	0.7	2.6	3.3	5.3	
500～700万円未満	57	0.0	0.0	0.0	3.5	15.8	21.1	28.1	17.5	1.8	3.5	0.0	1.8	7.0	
700～1000万円未満	17	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	17.6	5.9	23.5	11.8	5.9	11.8	0.0	11.8	
1000～1500万円未満	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	
無回答	495	0.2	0.8	2.6	6.3	5.5	6.7	2.6	0.8	0.4	1.2	2.0	18.4	52.5	

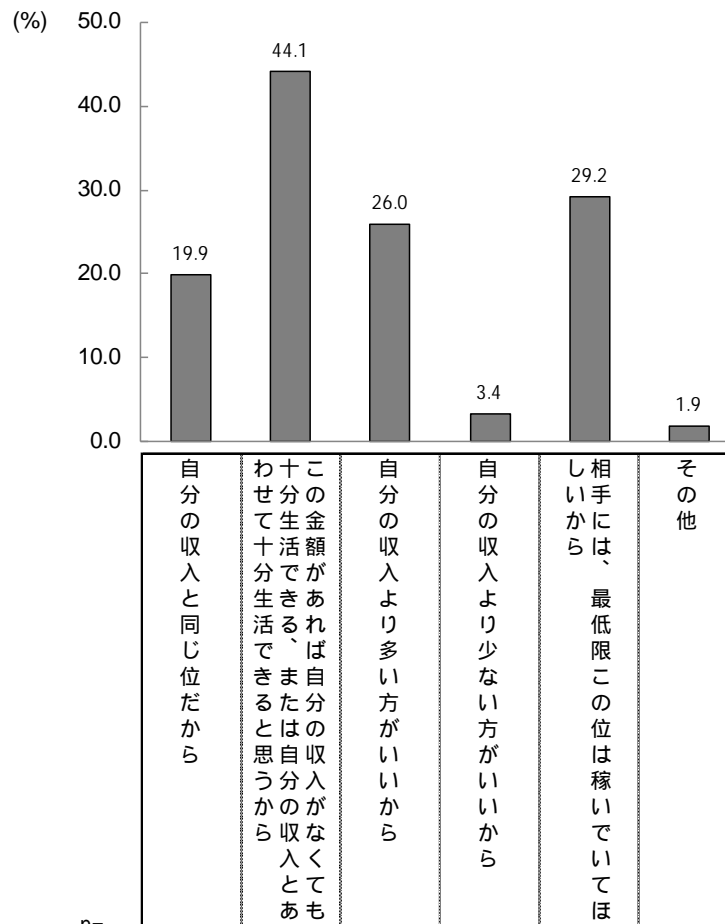
【問 34】前問でお答えになった金額を希望する理由は何ですか。

質問対象：問 33 で「収入は関係ない」「わからない」と回答した者以外

男女とも「この金額があれば自分の収入がなくても十分生活できる、または自分の収入とあわせて十分生活できると思うから」が最も高くなっている。

性別では、男性で「自分の収入と同じ位だから」が 29.4%、「自分の収入より少ない方がいいから」が 6.4%と女性と比べて有意に高くなっている。女性で「この金額があれば自分の収入がなくても十分生活できる、または自分の収入とあわせて十分生活できると思うから」が 46.1%、「自分の収入より多い方がいいから」が 44.2%と男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 36 結婚相手にその年収を希望する理由(複数回答)



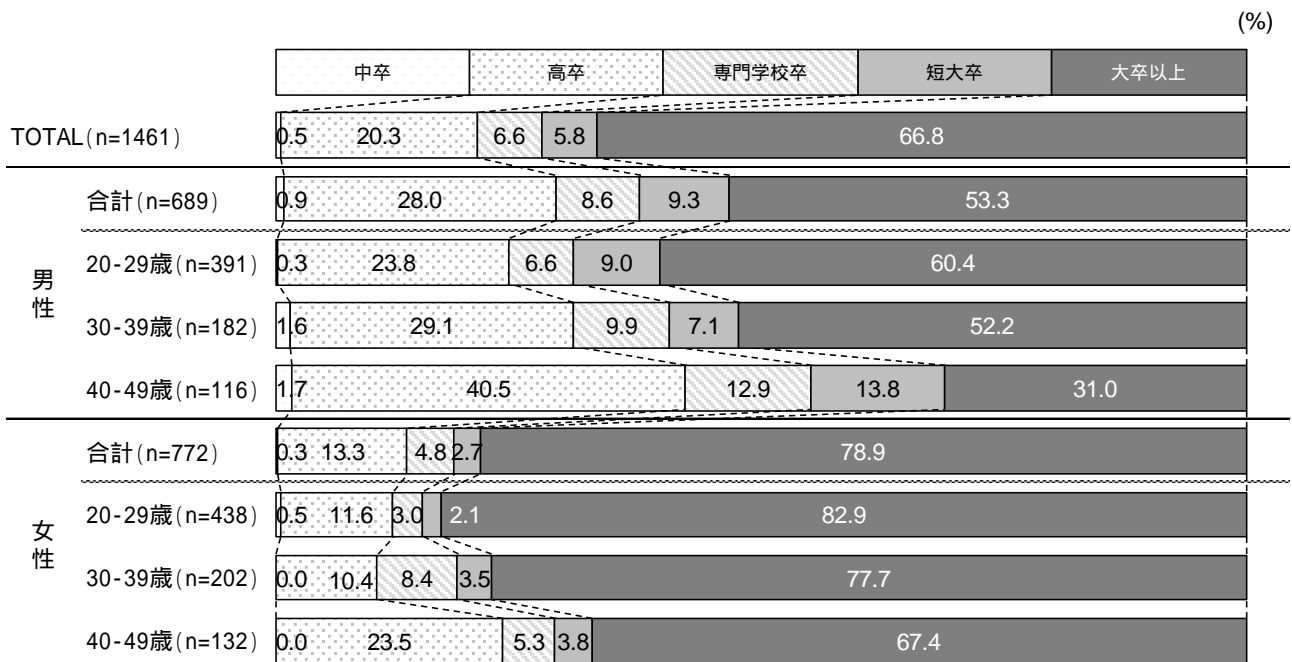
		n=	自分の収入と同じ位だから	わ十分この金額があれば自分の収入がなくても十分生活できる、または自分の収入とあわせて十分生活できると思うから	自分の収入より多い方がいいから	自分の収入より少ない方がいいから	し相手には、最低限この位は稼いでいてほしいから	その他
TOTAL		2632	19.9	44.1	26.0	3.4	29.2	1.9
男性	合計	1289	29.4	42.0	7.0	6.4	31.0	2.2
	20-29歳	635	28.8	43.8	6.9	7.7	30.9	1.9
	30-39歳	377	32.1	40.3	8.0	5.8	28.9	2.1
	40-49歳	277	27.1	40.1	5.8	4.3	33.9	2.9
女性	合計	1343	10.7	46.1	44.2	0.4	27.5	1.6
	20-29歳	735	9.9	47.5	44.2	0.4	28.7	1.4
	30-39歳	373	11.5	45.3	44.8	0.3	25.2	1.6
	40-49歳	235	11.9	43.0	43.4	0.9	27.2	2.1

【問 35】結婚相手(事実婚を含む)の学歴(相手の最終学歴または最高学歴)を重視または考慮すると答えた方にお聞きします。結婚相手の学歴として、あなたのご希望に最もあてはまるものをお選び下さい。

質問対象：問 32 (6) で「重視する」「考慮する」と回答した者

男女とも「大卒以上」が最も高く、次いで「高卒」となっている。
性別では、男性で「高卒」「短大卒」「専門学校卒」が女性と比べて有意に高く、女性で「大卒以上」が 78.9%と男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 37 結婚相手に望む学歴(単一回答)



		n=	中卒	高卒	専門学校卒	短大卒	大卒以上	(%)
TOTAL		1461	0.5	20.3	6.6	5.8	66.8	
男性	合計	689	0.9	28.0	8.6	9.3	53.3	
	20-29歳	391	0.3	23.8	6.6	9.0	60.4	
	30-39歳	182	1.6	29.1	9.9	7.1	52.2	
	40-49歳	116	1.7	40.5	12.9	13.8	31.0	
女性	合計	772	0.3	13.3	4.8	2.7	78.9	
	20-29歳	438	0.5	11.6	3.0	2.1	82.9	
	30-39歳	202	0.0	10.4	8.4	3.5	77.7	
	40-49歳	132	0.0	23.5	5.3	3.8	67.4	

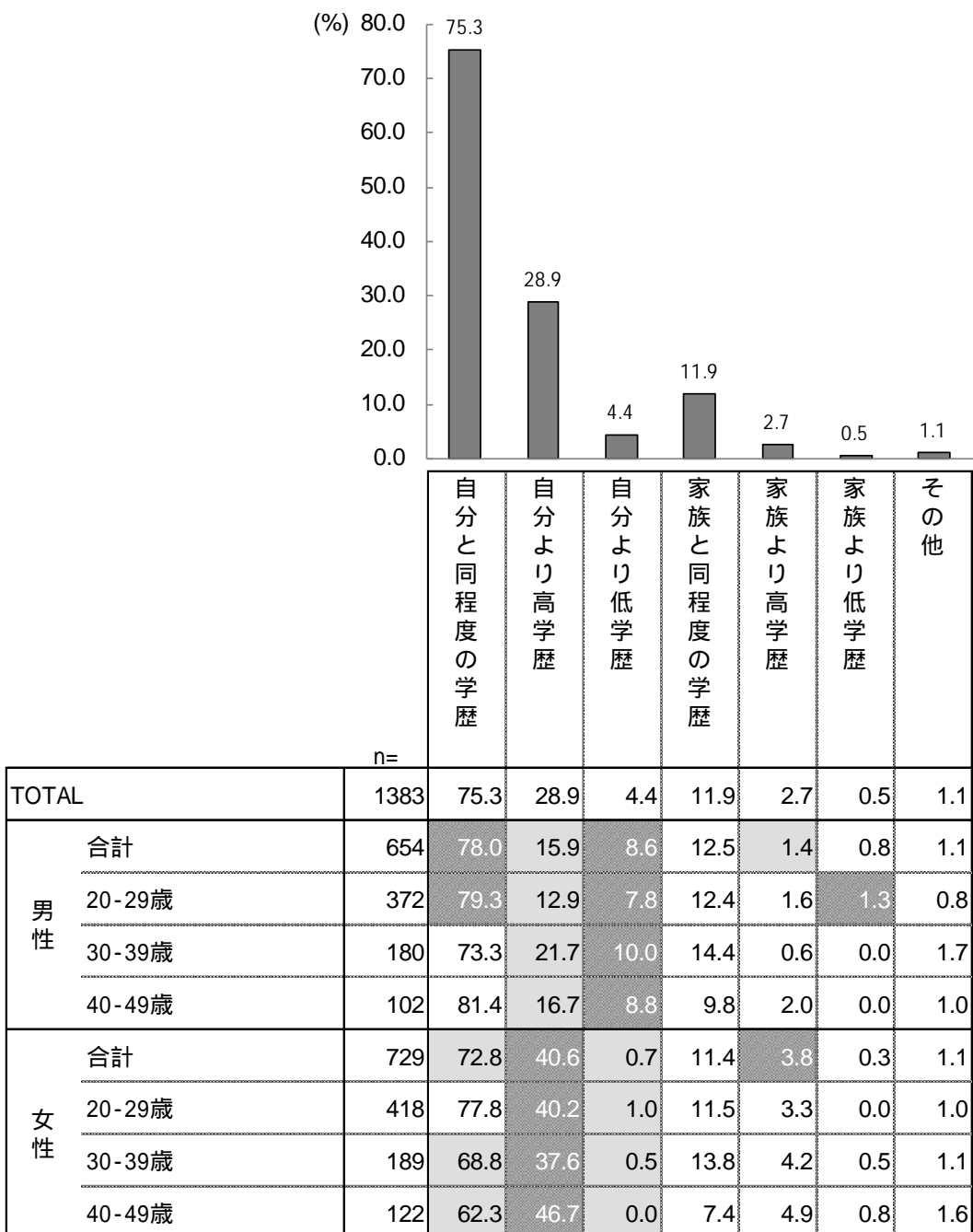
【問 36】結婚相手(事実婚を含む)の学歴(自分・家族と相手との差もしくは同等であることを重視または考慮すると答えた方にお聞きします。結婚相手の学歴を考える際、あなたのご希望として以下に当てはまるものがあればすべてお選び下さい。

選択肢にある「家族」とは、家族の中で最も高学歴の者を指します。

質問対象：問 32(7)で「重視する」「考慮する」と回答した者

男女とも「自分と同程度の学歴」が最も高く、次いで「自分より高学歴」となっている。性別では、男性で「自分と同程度の学歴」「自分より低学歴」が女性と比べて有意に高く、女性は「自分より高学歴」「家族より高学歴」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 38 結婚相手に望む学歴の程度(複数回答)



【問 37】あなたは結婚後、夫婦共に働こうと思っていますか。

質問対象：結婚経験のない者のうち結婚意向のある者（婚約中含む）

男女とも「そう思う」が最も高く、次いで「わからない」となっている。
 性別では、男性で「わからない」「自分は働くが、相手は働かない」が女性と比べて有意に高く、
 女性で「そう思う」「相手は働くが、自分は働かない」が男性と比べて有意に高くなっている。
 性年代別では、20～29歳の男性で「自分は働くが、相手は働かない」が8.7%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。20～29歳の女性で「そう思う」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 39 夫婦共働きの希望有無(単一回答)

(%)

		そう思う	自分は働くが、 相手は働かない	相手は働くが、 自分は働かない	自分も働かないし、 相手も働かない	わからない
TOTAL (n=4093)		65.0	3.9	5.5	0.4	25.2
合計 (n=2291)		62.4	6.8	1.6	0.5	28.6
男性	20-29歳 (n=1093)	61.1	8.7	2.1	0.7	27.4
	30-39歳 (n=672)	64.4	4.9	1.6	0.4	28.6
	40-49歳 (n=526)	62.5	5.3	0.6	0.2	31.4
	合計 (n=1802)	68.3	0.2	10.4	0.3	20.9
女性	20-29歳 (n=1009)	71.5	0.2	9.0	0.2	19.1
	30-39歳 (n=482)	65.6	0.4	11.2	0.2	22.6
	40-49歳 (n=311)	62.1	0.0	13.5	0.6	23.8

		そう思う	自分は働くが、 相手は働かない	相手は働くが、 自分は働かない	自分も働かないし、 相手も働かない	わからない	
TOTAL		n= 4093	65.0	3.9	5.5	0.4	25.2
合計		2291	62.4	6.8	1.6	0.5	28.6
男性	20-29歳	1093	61.1	8.7	2.1	0.7	27.4
	30-39歳	672	64.4	4.9	1.6	0.4	28.6
	40-49歳	526	62.5	5.3	0.6	0.2	31.4
	合計	1802	68.3	0.2	10.4	0.3	20.9
女性	20-29歳	1009	71.5	0.2	9.0	0.2	19.1
	30-39歳	482	65.6	0.4	11.2	0.2	22.6
	40-49歳	311	62.1	0.0	13.5	0.6	23.8

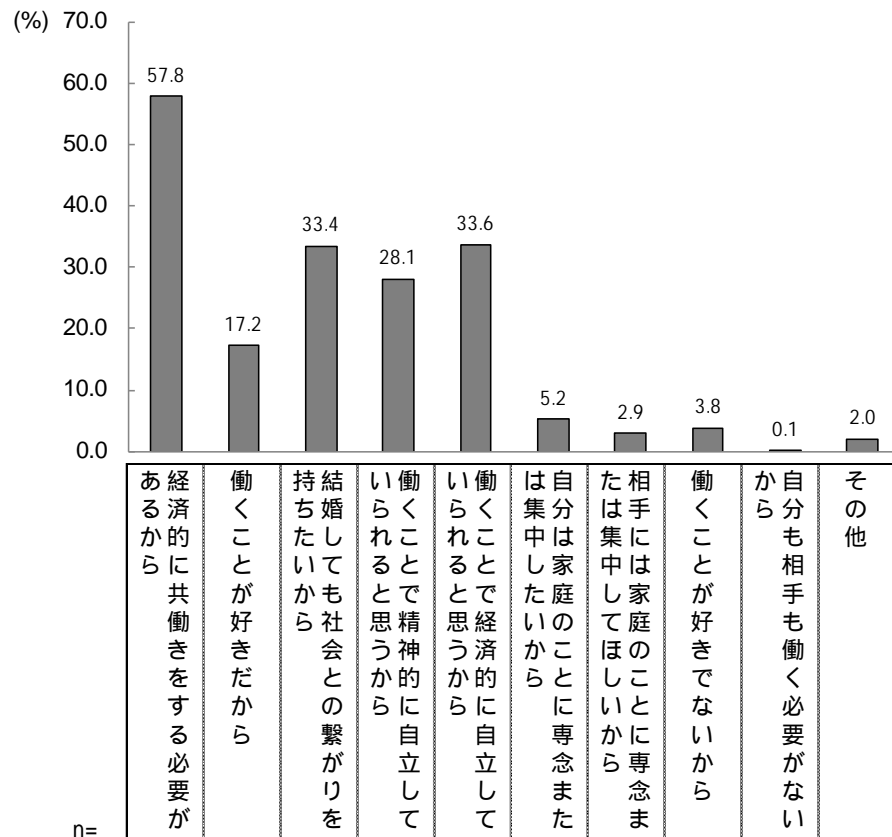
(%)

【問 38】その理由を教えてください。

質問対象：問 37 で「わからない」と回答した者以外

男女とも「経済的に共働きをする必要があるから」が最も高くなっている。性別では、男性で「経済的に共働きをする必要があるから」「相手には家庭のことに専念または集中してほしいから」が女性と比べて有意に高くなっている。女性で「結婚しても社会との繋がりを持ちたいから」「働くことで経済的に自立していただけると思うから」「働くことで精神的に自立していただけると思うから」「働くことが好きだから」「自分は家庭のことに専念または集中したいから」「働くことが好きでないから」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 1 - 40 夫婦共働きの希望有無の理由(複数回答)



		n=	57.8	17.2	33.4	28.1	33.6	5.2	2.9	3.8	0.1	2.0
TOTAL		3061	57.8	17.2	33.4	28.1	33.6	5.2	2.9	3.8	0.1	2.0
男性	合計	1635	64.9	12.1	25.7	22.6	27.1	1.4	5.3	1.7	0.2	1.5
	20-29歳	794	61.1	13.0	24.9	21.7	27.8	2.0	6.4	2.3	0.4	1.4
	30-39歳	480	68.8	11.5	25.2	22.5	24.4	1.5	4.2	1.7	0.0	1.7
	40-49歳	361	68.1	11.1	28.0	24.9	29.1	0.0	4.4	0.3	0.0	1.7
女性	合計	1426	49.6	23.1	42.3	34.3	41.1	9.5	0.1	6.3	0.0	2.6
	20-29歳	816	54.0	23.2	41.2	34.2	41.4	8.2	0.0	5.8	0.0	2.0
	30-39歳	373	47.7	23.1	46.9	35.1	39.7	11.3	0.3	6.2	0.0	2.9
	40-49歳	237	37.1	22.8	38.8	33.3	42.2	11.4	0.0	8.4	0.0	4.2

4 - 2 政府の子育て支援の取組評価

分析対象： 「全体サンプル」

4-2. 政府の子育て支援の取組の評価

**【問 39】あなたは日本の社会が、結婚、妊娠、子供・子育てに温かい社会の実現に向かってい
ると考えますか。**

質問対象： 「全体サンプル」 全員

男女とも「どちらかといえばそう思わない」が最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」「そう思わない」となっている。
性別では、男性で「どちらかといえばそう思う」「そう思う」が女性と比べて有意に高く、女性で「どちらかといえばそう思わない」が45.8%と男性と比べて有意に高くなっている。
性年代別では、20～29歳の男性で「どちらかといえばそう思う」「そう思う」が他の性年代と比べて有意に高くなっている。30～39歳の女性で「そう思わない」が30.4%と他の性年代と比べて有意に高くなっている。

図表 4-2-1 日本の社会が温かい社会の実現に向かっていていると考えるか(単一回答)

(%)

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
TOTAL (n=11889)		2.3	27.4	44.1	26.2
合計 (n=5914)		2.7	28.5	42.4	26.4
男性	20-29歳 (n=1146)	4.6	31.5	38.8	25.0
	30-39歳 (n=1425)	2.9	27.6	41.2	28.4
	40-49歳 (n=1807)	2.2	26.9	44.7	26.2
	50-59歳 (n=1536)	1.8	29.1	43.4	25.8
	合計 (n=5975)	2.0	26.2	45.8	26.0
女性	20-29歳 (n=1143)	2.1	27.6	44.9	25.4
	30-39歳 (n=1417)	2.0	23.4	44.2	30.4
	40-49歳 (n=1850)	1.8	23.0	49.0	26.3
	50-59歳 (n=1565)	2.1	31.6	44.2	22.1

		そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	(%)
TOTAL	11889	2.3	27.4	44.1	26.2	
男性	合計	5914	2.7	28.5	42.4	26.4
	20-29歳	1146	4.6	31.5	38.8	25.0
	30-39歳	1425	2.9	27.6	41.2	28.4
	40-49歳	1807	2.2	26.9	44.7	26.2
	50-59歳	1536	1.8	29.1	43.4	25.8
女性	合計	5975	2.0	26.2	45.8	26.0
	20-29歳	1143	2.1	27.6	44.9	25.4
	30-39歳	1417	2.0	23.4	44.2	30.4
	40-49歳	1850	1.8	23.0	49.0	26.3
	50-59歳	1565	2.1	31.6	44.2	22.1

[問 40] あなたは、政府や自治体の現在の少子化対策(結婚・妊娠・出産・子育て支援等)は質量ともに十分だと思いますか。

質とは、施策のメニューが幅広く用意されているか否かを指します。

量とは、各々の施策に対する予算等の投下量が十分か否かを指します。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

男女とも「質・量ともに十分ではない」が最も高く、次いで「わからない」となっている。子供がいる既婚男性で「質・量ともに十分ではない」「質は十分だが、量は十分ではない」「質は十分ではないが、量は十分」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいる既婚女性で「質・量ともに十分ではない」が66.8%と他と比べて有意に高くなっている。男女ともに、子供がいる既婚者、子供がいない既婚者、未婚者の順で「質・量ともに十分ではない」の割合が高くなっている。

図表 4 - 2 - 2 現在の少子化対策は十分だと思うか(単一回答)



		n=	質・量ともに十分	質は十分だが、量は十分ではない	質は十分ではないが、量は十分	質・量ともに十分ではない	わからない	
TOTAL		11889	4.0	6.0	5.1	61.7	23.1	
未婚	男性	2375	4.9	6.8	4.8	57.0	26.5	
	女性	1691	4.0	5.6	4.8	54.6	31.0	
既婚	子供なし	男性	737	4.5	6.2	6.8	60.5	22.0
		女性	986	3.2	3.9	5.3	58.2	29.4
	子供あり	男性	2493	3.8	7.5	5.9	70.7	12.1
		女性	2981	3.4	6.1	4.9	66.8	18.9
その他・無回答		626	3.8	2.1	3.2	46.2	44.7	

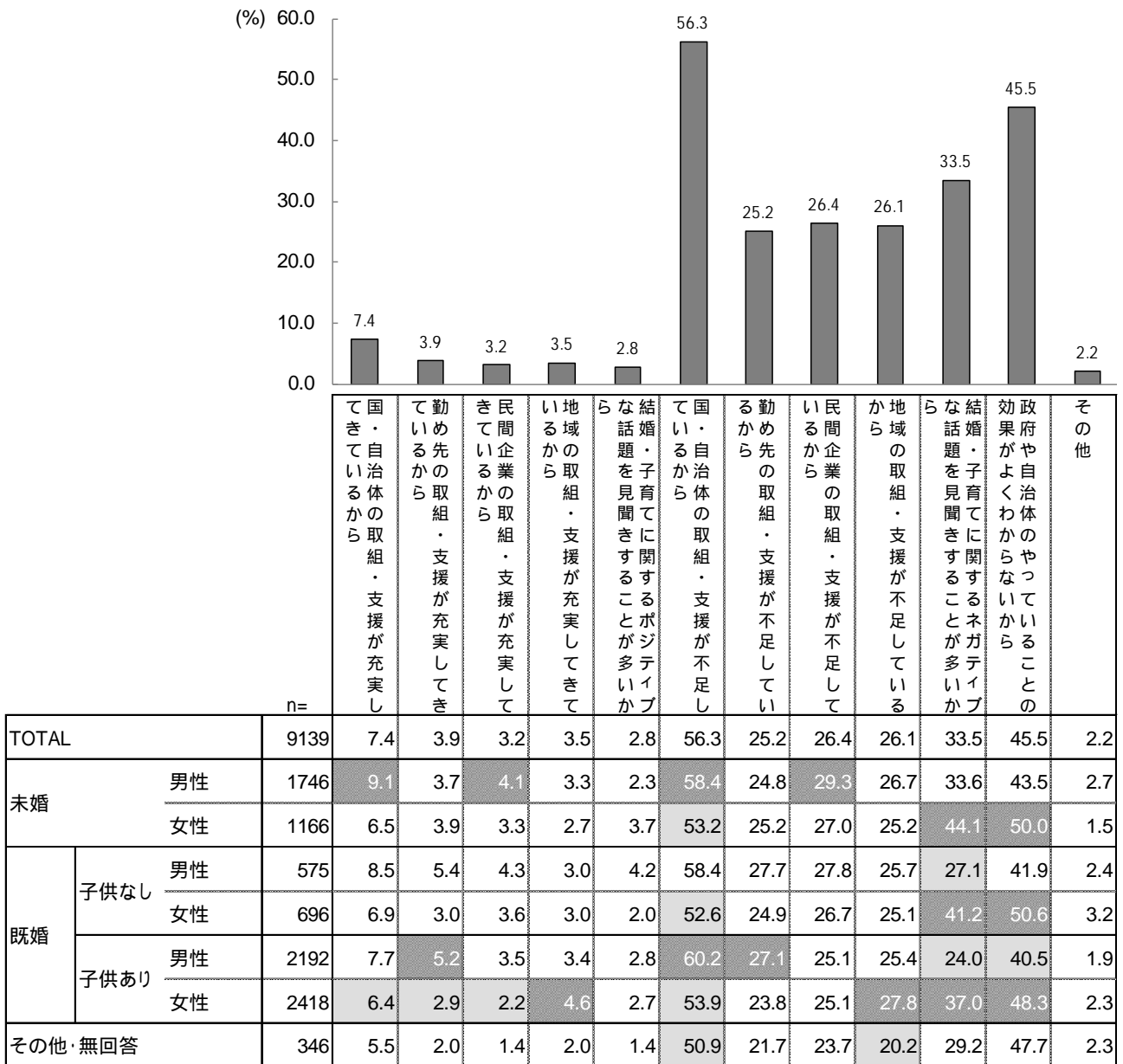
(%)

【問 41】その理由を教えてください。

質問対象：問 40 で「質・量ともに十分」「質は十分だが、量は十分ではない」「質は十分ではないが、量は十分」「質・量ともに十分ではない」と回答した者

全体では、「国・自治体の取組・支援が不足しているから」が 56.3%と最も高く、次いで「政府や自治体のやっていることの効果がよくわからないから」が 45.5%となっている。
 未婚男性では「国・自治体の取組・支援が不足しているから」「民間企業の取組・支援が不足しているから」「国・自治体の取組・支援が充実してきているから」「民間企業の取組・支援が充実してきているから」が他と比べて有意に高くなっている。
 未既婚・子供の有無にかかわらず女性で「政府や自治体のやっていることの効果がよくわからないから」「結婚・子育てに関するネガティブな話題を見聞きすることが多いから」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 3 現在の少子化対策が十分または不十分だと思う理由(複数回答)



【問 42】あなたが、政府や自治体の現在の少子化対策(結婚・妊娠・出産・子育て支援等)のうち、不十分であると思うものを、5つまでお選び下さい。

選択肢にある「周産期医療」とは、周産期とその前後の期間の母体・胎児・新生児に生じがちな突発的事態に対応するための、産科と新生児科とを統合した医療のことを指します。

(1) 質が十分ではないと思うもの

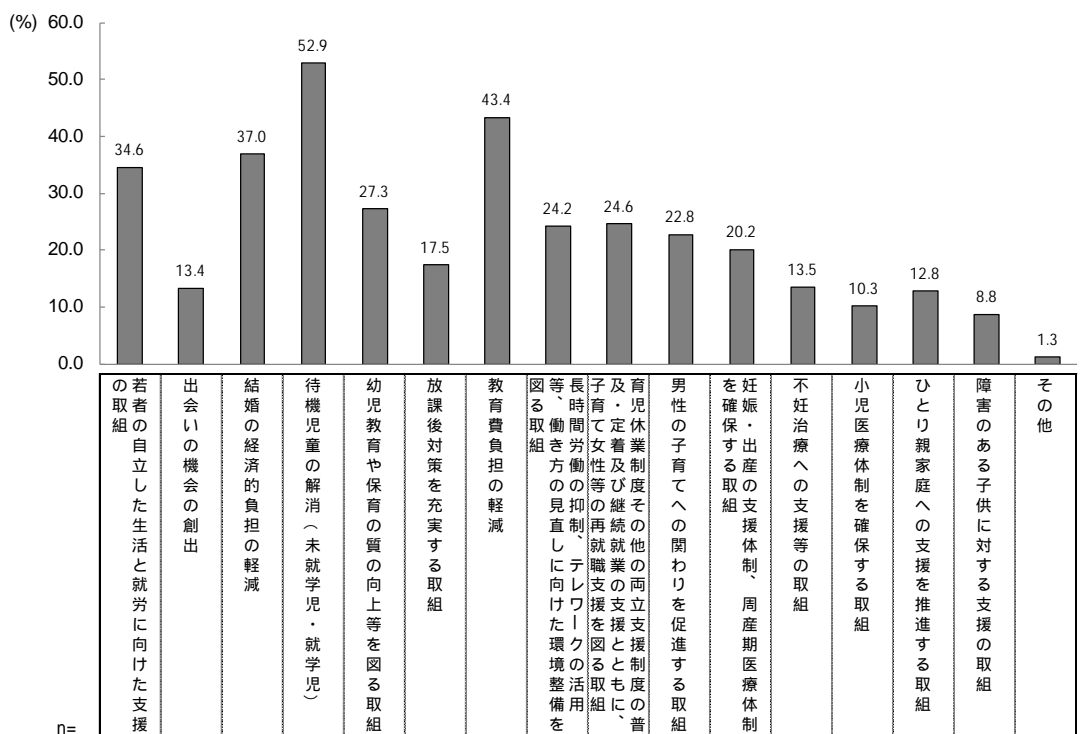
質問対象：問 40 で「質・量ともに十分ではない」もしくは「質は十分ではないが、量は十分」と回答した者

全体では、「待機児童の解消(未就学児・就学児)」が 52.9%と最も高く、次いで「教育費負担の軽減」が 43.4%、「結婚の経済的負担の軽減」が 37.0%となっている。

子供がいる既婚者では男女とも「教育費負担の軽減」「幼児教育や保育の質の向上等を図る取組」が他と比べて有意に高くなっている。

未既婚・子供の有無にかかわらず女性で「男性の子育てへの関わりを促進する取組」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 4 現在の少子化対策のうち質が十分ではないと思うもの(複数回答)



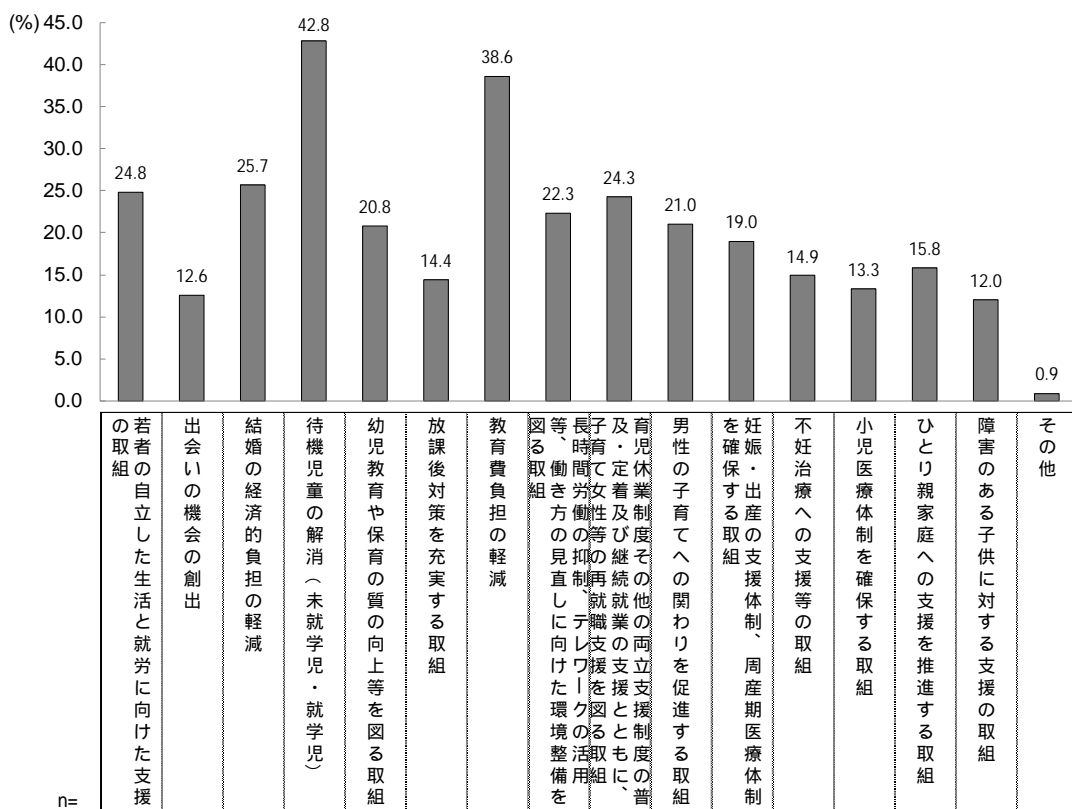
		n=	若者の自立した生活と就労に向けた支援の取組	出会いの機会の創出	結婚の経済的負担の軽減	待機児童の解消(未就学児・就学児)	幼児教育や保育の質の向上等を図る取組	放課後対策を充実する取組	教育費負担の軽減	等、働き方の見直しに向けた環境整備を図る取組	長時間労働の抑制、テレワークの活用を促進する取組	子育て休業制度その他の両立支援制度の普及・定着及び継続的支援をとる取組	男性の子育てへの関わりを促進する取組	妊娠・出産の支援体制、周産期医療体制を確保する取組	不妊治療への支援等の取組	小児医療体制を確保する取組	ひとり親家庭への支援を推進する取組	障害のある子供に対する支援の取組	その他
TOTAL		7950	34.6	13.4	37.0	52.9	27.3	17.5	43.4	24.2	24.6	22.8	20.2	13.5	10.3	12.8	8.8	1.3	
未婚	男性	1468	39.4	23.0	50.6	47.8	24.4	8.7	39.0	30.0	20.8	17.8	16.0	6.8	6.7	13.1	7.2	1.4	
	女性	1005	38.4	13.8	36.3	60.0	25.5	14.8	36.8	29.7	26.3	27.9	24.0	15.6	9.4	18.4	9.1	1.1	
既婚	子供なし	男性	496	35.7	14.5	42.1	45.8	23.0	9.1	35.7	25.2	21.4	17.1	21.2	20.4	7.3	11.1	6.5	1.6
		女性	626	30.5	7.7	31.0	54.0	21.1	15.3	30.4	29.1	30.2	29.9	29.6	32.3	8.6	14.1	12.6	1.6
	子供あり	男性	1911	31.0	12.2	37.9	50.1	31.0	17.3	48.6	20.6	19.7	17.1	17.0	9.0	11.0	9.9	8.0	1.5
		女性	2135	33.1	8.5	28.3	57.0	30.5	28.4	52.8	19.3	30.2	28.1	21.5	14.5	14.1	12.2	8.9	1.2
その他・無回答		309	37.9	16.8	33.3	51.8	21.0	11.7	29.1	23.3	22.7	24.3	18.4	10.7	9.4	16.5	14.9	0.6	

(2)量が十分ではないと思うもの

質問対象：問40で「質・量ともに十分ではない」もしくは「質は十分だが、量は十分ではない」と回答した者

全体では、「待機児童の解消（未就学児・就学児）」が42.8%と最も高く、次いで「教育費負担の軽減」が38.6%、「結婚の経済的負担の軽減」が25.7%となっている。
 未婚男性では「結婚の経済的負担の軽減」、未婚女性では「待機児童の解消（未就学児・就学児）」が他と比べて有意に高くなっている。
 子供がいる既婚者では男女ともに「教育費負担の軽減」「幼児教育や保育の質の向上等を図る取組」が他と比べて有意に高くなっている。また、未既婚・子供の有無にかかわらず女性で「育児休業制度その他の両立支援制度の普及・定着及び継続就業の支援とともに、子育て女性等の再就職支援を図る取組」「男性の子育てへの関わりを促進する取組」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 5 現在の少子化対策のうち量が十分ではないと思うもの(複数回答)



		n=	若者の自立した生活と就労に向けた支援	出会いの機会の創出	結婚の経済的負担の軽減	待機児童の解消（未就学児・就学児）	幼児教育や保育の質の向上等を図る取組	放課後対策を充実する取組	教育費負担の軽減	長期間の育児休業取得を支援する取組	子育て女性等の再就職支援とともに、子育て女性等の再就職支援を図る取組	男性の子育てへの関わりを促進する取組	妊産婦・出産の支援体制、周産期医療体制を確保する取組	不妊治療への支援等の取組	小児医療体制を確保する取組	ひとり親家庭への支援を推進する取組	障害のある子供に対する支援の取組	その他	
TOTAL		8058	24.8	12.6	25.7	42.8	20.8	14.4	38.6	22.3	24.3	21.0	19.0	14.9	13.3	15.8	12.0	0.9	
未婚	男性	1514	30.8	22.5	40.0	37.0	17.8	7.6	34.3	24.3	21.4	17.4	16.2	9.1	10.5	15.7	10.1	1.3	
	女性	1018	27.0	12.4	23.5	50.0	19.1	11.4	29.8	26.3	28.0	27.3	22.9	18.7	10.6	22.0	14.9	0.6	
既婚	子供なし	男性	492	27.6	13.8	29.3	35.2	19.1	7.3	31.3	23.0	23.2	13.6	23.2	22.8	12.0	15.7	9.3	1.0
		女性	612	18.3	9.0	19.9	45.6	15.5	13.9	26.0	26.5	27.8	27.5	27.1	28.6	11.9	17.3	13.9	0.8
	子供あり	男性	1949	24.4	11.3	26.1	39.4	24.3	15.1	47.1	21.3	19.8	16.0	15.0	10.1	12.7	12.5	10.0	1.0
		女性	2171	20.3	7.2	17.3	48.2	22.6	22.4	44.8	18.3	28.0	25.3	19.6	16.2	17.3	14.8	12.9	0.6
その他・無回答		302	31.1	15.6	24.2	36.8	18.9	9.3	26.8	24.8	23.5	18.5	18.9	13.2	15.6	20.9	18.5	1.3	

【問 43】あなたは、次のうちどのようなことがあれば、皆が安心して希望通り子供を持てるようになると思いますか。当てはまるものをすべてお選び下さい。

選択肢にある「小1の壁」とは、主に共働き家庭において、子供が保育園から小学校に上がる際、公的な学童保育の預かり時間が保育園よりも短くなることで直面する社会的な問題のことを指します。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「希望通り産休や育休が取得できる」が40.9%と最も高く、次いで「出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある」が40.3%、「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」が39.1%となっている。
未既婚・子供の有無にかかわらず、ほぼ全ての項目で女性の割合が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 6 どのようなことがあれば安心して希望通り子供を持てるようになるか(複数回答)

		n=	妊娠中も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある	出産後も同じ勤務先で継続して就業できる環境がある	妊娠中も同じ勤務先でキャリアアップが可能な環境がある	出産後も同じ勤務先でキャリアアップが可能な環境がある	妊娠や出産で退職しても再就職や同じ勤務先へ復職できる環境がある	希望通り産休や育休が取得できる	勤務先に育児短縮勤務制度がある	ご自身もしくはパートナーの勤務先の長時間勤務の削減など働き方が見直される	パートナーの協力が得られる	身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる	いわゆる「小1の壁」が解消される	(%)	
TOTAL		11889	35.6	40.3	18.4	23.6	27.2	40.9	28.4	23.7	34.5	11.5	14.6		
未婚	男性	2375	32.2	35.9	18.0	22.5	23.3	37.6	22.6	20.6	28.0	10.8	10.7		
	女性	1691	38.6	43.3	18.2	24.5	31.4	48.3	31.3	27.6	45.2	13.8	14.3		
既婚	子供なし	男性	737	34.2	34.9	16.4	20.4	19.1	33.6	20.4	18.5	19.4	6.5	7.2	
		女性	986	40.2	45.8	20.7	27.1	34.9	44.4	30.7	27.1	44.5	12.7	14.5	
	子供あり	男性	2493	31.9	36.1	17.3	22.2	21.5	36.5	25.0	19.4	23.3	10.1	12.2	
		女性	2981	40.5	47.3	20.4	26.4	33.7	45.8	37.9	29.3	45.4	13.3	23.0	
その他・無回答		626	27.2	30.2	13.6	16.3	18.7	30.5	17.4	16.9	23.6	8.3	9.4		

		n=	ご自身もしくはパートナーの転勤への配慮がなされる	居住する自治体で、妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている	出産する病院が近くにある	産後ケア・産後うつへの支援・取組がなされている	幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている	理由を問わず子供を預けられるサポーター体制(病児保育や一時預かりなど)が整備されている	きめ細かいニーズに対応した多様な主体(自治体、NPO、企業等)から育児支援サービスが得られる	妊娠や子育てで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている	祖父母等と近居・同居等により祖父母等からの支援が得られる	その他	わからない、特にな	(%)	
TOTAL		11889	25.4	31.8	24.8	23.7	39.1	32.0	15.8	22.1	14.6	1.6	20.6		
未婚	男性	2375	24.9	25.8	18.4	21.1	28.8	22.0	14.4	15.9	10.4	1.3	29.1		
	女性	1691	30.7	33.6	30.5	31.0	43.0	34.4	17.1	24.8	15.1	1.0	20.6		
既婚	子供なし	男性	737	19.8	27.8	20.1	17.1	28.2	21.3	11.5	13.4	9.5	1.6	25.1	
		女性	986	26.3	34.7	31.7	31.0	43.0	39.4	18.8	25.6	16.8	1.9	20.3	
	子供あり	男性	2493	23.3	31.2	20.7	17.9	37.1	27.2	14.3	18.2	14.6	2.0	16.1	
		女性	2981	27.2	38.3	30.1	26.4	51.0	44.8	18.1	31.3	19.1	1.6	11.7	
その他・無回答		626	17.3	21.1	20.0	20.1	25.9	22.8	12.5	14.5	11.0	1.3	43.1		

**【問 44】あなたは現在の子育て支援に関する政府の支出が十分だと思いますか。
子育て支援に関する政府の支出の代表的な例は、保育園の費用や児童手当等です。**

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「どちらともいえない」が37.1%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が31.5%、「そう思わない」が19.0%となっている。
未婚者は男女ともに「どちらともいえない」が他と比べて有意に高くなっている。
子供がいない既婚女性は「そう思う」が4.4%と他と比べて有意に高く、子供がいる既婚男性は「あまりそう思わない」「そう思わない」「ややそう思う」、子供がいる既婚女性は「あまりそう思わない」が、それぞれ他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 7 現在の子育て支援に関する政府の支出が十分だと思うか(単一回答)

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL (n=11889)		2.9 9.6	37.1		31.5	19.0
未婚	男性 (n=2375)	2.8 9.8	39.2		28.0	20.2
	女性 (n=1691)	2.6 9.2	42.6		29.2	16.4
既婚	子供なし	男性 (n=737)	3.4 9.8	35.7	31.1	20.1
		女性 (n=986)	4.4 6.4	39.6	33.6	16.1
	子供あり	男性 (n=2493)	2.2 10.7	30.0	34.8	22.3
		女性 (n=2981)	2.9 10.4	35.2	33.6	18.0
その他・無回答 (n=626)		3.2 6.1	49.0		25.4	16.3

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	
TOTAL		11889	2.9	9.6	37.1	31.5	19.0	
未婚	男性	2375	2.8	9.8	39.2	28.0	20.2	
	女性	1691	2.6	9.2	42.6	29.2	16.4	
既婚	子供なし	男性	737	3.4	9.8	35.7	31.1	20.1
		女性	986	4.4	6.4	39.6	33.6	16.1
	子供あり	男性	2493	2.2	10.7	30.0	34.8	22.3
		女性	2981	2.9	10.4	35.2	33.6	18.0
その他・無回答		626	3.2	6.1	49.0	25.4	16.3	

(%)

【問 45】前問で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」とお答えになった方にお聞きします。日本の子育て支援に関する政府の支出を増やすため、以下のうち何が最も必要だと考えますか。

質問対象：問 44 で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した者

全体では、「その他の分野での財政支出の減額」が 34.6%と最も高く、次いで「消費税の増税」が 18.6%、「上記であてはまるものはない」が 17.6%となっている。
未婚男性では「高齢者への支援の減額」が 16.2%と他と比べて有意に高くなっている。子供がいる既婚者では男女ともに「消費税の増税」が他と比べて有意に高くなっている。また、子供の有無にかかわらず既婚女性で「その他の分野での財政支出の減額」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 8 子育て支援に関する政府の支出を増やすために最も必要なこと(単一回答)

(%)

		消費税の増税	消費税以外の税の増税	高齢者への支援の減額	その他の分野での財政支出の減額	その他	上記であてはまるものはない	
TOTAL (n=10413)		18.6	10.7	13.4	34.6	5.1	17.6	
未婚	男性 (n=2076)	16.1	11.8	16.2	29.0	5.4	21.5	
	女性 (n=1492)	16.2	10.6	12.3	33.4	4.6	23.0	
既婚	子供なし	男性 (n=640)	19.4	12.0	15.9	32.7	4.8	15.2
		女性 (n=880)	19.8	8.2	11.1	38.0	5.7	17.3
	子供あり	男性 (n=2171)	20.9	13.1	14.7	34.9	4.9	11.5
		女性 (n=2586)	20.0	9.2	12.0	39.8	5.6	13.4
その他・無回答 (n=568)		16.9	7.6	7.6	29.6	3.7	34.7	

		n=	消費税の増税	消費税以外の税の増税	高齢者への支援の減額	その他の分野での財政支出の減額	その他	上記であてはまるものはない	
TOTAL		10413	18.6	10.7	13.4	34.6	5.1	17.6	
未婚	男性	2076	16.1	11.8	16.2	29.0	5.4	21.5	
	女性	1492	16.2	10.6	12.3	33.4	4.6	23.0	
既婚	子供なし	男性	640	19.4	12.0	15.9	32.7	4.8	15.2
		女性	880	19.8	8.2	11.1	38.0	5.7	17.3
	子供あり	男性	2171	20.9	13.1	14.7	34.9	4.9	11.5
		女性	2586	20.0	9.2	12.0	39.8	5.6	13.4
その他・無回答		568	16.9	7.6	7.6	29.6	3.7	34.7	

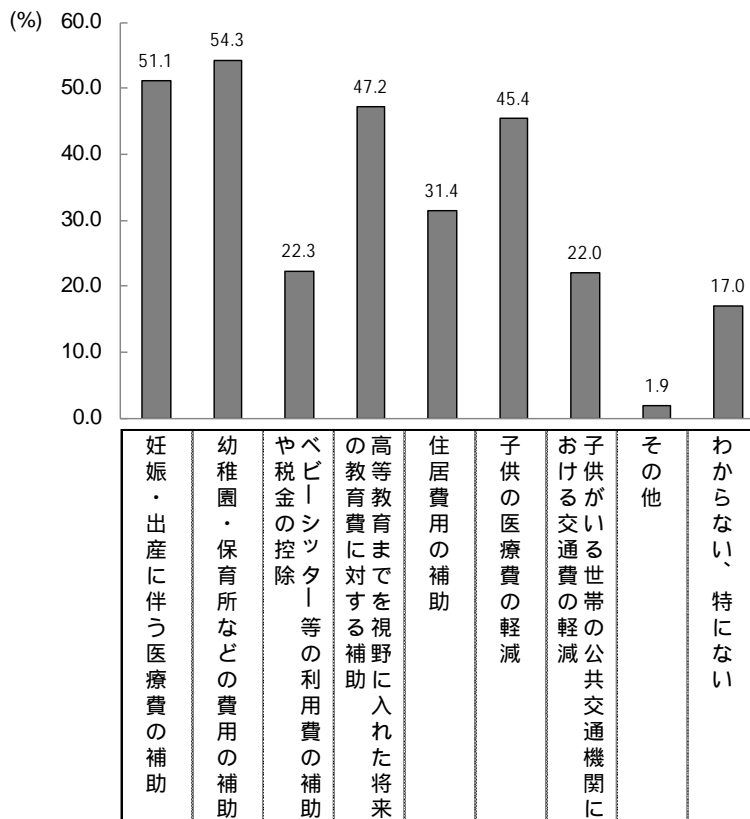
(%)

【問 46】次に挙げる経済的な事柄のうち、どのようなことがあれば、皆が安心して希望通り子供を持てるようになると思いますか。当てはまるものをすべてお選び下さい。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「幼稚園・保育所などの費用の補助」が54.3%と最も高く、次いで「妊娠・出産に伴う医療費の補助」が51.1%、「高等教育までを視野に入れた将来の教育費に対する補助」が47.2%となっている。
 子供がいる既婚者は男女ともに「幼稚園・保育所などの費用の補助」「高等教育までを視野に入れた将来の教育費に対する補助」「子供の医療費の軽減」「子供がいる世帯の公共交通機関における交通費の軽減」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 9 希望通り子供を持てるようになると思う経済的な事柄(複数回答)



		n=	妊娠・出産に伴う医療費の補助	幼稚園・保育所などの費用の補助	やベビーシッター等の利用費の補助	の高等教育費に対する補助	住居費用の補助	子供の医療費の軽減	子供がいる世帯の公共交通機関における交通費の軽減	その他	わからない、特にない	
TOTAL		11889	51.1	54.3	22.3	47.2	31.4	45.4	22.0	1.9	17.0	
未婚	男性	2375	53.3	51.9	23.0	40.9	33.8	42.0	21.9	1.4	22.1	
	女性	1691	56.4	55.6	25.1	41.2	30.2	41.3	19.8	1.8	20.0	
既婚	子供なし	男性	737	51.4	50.6	22.7	39.9	29.2	41.2	19.3	2.0	20.5
		女性	986	50.0	49.7	24.9	39.1	25.9	40.0	17.1	2.2	21.8
	子供あり	男性	2493	48.7	58.3	20.3	53.3	34.0	49.7	24.8	2.4	10.6
		女性	2981	52.1	58.4	21.9	58.7	32.6	53.0	25.1	2.0	9.1
その他・無回答		626	35.3	37.1	17.6	28.4	21.4	29.4	14.5	1.1	41.9	

【問 47】子育てに関する価値観の中には、以下のようなものがあります。これらの考え方の中で共感するものがあれば、すべてお選び下さい。

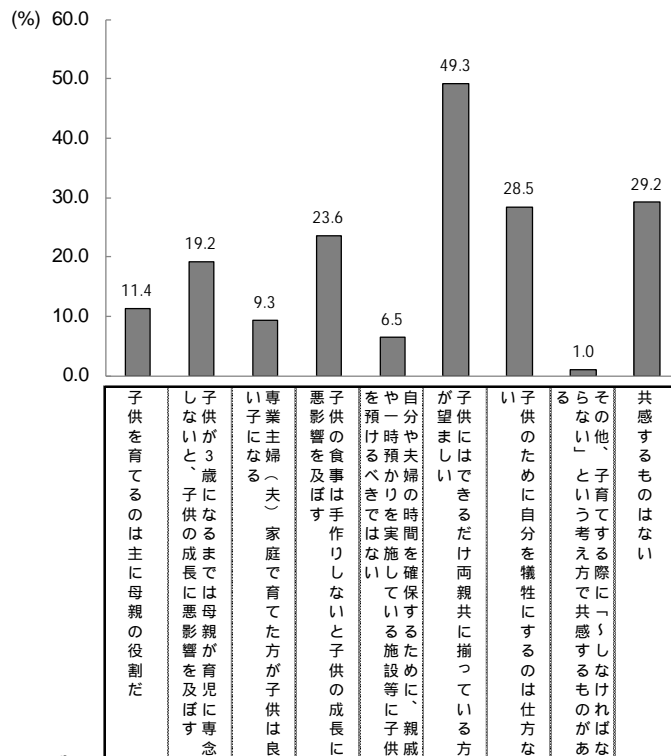
質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「子供にはできるだけ両親共に揃っている方が望ましい」が49.3%と最も高く、次いで「共感するものはない」が29.2%、「子供のために自分を犠牲にするのは仕方ない」が28.5%となっている。

子供がいる既婚男性は「子供にはできるだけ両親共に揃っている方が望ましい」「子供が3歳になるまでは母親が育児に専念しないと、子供の成長に悪影響を及ぼす」等多くの項目で他と比べて有意に高くなっている。

子供がいる既婚者は男女ともに「子供のために自分を犠牲にするのは仕方ない」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 10 子育てに関する価値観の中で共感するもの(複数回答)



		n=	11.4	19.2	9.3	23.6	6.5	49.3	28.5	1.0	29.2	
TOTAL		11889	11.4	19.2	9.3	23.6	6.5	49.3	28.5	1.0	29.2	
未婚	男性	2375	10.1	17.2	10.0	24.0	7.1	51.1	26.2	0.7	28.5	
	女性	1691	10.1	18.1	7.3	23.4	4.6	44.2	20.4	1.1	35.9	
既婚	子供なし	男性	737	8.7	21.3	12.2	24.8	6.2	49.9	23.2	0.5	27.5
		女性	986	11.2	19.7	7.7	24.7	5.1	43.4	23.0	1.7	35.4
	子供あり	男性	2493	10.6	24.7	13.9	26.6	9.2	59.0	36.1	0.7	18.4
		女性	2981	15.7	17.0	6.6	21.3	5.6	47.9	34.0	1.6	28.7
その他・無回答		626	6.9	14.7	6.7	18.4	5.1	33.5	17.7	0.5	51.9	

【問 48】前問で共感するものをお選びになった方にお聞きます。あなたは、上記設問で選択した考え方が子育てする際の負担になっていると感じますか。

質問対象：問 47 でいずれかを選択した者

全体では、「どちらともいえない」が 42.2%と最も高く、次いで「ややそう感じる」が 32.4%、「あまりそう感じない」が 14.2%となっている。
 子供がいる既婚者は男女ともに「あまりそう感じない」が他と比べて有意に高くなっている。
 未婚女性では「ややそう感じる」、子供がいる既婚女性では「そう感じる」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 11 共感する事柄について子育てする際の負担になっているか(単一回答)

(%)

		そう感じる	ややそう感じる	どちらともいえない	あまりそう感じない	そう感じない	
TOTAL (n=8413)		6.0	32.4	42.2	14.2	5.2	
未婚	男性 (n=1699)	6.2	33.1	45.7	10.2	4.6	
	女性 (n=1084)	7.0	36.3	41.1	11.7	4.0	
既婚	子供なし	男性 (n=534)	5.4	31.8	46.8	11.6	4.3
		女性 (n=637)	5.0	31.1	47.1	10.8	6.0
	子供あり	男性 (n=2034)	4.8	31.6	40.5	17.5	5.7
		女性 (n=2124)	7.1	31.9	36.8	18.3	6.0
その他・無回答 (n=301)		4.3	27.6	56.8	7.0	4.3	

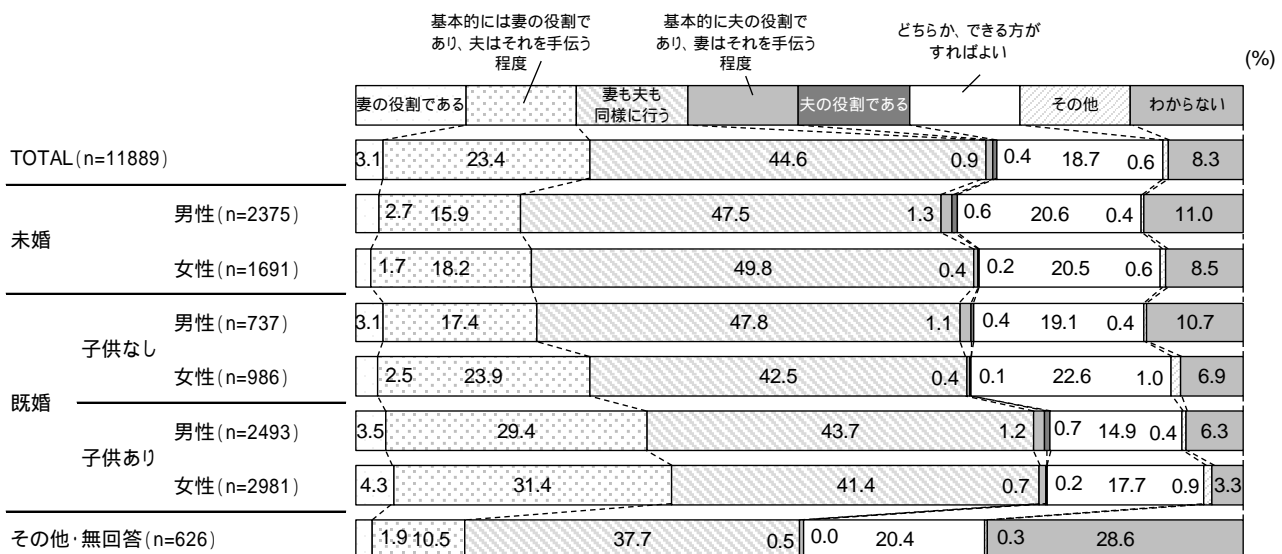
		n=	そう感じる	ややそう感じる	どちらともいえない	あまりそう感じない	そう感じない	
TOTAL		8413	6.0	32.4	42.2	14.2	5.2	
未婚	男性	1699	6.2	33.1	45.7	10.2	4.6	
	女性	1084	7.0	36.3	41.1	11.7	4.0	
既婚	子供なし	男性	534	5.4	31.8	46.8	11.6	4.3
		女性	637	5.0	31.1	47.1	10.8	6.0
	子供あり	男性	2034	4.8	31.6	40.5	17.5	5.7
		女性	2124	7.1	31.9	36.8	18.3	6.0
その他・無回答		301	4.3	27.6	56.8	7.0	4.3	

【問 49】あなたは、家庭での家事・育児は、だれの役割だと思いますか。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「妻も夫も同様に行く」が44.6%と最も高く、次いで「基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝える程度」が23.4%、「どちらか、できる方がすればよい」が18.7%となっている。未婚者は男女ともに「妻も夫も同様に行く」「どちらか、できる方がすればよい」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚女性では「どちらか、できる方がすればよい」、子供がいる既婚者は男女ともに「基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝える程度」が、それぞれ他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 12 家庭での家事・育児はだれの役割か(単一回答)



性別・婚姻状況		n	妻の役割である	基本的には妻の役割であり、夫はそれを手伝える程度	妻も夫も同様に行く	基本的には夫の役割であり、妻はそれを手伝える程度	夫の役割である	どちらか、できる方がすればよい	その他	わからない	
TOTAL		11889	3.1	23.4	44.6	0.9	0.4	18.7	0.6	8.3	
未婚	男性	2375	2.7	15.9	47.5	1.3	0.6	20.6	0.4	11.0	
	女性	1691	1.7	18.2	49.8	0.4	0.2	20.5	0.6	8.5	
既婚	子供なし	男性	737	3.1	17.4	47.8	1.1	0.4	19.1	0.4	10.7
		女性	986	2.5	23.9	42.5	0.4	0.1	22.6	1.0	6.9
	子供あり	男性	2493	3.5	29.4	43.7	1.2	0.7	14.9	0.4	6.3
		女性	2981	4.3	31.4	41.4	0.7	0.2	17.7	0.9	3.3
その他・無回答		626	1.9	10.5	37.7	0.5	0.0	20.4	0.3	28.6	

【問 50】その理由を教えてください。

質問対象：問 49 で「わからない」と回答した者以外

全体では、「原則として、同様に分担するのが公平だから」が 48.6%と最も高く、次いで「特に理由はない」が 19.5%となっている。

未婚者は男女ともに「原則として、同様に分担するのが公平だから」が他と比べて有意に高くなっている。既婚者を中心に、家庭の外での「稼ぎや労働時間」によって、家庭内の家事・育児の分担を決めるべきと考える傾向がある。

図表 4 - 2 - 13 家事・育児の役割を選んだ理由(単一回答)

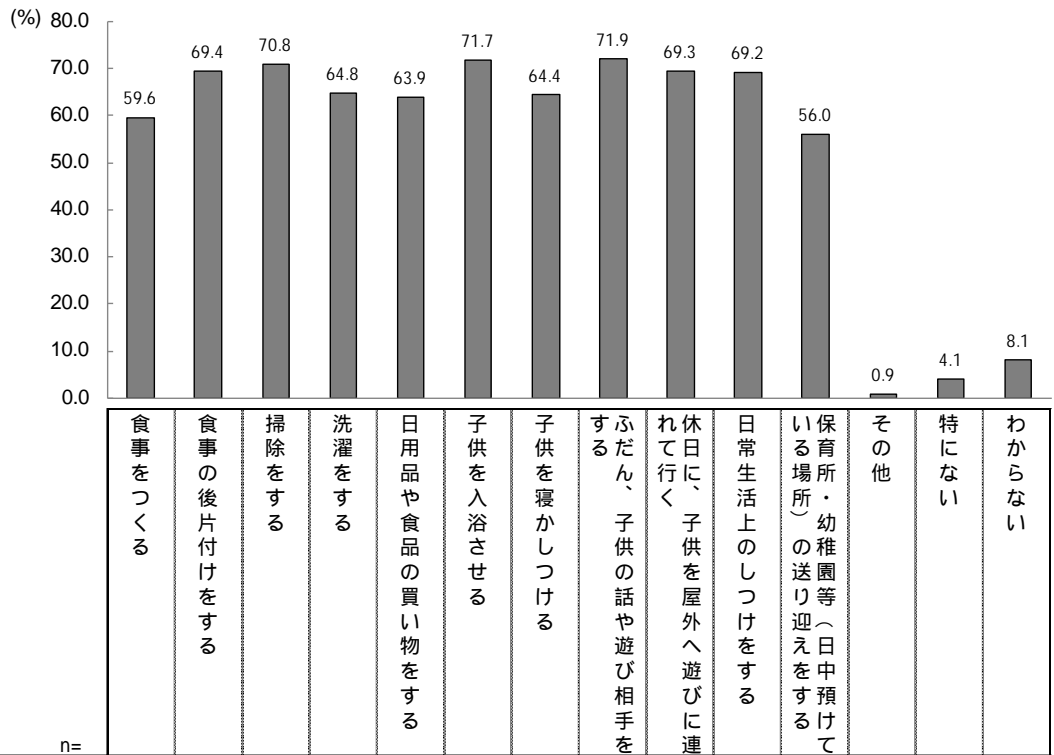
		n=	自分の方が稼ぎや労働時間が多いから、相手が家事・育児を多く(または全部)分担すべき	自分の方が稼ぎや労働時間が少ないから、相手は家事・育児をそれほど(または全く)する必要がない	自分で全部・または大部分をやった方が早いから	原則として、同様に分担するのが公平だから	その他	特に理由はない	
TOTAL		10902	9.6	9.0	5.0	48.6	8.4	19.5	
未婚	男性	2113	11.3	3.0	1.2	55.7	5.8	23.0	
	女性	1547	1.7	10.1	4.9	54.9	9.6	18.8	
既婚	子供なし	男性	658	14.1	2.7	0.8	53.0	6.8	22.5
		女性	918	2.1	14.4	7.4	47.3	12.3	16.6
	子供あり	男性	2337	25.1	3.3	1.4	44.9	6.6	18.7
		女性	2882	2.2	17.8	11.4	41.6	10.7	16.3
その他・無回答		447	4.7	3.6	2.5	52.8	5.4	31.1	

【問 51】子供が小学校に入学するまでの間、育児や家事の中で、夫・妻を問わず行った方がよいと思うことを、この中からすべてお選び下さい。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「ふだん、子供の話や遊び相手をする」が71.9%と最も高く、次いで「子供を入浴させる」が71.7%、「掃除をする」が70.8%となっている。
未既婚・子供の有無にかかわらずほぼ全ての項目で、女性の割合が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 14 子供が小学校に入学するまでに夫・妻が行った方がよいこと(複数回答)



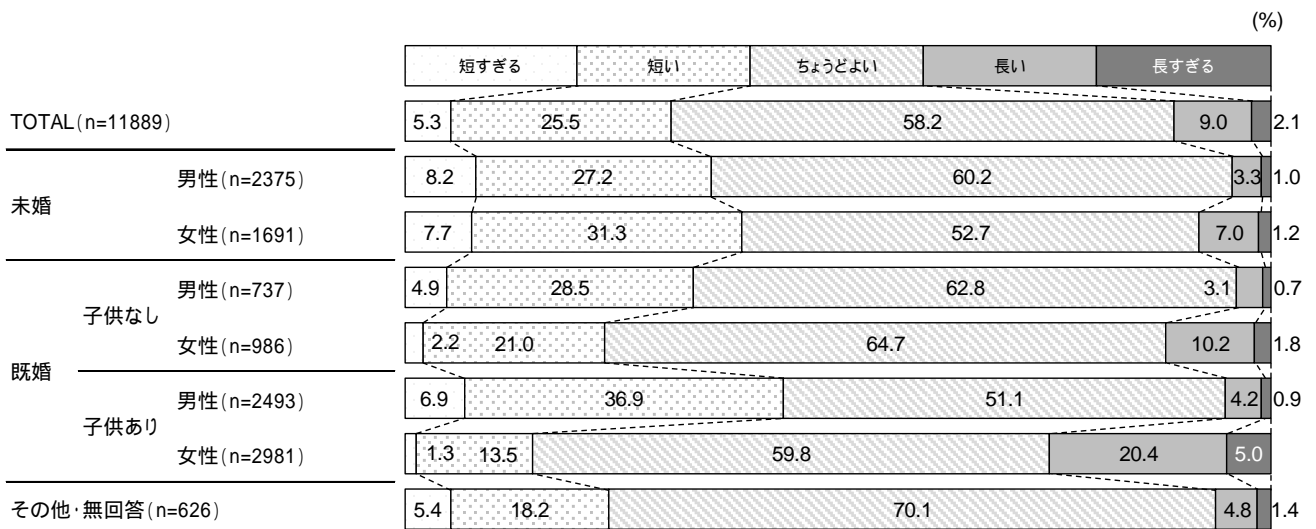
		n=	食事をつくる	食事の後片付けをする	掃除をする	洗濯をする	日用品や食品の買い物をする	子供を入浴させる	子供を寝かしつける	ふだん、子供の話や遊び相手をする	休日、子供を屋外へ遊びに連れて行く	日常生活上のしつけをする	保育所・幼稚園等(日中預けている場所)の送り迎えをす	その他	特にな	わからない	
TOTAL		11889	59.6	69.4	70.8	64.8	63.9	71.7	64.4	71.9	69.3	69.2	56.0	0.9	4.1	8.1	
未婚	男性	2375	55.6	64.5	68.0	62.2	60.7	61.6	56.2	61.9	60.2	60.3	48.0	0.8	6.6	11.1	
	女性	1691	65.8	73.9	75.2	69.2	68.4	74.2	70.2	75.8	71.8	74.8	63.0	1.1	3.7	8.2	
既婚	子供なし	男性	737	52.9	64.3	66.5	63.0	59.8	61.3	54.0	63.4	60.1	62.4	46.5	0.7	5.4	11.7
		女性	986	65.9	72.1	72.2	66.7	66.6	75.3	70.8	75.8	72.6	77.0	62.8	1.1	3.3	8.9
	子供あり	男性	2493	53.1	68.0	69.8	62.6	61.9	72.7	61.5	70.4	68.8	64.6	49.3	0.8	3.7	5.1
		女性	2981	67.0	76.0	75.9	69.0	69.3	83.5	74.6	84.2	81.6	80.3	67.3	0.9	1.8	3.2
その他・無回答		626	45.8	51.8	52.2	49.8	46.6	50.6	46.0	51.4	46.8	49.2	41.5	1.0	7.2	26.8	

【問 52】あなたは、現在自らの家事や育児に費やす時間をどのように評価しますか。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「ちょうどよい」が58.2%と最も高く、次いで「短い」が25.5%、「長い」が9.0%となっている。
 未婚者は男女ともに「短い」「短すぎる」が他と比べて有意に高くなっている。子どもがいない既婚者は男女ともに「ちょうどよい」が他と比べて有意に高くなっている。
 子供がいる既婚男性では「短い」「短すぎる」が他と比べて有意に高くなっているが、子供がいる既婚女性では「ちょうどよい」「長い」「長すぎる」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 15 自らの家事や育児に費やす時間について(単一回答)



		短すぎる	短い	ちょうどよい	長い	長すぎる		
TOTAL		11889	5.3	25.5	58.2	9.0	2.1	
未婚	男性	2375	8.2	27.2	60.2	3.3	1.0	
	女性	1691	7.7	31.3	52.7	7.0	1.2	
既婚	子供なし	男性	737	4.9	28.5	62.8	3.1	0.7
		女性	986	2.2	21.0	64.7	10.2	1.8
	子供あり	男性	2493	6.9	36.9	51.1	4.2	0.9
		女性	2981	1.3	13.5	59.8	20.4	5.0
その他・無回答		626	5.4	18.2	70.1	4.8	1.4	

【問 53】あなたは、もしあなたや配偶者・パートナーの残業時間が短縮されたり、休暇取得が容易になったりして、自由時間が増えた場合、ご自身の家事・育児時間はどのように変化すると思いますか。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

男女別で見ると、女性では「変わらない」が 36.3%と最も高く、男性では「増えると思う」が 39.2%と最も高くなっている。
 未既婚・子供の有無にかかわらず男性で「増えると思う」が女性と比べて有意に高くなっている。
 子供の有無にかかわらず既婚女性で「変わらない」「減ると思う」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 16 自由時間が増えた場合に自身の家事・育児時間は変化するか(単一回答)

(%)

	変わらない	増えると思う	減ると思う	わからない
TOTAL (n=11889)	31.1	31.0	8.7	29.2
男性 (n=5914)	25.8	39.2	4.5	30.4
女性 (n=5975)	36.3	22.9	12.9	27.9

	n=	変わらない	増えると思う	減ると思う	わからない
TOTAL	11889	31.1	31.0	8.7	29.2
男性	5914	25.8	39.2	4.5	30.4
女性	5975	36.3	22.9	12.9	27.9

(%)

図表 4 - 2 - 17 自由時間が増えた場合に自身の家事・育児時間は変化するか(単一回答)

(%)

		変わらない	増えると思う	減ると思う	わからない	
TOTAL (n=11889)		31.1	31.0	8.7	29.2	
未婚	男性 (n=2375)	21.1	37.1	4.6	37.3	
	女性 (n=1691)	23.2	31.3	7.7	37.8	
既婚	子供なし	男性 (n=737)	30.0	34.3	5.6	30.1
		女性 (n=986)	41.2	20.4	10.9	27.6
	子供あり	男性 (n=2493)	30.7	44.8	4.3	20.2
		女性 (n=2981)	43.9	19.7	17.2	19.1
その他・無回答 (n=626)		16.5	18.7	4.6	60.2	

		n=	変わらない	増えると思う	減ると思う	わからない	
TOTAL		11889	31.1	31.0	8.7	29.2	
未婚	男性	2375	21.1	37.1	4.6	37.3	
	女性	1691	23.2	31.3	7.7	37.8	
既婚	子供なし	男性	737	30.0	34.3	5.6	30.1
		女性	986	41.2	20.4	10.9	27.6
	子供あり	男性	2493	30.7	44.8	4.3	20.2
		女性	2981	43.9	19.7	17.2	19.1
その他・無回答		626	16.5	18.7	4.6	60.2	

【問 54】その主な理由を1つお選びください。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「時間に余裕ができれば、家事または育児をしたいと思っているから」が17.5%と最も高く、次いで「時間に余裕ができたとしても、家事または育児をするかどうかは分からないから」が16.9%、「時間に余裕ができたとしても、パートナーが家事・育児を負担してくれるかどうか分からないから」が10.7%となっている。

未婚・子供の有無にかかわらず男性で「時間に余裕ができれば、家事または育児をしたいと思っているから」が女性と比べて有意に高くなっている。他方で、子供の有無にかかわらず既婚女性で「時間に余裕ができたとしても、家事または育児以外のことに時間を使うから」「時間に余裕ができた場合、パートナーが家事または育児を負担してくれると思うから」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 18 自身の家事・育児時間は変化するまたは変化しない理由(単一回答)

		n=	時間に余裕ができれば、家事または育児をしたいと思っているから	時間に余裕ができたとしても、家事または育児をするつもりはないから	時間に余裕ができたとしても、家事または育児をするかどうかは分からないから	時間に余裕ができたとしても、家事または育児のスキルが十分ではないから	時間に余裕ができたとしても、家事または育児以外のことに時間を使うから	時間に余裕ができた場合、パートナーが家事または育児を負担してくれると思うから	(%)
TOTAL		11889	17.5	3.5	16.9	7.0	10.3	9.7	
未婚	男性	2375	22.7	3.2	19.2	11.4	7.9	5.3	
	女性	1691	17.1	3.6	19.8	6.3	11.5	7.3	
既婚	子供なし	男性	737	21.4	3.9	20.6	7.7	8.3	8.4
		女性	986	8.3	5.3	15.9	5.0	13.3	12.6
	子供あり	男性	2493	28.5	3.1	14.9	7.4	9.6	7.4
		女性	2981	8.3	3.7	12.6	3.9	12.1	17.1
その他・無回答		626	9.4	2.2	26.5	7.2	8.8	4.0	

		n=	時間に余裕ができたとしても、パートナーが家事または育児を負担してくれないから	時間に余裕ができたとしても、パートナーが家事・育児を負担してくれるかどうか分からないから	時間に余裕ができたとしても、パートナーが家事・育児を行うスキルが十分でないから	時間に余裕ができた場合、より長い時間をかけて家事・育児を行いたいから	時間に余裕ができたことにより、子供のみならず、パートナーの世話もしなければならないから	その他	(%)
TOTAL		11889	4.8	10.7	6.9	5.5	2.1	5.0	
未婚	男性	2375	2.3	8.1	6.5	6.4	2.0	5.2	
	女性	1691	2.5	12.4	5.8	6.2	2.0	5.4	
既婚	子供なし	男性	737	2.0	7.7	6.2	6.1	1.2	6.2
		女性	986	6.1	11.9	8.4	3.7	3.3	6.3
	子供あり	男性	2493	3.3	6.8	4.7	7.9	1.4	4.9
		女性	2981	9.8	14.9	8.1	3.2	2.7	3.6
その他・無回答		626	3.2	13.6	12.3	4.2	1.0	7.7	

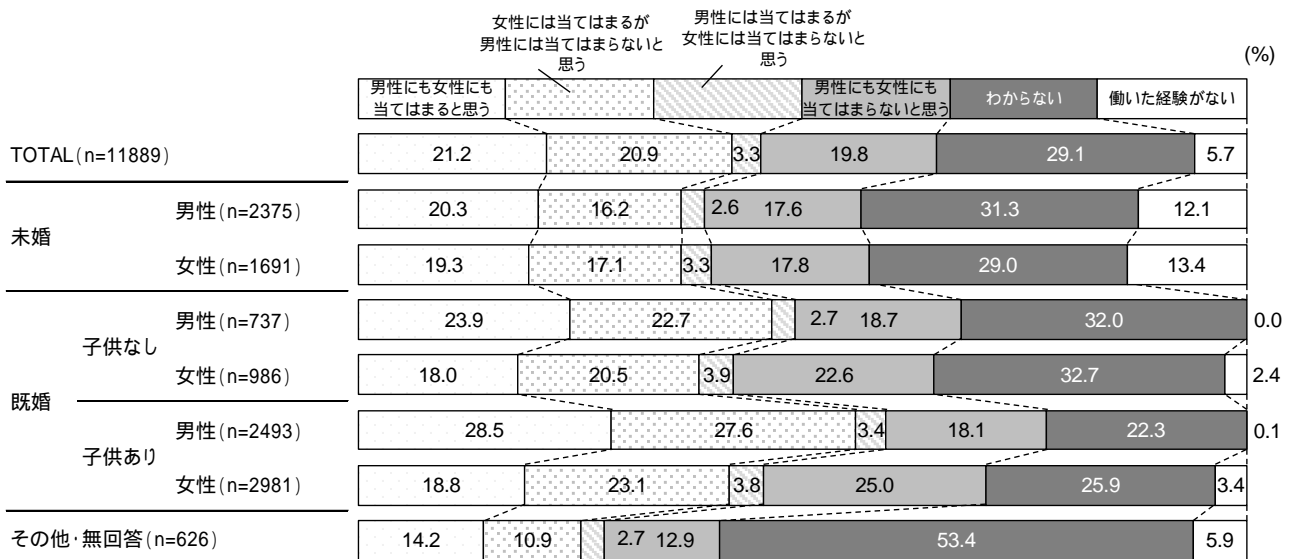
【問 55】現在働いている、または過去に働いていた方にお聞きします。あなたの勤めている職場は、以下の各項目が男性、女性それぞれに当てはまると思われますか。現在働いていない方は、最後に働いていた職場についてお答え下さい。働いた経験のない方はすべて「働いた経験がない」をお選び下さい。

(1) 妊娠・出産・子育てがしやすい雰囲気がある

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「わからない」が 29.1%と最も高く、次いで「男性にも女性にも当てはまると思う」が 21.2%、「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が 20.9%となっている。子供がいる既婚男性は「男性にも女性にも当てはまると思う」「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供の有無にかかわらず既婚女性で「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 19 自身の勤めている職場に当てはまること：妊娠・出産・子育てがしやすい雰囲気がある(単一回答)



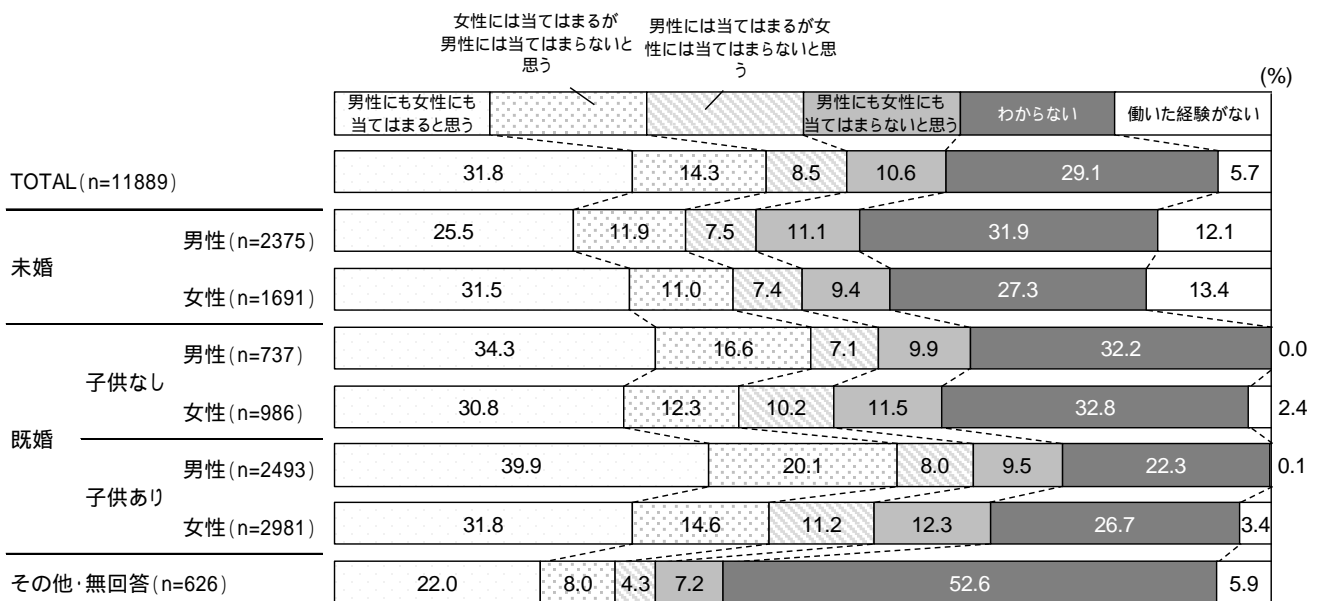
	n=	男性にも女性にも当てはまると思う	女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う	男性にも女性にも当てはまらないと思う	男性にも女性にも当てはまると思う	わからない	働いた経験がない
TOTAL	11889	21.2	20.9	3.3	19.8	29.1	5.7
未婚							
男性	2375	20.3	16.2	2.6	17.6	31.3	12.1
女性	1691	19.3	17.1	3.3	17.8	29.0	13.4
既婚							
子供なし							
男性	737	23.9	22.7	2.7	18.7	32.0	0.0
女性	986	18.0	20.5	3.9	22.6	32.7	2.4
子供あり							
男性	2493	28.5	27.6	3.4	18.1	22.3	0.1
女性	2981	18.8	23.1	3.8	25.0	25.9	3.4
その他・無回答	626	14.2	10.9	2.7	12.9	53.4	5.9

(2) 妊娠・出産を経ても希望すれば継続就労できる

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「男性にも女性にも当てはまると思う」が 31.8%と最も高く、次いで「わからない」が 29.1%、「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が 14.3%となっている。子供がいる既婚男性で「男性にも女性にも当てはまると思う」「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。子どもがいる既婚女性で「男性にも女性にも当てはまらないと思う」「男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 20 自身の勤めている職場に当てはまること:妊娠・出産を経ても希望すれば継続就労できる (単一回答)



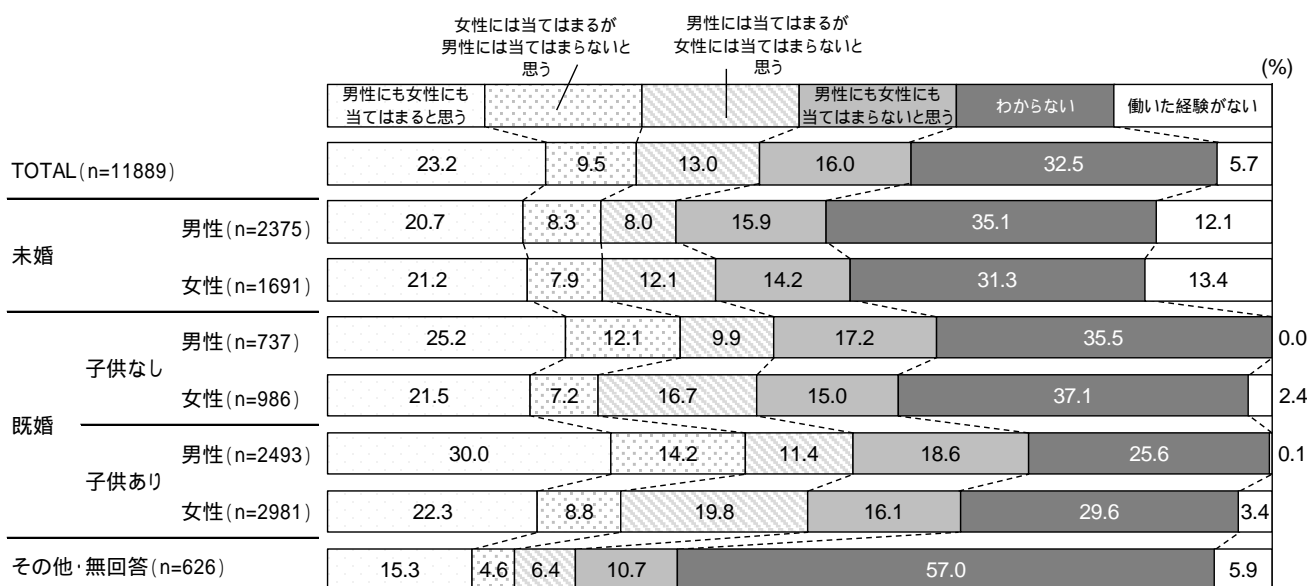
		n=	男性にも女性にも当てはまると思う	女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う	男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う	男性にも女性にも当てはまらないと思う	わからない	働いた経験がない	
TOTAL		11889	31.8	14.3	8.5	10.6	29.1	5.7	
未婚	男性	2375	25.5	11.9	7.5	11.1	31.9	12.1	
	女性	1691	31.5	11.0	7.4	9.4	27.3	13.4	
既婚	子供なし	男性	737	34.3	16.6	7.1	9.9	32.2	0.0
		女性	986	30.8	12.3	10.2	11.5	32.8	2.4
	子供あり	男性	2493	39.9	20.1	8.0	9.5	22.3	0.1
		女性	2981	31.8	14.6	11.2	12.3	26.7	3.4
その他・無回答		626	22.0	8.0	4.3	7.2	52.6	5.9	

(3) 子育てとキャリアが両立できる

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「わからない」が32.5%と最も高く、次いで「男性にも女性にも当てはまると思う」が23.2%、「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が16.0%となっている。
 子供がいる既婚男性では「男性にも女性にも当てはまると思う」が30.0%と他と比べて有意に高くなっている。子供の有無にかかわらず既婚女性で「男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 21 自身の勤めている職場に当てはまること:子育てとキャリアが両立できる(単一回答)



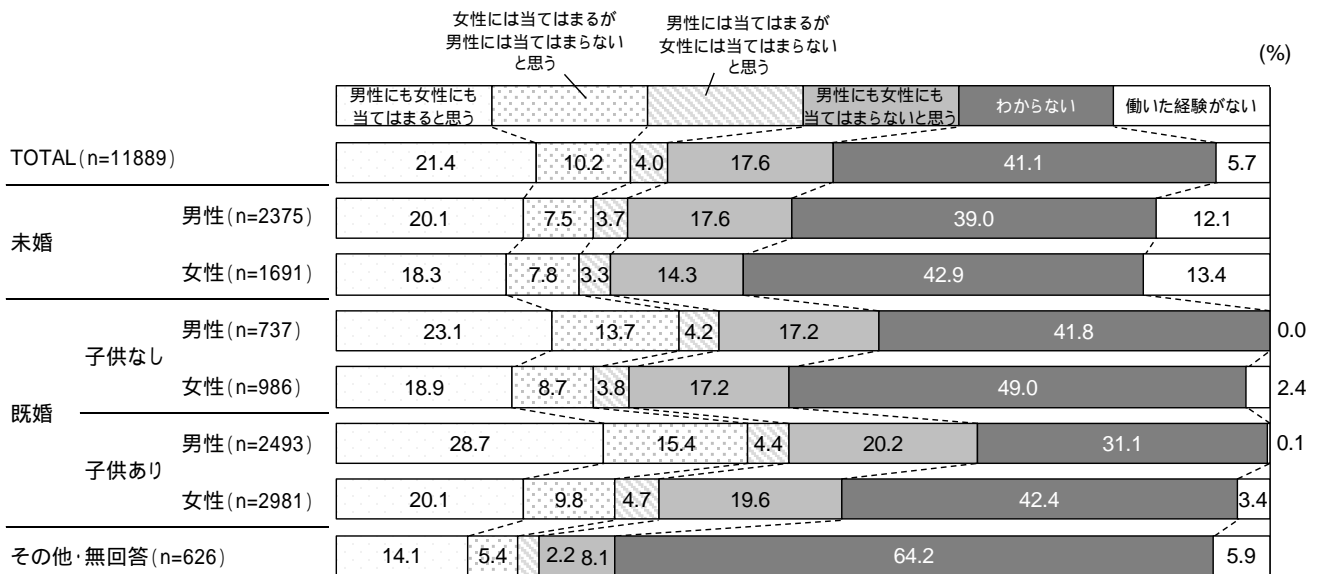
		男性にも女性にも当てはまると思う	女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う	男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う	男性にも女性にも当てはまらないと思う	わからない	働いた経験がない		
TOTAL	11889	23.2	9.5	13.0	16.0	32.5	5.7		
未婚	男性	2375	20.7	8.3	8.0	15.9	35.1	12.1	
	女性	1691	21.2	7.9	12.1	14.2	31.3	13.4	
既婚	子供なし	男性	737	25.2	12.1	9.9	17.2	35.5	0.0
		女性	986	21.5	7.2	16.7	15.0	37.1	2.4
	子供あり	男性	2493	30.0	14.2	11.4	18.6	25.6	0.1
		女性	2981	22.3	8.8	19.8	16.1	29.6	3.4
その他・無回答	626	15.3	4.6	6.4	10.7	57.0	5.9		

(4) 子育て期の転職に配慮している

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「わからない」が41.1%と最も高く、次いで「男性にも女性にも当てはまると思う」が21.4%、「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が17.6%となっている。
 子供の有無にかかわらず既婚男性で「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいる既婚者は男女ともに「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 22 自身の勤めている職場に当てはまること:子育て期の転職に配慮している(単一回答)



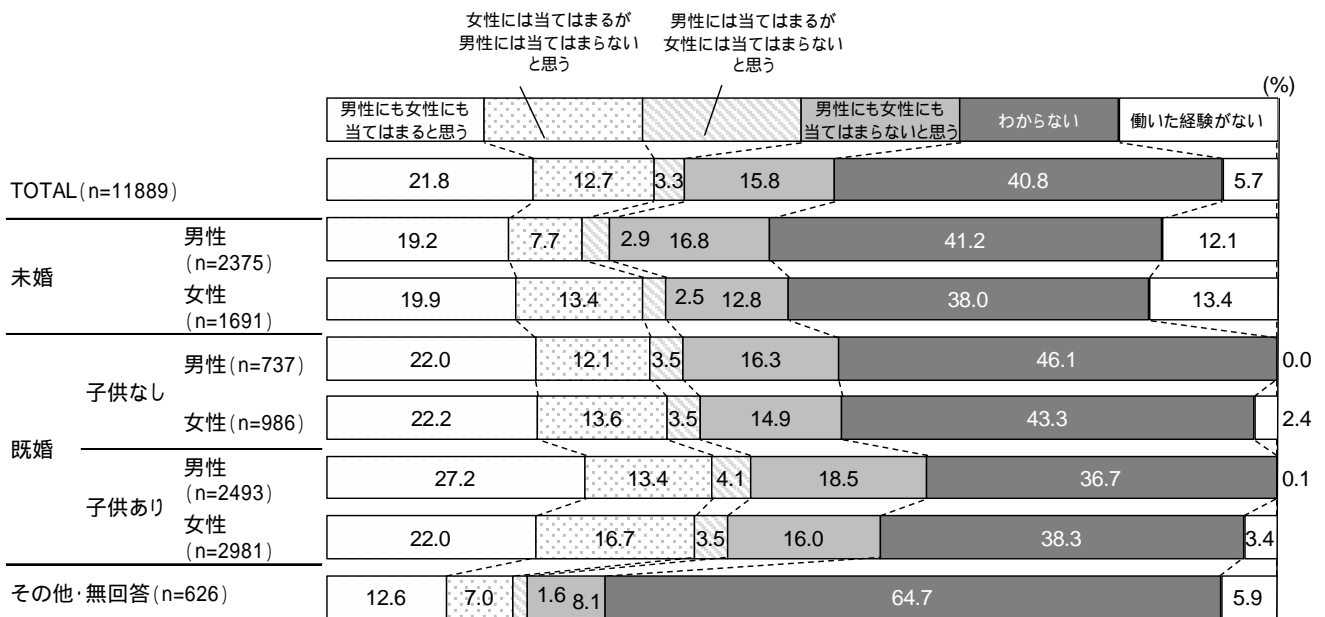
性別	年齢	サンプル数	男性にも女性にも当てはまると思う (%)	女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う (%)	男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う (%)	男性にも女性にも当てはまらないと思う (%)	わからない (%)	働いた経験がない (%)	
TOTAL		11889	21.4	10.2	4.0	17.6	41.1	5.7	
未婚	男性	2375	20.1	7.5	3.7	17.6	39.0	12.1	
	女性	1691	18.3	7.8	3.3	14.3	42.9	13.4	
既婚	子供なし	男性	737	23.1	13.7	4.2	17.2	41.8	0.0
		女性	986	18.9	8.7	3.8	17.2	49.0	2.4
	子供あり	男性	2493	28.7	15.4	4.4	20.2	31.1	0.1
		女性	2981	20.1	9.8	4.7	19.6	42.4	3.4
その他・無回答		626	14.1	5.4	2.2	8.1	64.2	5.9	

(5) 仕事と子育てを両立している手本となる先輩や同僚がいる

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「わからない」が40.8%と最も高く、次いで「男性にも女性にも当てはまると思う」が21.8%、「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が15.8%となっている。
 子供がいる既婚男性で「男性にも女性にも当てはまると思う」「男性にも女性にも当てはまらないと思う」「男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいる既婚女性では「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 23 自身の勤めている職場に当てはまること:仕事と子育てを両立している手本となる先輩や同僚がいる(単一回答)



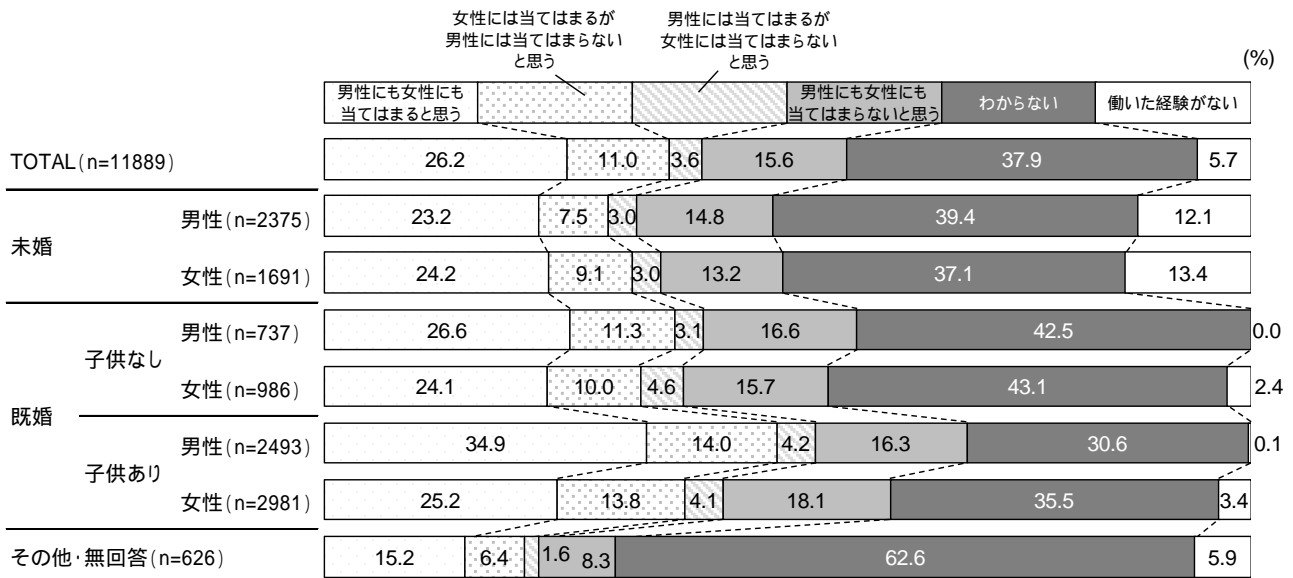
		n=	男性にも女性にも当てはまると思う	女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う	男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う	男性にも女性にも当てはまらないと思う	わからない	働いた経験がない	
TOTAL		11889	21.8	12.7	3.3	15.8	40.8	5.7	
未婚	男性	2375	19.2	7.7	2.9	16.8	41.2	12.1	
	女性	1691	19.9	13.4	2.5	12.8	38.0	13.4	
既婚	子供なし	男性	737	22.0	12.1	3.5	16.3	46.1	0.0
		女性	986	22.2	13.6	3.5	14.9	43.3	2.4
	子供あり	男性	2493	27.2	13.4	4.1	18.5	36.7	0.1
		女性	2981	22.0	16.7	3.5	16.0	38.3	3.4
その他・無回答		626	12.6	7.0	1.6	8.1	64.7	5.9	

(6)仕事と家庭の両立に関して、上司の理解がある

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「わからない」が37.9%と最も高く、次いで「男性にも女性にも当てはまると思う」が26.2%、「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が15.6%となっている。
 子供がいる既婚者は男女ともに「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいる既婚男性で「男性にも女性にも当てはまると思う」が34.9%と、上司の理解があると感じる者の割合が他と比べて有意に高くなっている。子供がいる既婚女性で「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が18.1%と他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 24 自身の勤めている職場に当てはまること:仕事と家庭の両立に関して、上司の理解がある (単一回答)



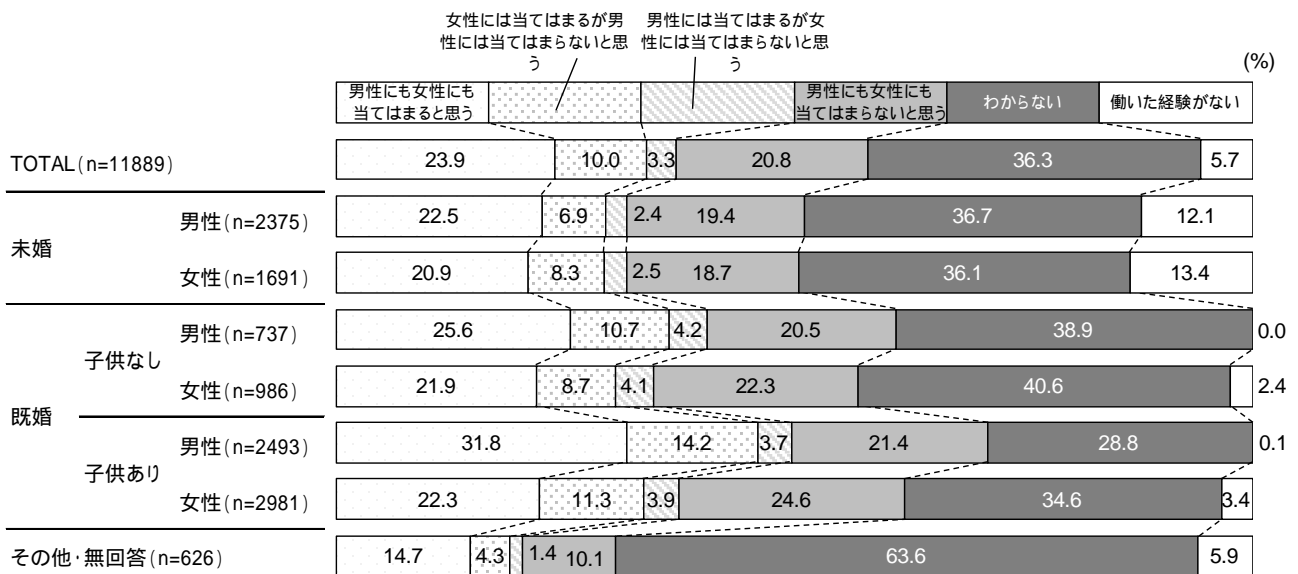
		n=	男性にも女性にも当てはまると思う	女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う	男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う	男性にも女性にも当てはまらないと思う	わからない	働いた経験がない	
TOTAL		11889	26.2	11.0	3.6	15.6	37.9	5.7	
未婚	男性	2375	23.2	7.5	3.0	14.8	39.4	12.1	
	女性	1691	24.2	9.1	3.0	13.2	37.1	13.4	
既婚	子供なし	男性	737	26.6	11.3	3.1	16.6	42.5	0.0
		女性	986	24.1	10.0	4.6	15.7	43.1	2.4
	子供あり	男性	2493	34.9	14.0	4.2	16.3	30.6	0.1
		女性	2981	25.2	13.8	4.1	18.1	35.5	3.4
その他・無回答		626	15.2	6.4	1.6	8.3	62.6	5.9	

(7) 柔軟な働き方ができる環境・制度が整っている

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「わからない」が36.3%と最も高く、次いで「男性にも女性にも当てはまると思う」が23.9%、「男性にも女性にも当てはまらないと思う」が20.8%となっている。
 子供がいる既婚男性では「男性にも女性にも当てはまると思う」「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいる既婚女性で「男性にも女性にも当てはまらないと思う」「女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う」「男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 25 自身の勤めている職場に当てはまること:柔軟な働き方ができる環境・制度が整っている(単一回答)



		n=	男性にも女性にも当てはまると思う	女性には当てはまるが男性には当てはまらないと思う	男性には当てはまるが女性には当てはまらないと思う	男性にも女性にも当てはまらないと思う	わからない	働いた経験がない	
TOTAL		11889	23.9	10.0	3.3	20.8	36.3	5.7	
未婚	男性	2375	22.5	6.9	2.4	19.4	36.7	12.1	
	女性	1691	20.9	8.3	2.5	18.7	36.1	13.4	
既婚	子供なし	男性	737	25.6	10.7	4.2	20.5	38.9	0.0
		女性	986	21.9	8.7	4.1	22.3	40.6	2.4
	子供あり	男性	2493	31.8	14.2	3.7	21.4	28.8	0.1
		女性	2981	22.3	11.3	3.9	24.6	34.6	3.4
その他・無回答		626	14.7	4.3	1.4	10.1	63.6	5.9	

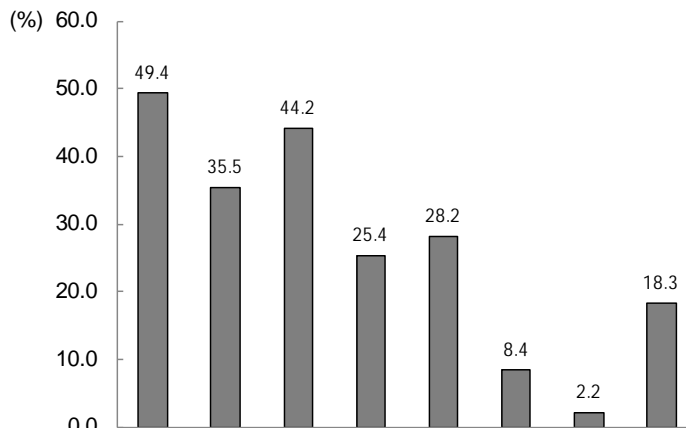
【問 56】なぜ日本の男性は育児休業取得率が低いと思いますか。あなた自身の経験、またはあなたの周囲の人について見聞きしたことを踏まえてお答え下さい。
日本の男性の育児休業取得率は 5.14% (2017 年度) となっています。

質問対象： 「全体サンプル」 全員

全体では、「周囲が忙しすぎて、休暇を言い出せる雰囲気ではない」が 49.4%と最も高く、次いで「育児休業を取得することによって、人員が不足し、職場や取引先に迷惑をかける」が 44.2%、「育児休業を取得することによって、その後のキャリアに悪影響が出るおそれがある」が 35.5%となっている。

未婚・子供の有無にかかわらず女性で「育児休業を取得することによって、その後のキャリアに悪影響が出るおそれがある」「別に男性が取る必要がないと考えている」が男性と比べて有意に高くなっている。また子供がいる既婚男性で「必要に応じて年次休暇を取れば足りる」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 26 なぜ日本の男性は育児休業取得率が低いと思うか(複数回答)



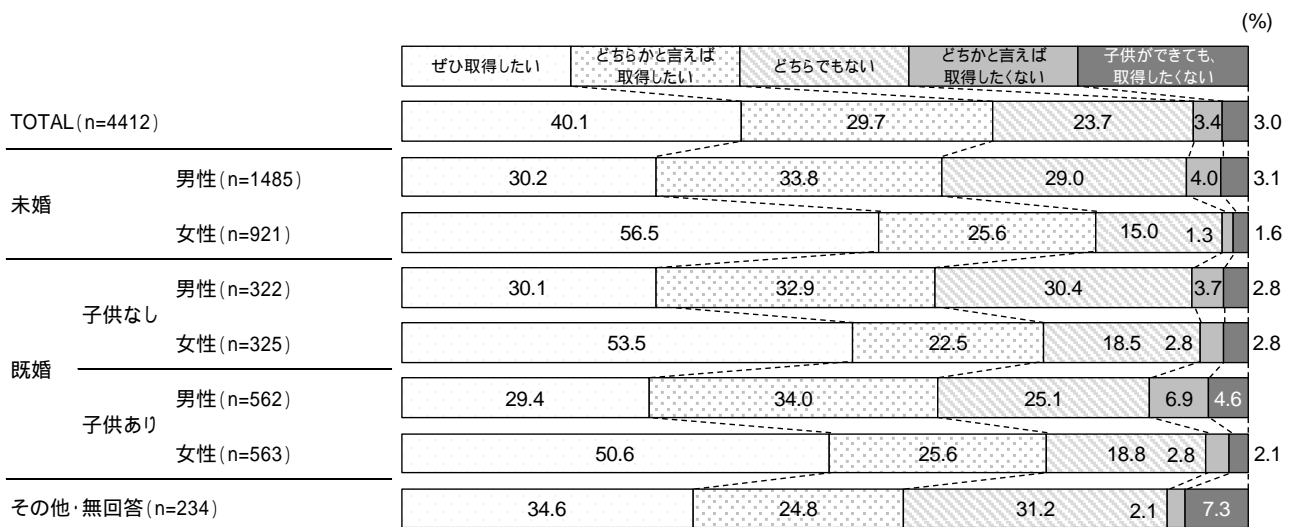
		n=	周囲が忙しすぎて、休暇を言い出せない	その後のキャリアに悪影響が出るおそれがある	育児休業を取得することによって、人員が不足し、職場や取引先に迷惑をかける	別に男性が取る必要がないと考えている	育児休業中の手取り収入が減る	必要に応じて年次休暇を取れば足りる	その他	わからない	
TOTAL		11889	49.4	35.5	44.2	25.4	28.2	8.4	2.2	18.3	
未婚	男性	2375	47.8	32.8	39.5	18.7	25.0	7.0	1.9	24.5	
	女性	1691	49.0	40.2	43.3	34.1	27.3	7.2	2.4	20.3	
既婚	子供なし	男性	737	51.0	30.0	39.9	18.2	21.6	8.8	1.9	20.2
		女性	986	53.0	40.0	48.6	31.9	31.1	8.0	2.3	18.0
	子供あり	男性	2493	48.8	33.0	44.7	18.3	29.1	12.0	2.1	12.3
		女性	2981	52.5	39.2	50.8	33.1	33.5	8.1	2.6	12.0
その他・無回答		626	36.9	24.9	28.1	17.1	16.6	5.4	1.9	41.7	

【問 57】あなたは今後、育児休業を取得したいと思いますか。配偶者またはパートナーの有無を問わず、希望についてお答え下さい。

質問対象：妊娠中及び子供を持つ意向のある者

全体では、「ぜひ取得したい」が40.1%と最も高く、次いで「どちらかと言えば取得したい」が29.7%、「どちらでもない」が23.7%となっている。
 未婚・子供の有無にかかわらず女性で「ぜひ取得したい」が男性と比べて有意に高くなっている。未婚男性及び子供がいる既婚男性では「どちらかと言えば取得したい」が他と比べて有意に高くなっている。未婚男性及び子供がいない既婚男性で「どちらでもない」が、子供がいる既婚男性で「どちらかと言えば取得したくない」が、それぞれ他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 2 - 27 今後の育児休業取得の希望有無(単一回答)



		n=	ぜひ取得したい	どちらかと言えば取得したい	どちらでもない	どちらかと言えば取得したくない	子供ができて、取得したくない	
TOTAL		4412	40.1	29.7	23.7	3.4	3.0	
未婚	男性	1485	30.2	33.8	29.0	4.0	3.1	
	女性	921	56.5	25.6	15.0	1.3	1.6	
既婚	子供なし	男性	322	30.1	32.9	30.4	3.7	2.8
		女性	325	53.5	22.5	18.5	2.8	2.8
	子供あり	男性	562	29.4	34.0	25.1	6.9	4.6
		女性	563	50.6	25.6	18.8	2.8	2.1
その他・無回答		234	34.6	24.8	31.2	2.1	7.3	

4 - 3 子育ての負担感

分析対象： 「全体サンプル」のうち 20～59 歳の結婚経験者(既婚・離死別)

4-3. 子育ての負担感

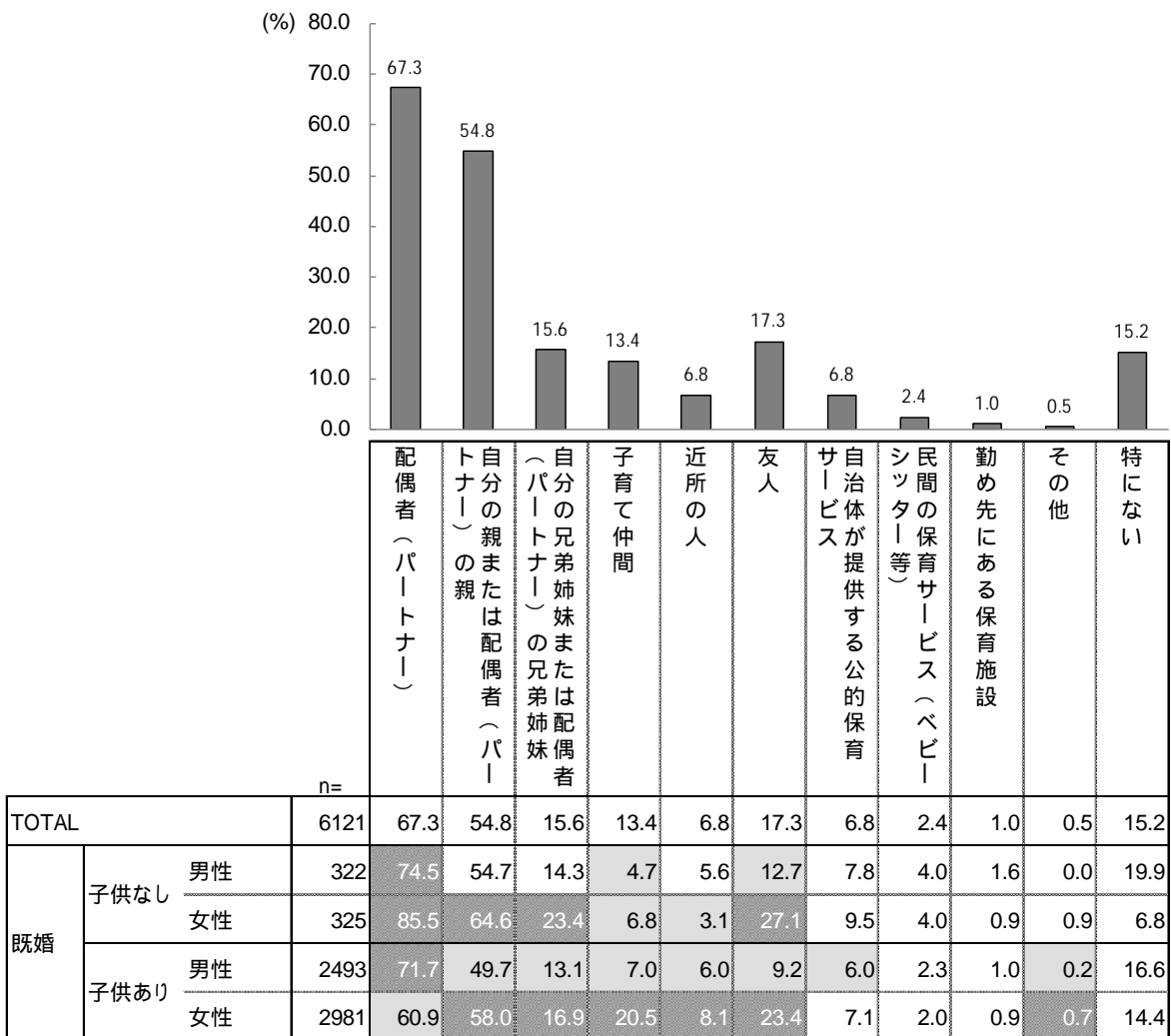
【問58】あなたには、次のような人・場所がありますか。あてはまるものをすべてお選び下さい。
現在子供がいない方は、子供を持った時のことを想定してお答え下さい。

(1)あなたが子育てに対して感じる肉体的・精神的負担について、周囲で助けてくれる人

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）で子供がいるか、子供を持つ意向のある者

既婚男性・女性とも、「配偶者（パートナー）」が最も高くなっている。
子供がいない既婚女性では「配偶者（パートナー）」が他と比べて有意に高くなっているが、子供がいる女性は他と比べて有意に低くなっている。
子供の有無にかかわらず既婚女性では「自分の親または配偶者（パートナー）の親」「自分の兄弟姉妹または配偶者（パートナー）の兄弟姉妹」「友人」が既婚男性と比べて有意に高くなっている。また子供がいる既婚女性は、「子育て仲間」が20.5%と他と比べて有意に高くなっている。

図表 4-3-1 子育てに対して感じる肉体的・精神的負担について、周囲で助けてくれる人がいる割合（複数回答）

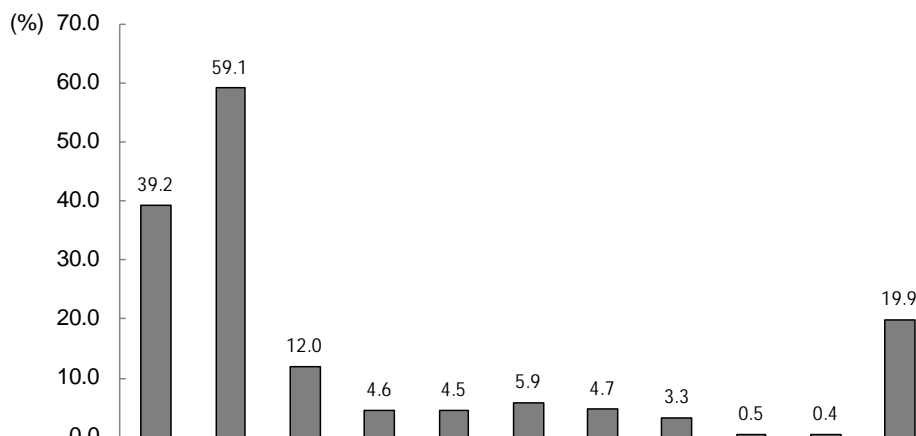


(2)急用の際などに、子供を預けることができる人

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）で子供がいるか、子供を持つ意向のある者

既婚男性・女性とも、「自分の親または配偶者（パートナー）の親」が最も高くなっている。子供がいない既婚者では男女ともに、「自治体が提供する公的保育サービス」「民間の保育サービス（ベビーシッター等）」を想定する割合が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 2 急用の際などに、子供を預けることができる人がいる割合(複数回答)



		n=	配偶者（パートナー）	自分の親または配偶者（パートナー）の親	自分の兄弟姉妹または配偶者（パートナー）の兄弟姉妹	子育て仲間	近所の人	友人	自治体が提供する公的保育サービス	民間の保育サービス（ベビーシッター等）	勤め先にある保育施設	その他	特にない	
TOTAL		6121	39.2	59.1	12.0	4.6	4.5	5.9	4.7	3.3	0.5	0.4	19.9	
既婚	子供なし	男性	322	43.2	56.8	14.6	0.9	3.4	2.5	7.8	6.5	0.0	0.6	23.6
		女性	325	37.5	55.1	13.2	1.2	0.6	5.8	8.3	7.4	0.6	0.3	25.5
	子供あり	男性	2493	43.4	61.0	12.4	3.7	5.1	4.2	4.2	3.3	0.8	0.2	17.2
		女性	2981	35.4	58.2	11.2	6.2	4.6	7.7	4.4	2.6	0.2	0.6	21.2

【問 59】 子供が小学校に入学するまでの間、子供から見た祖父母が、育児や家事の手助けをすることは望ましいと思いますか。この中からひとつお選び下さい。

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性・女性とも、「ややそう思う」が最も高くなっている。
 子供がいる既婚女性では「ややそう思う」「とてもそう思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚女性では、「どちらともいえない」「わからない」「あまりそう思わない」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 3 祖父母による育児や家事の手助けは望ましいか(単一回答)

		とてもそう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	わからない
TOTAL (n=7197)		17.5	43.2	28.1	4.8	1.5	4.9
既婚	子供なし						
	男性 (n=737)	11.8	40.3	33.9	3.1	1.5	9.4
	女性 (n=986)	12.6	38.6	31.2	6.5	1.4	9.6
	子供あり						
男性 (n=2493)	18.1	43.6	29.0	4.4	1.1	3.7	
女性 (n=2981)	20.1	45.0	24.9	5.1	1.7	3.1	

		n=	とてもそう 思う	ややそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	まったくそう 思わない	わからない
TOTAL		7197	17.5	43.2	28.1	4.8	1.5	4.9
既婚	子供なし							
	男性	737	11.8	40.3	33.9	3.1	1.5	9.4
	女性	986	12.6	38.6	31.2	6.5	1.4	9.6
	子供あり							
男性	2493	18.1	43.6	29.0	4.4	1.1	3.7	
女性	2981	20.1	45.0	24.9	5.1	1.7	3.1	

【問 60】あなたの現在の住まいについてお答え下さい。

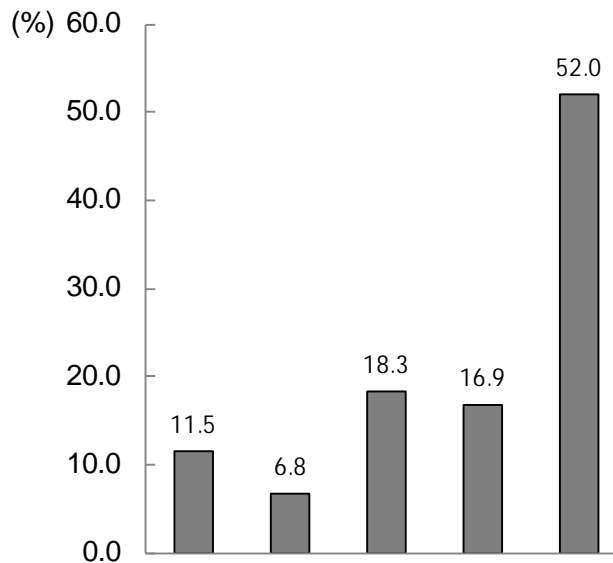
同居とは同一敷地内で同棟に居住すること、近居とは、車・電車で概ね1時間以内の距離に住んでいることを指します。

質問対象：問5で「両親ともいない」以外を選択した結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性・女性とも、「同居・近居はしていない」が最も高くなっている。

子供の有無にかかわらず既婚男性で「自分の（両）親と同居している」が女性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 4 現在の住まい(複数回答)



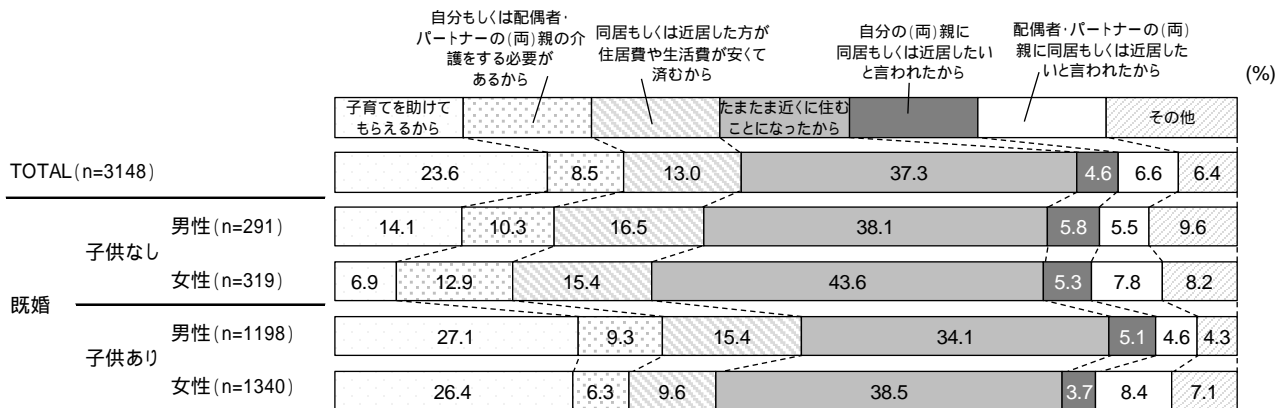
		n=	自分の（両）親と同居している	配偶者またはパートナーの	自分の（両）親と同居している	配偶者または近居している	同居・近居はしていない	
TOTAL		6557	11.5	6.8	18.3	16.9	52.0	
既婚	子供なし	男性	659	15.0	6.4	15.5	12.4	55.8
		女性	889	9.8	4.5	13.8	11.7	64.1
	子供あり	男性	2258	13.4	7.2	19.6	19.6	46.9
		女性	2751	9.6	7.2	19.4	17.3	51.3

【問 61】同居もしくは近居することになった理由は何ですか。最も当てはまるものをひとつお選び下さい。

質問対象：問 60 で自分の（両）親、または配偶者またはパートナーの（両）親と同居または近居していると回答した者

既婚男性・女性とも、「たまたま近くに住むことになったから」が最も高くなっている。子供がいる既婚者は男女ともに「子育てを助けてもらえるから」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚女性で「たまたま近くに住むことになったから」「自分もしくは配偶者・パートナーの（両）親の介護をする必要があるから」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 5 同居もしくは近居することになった理由(単一回答)

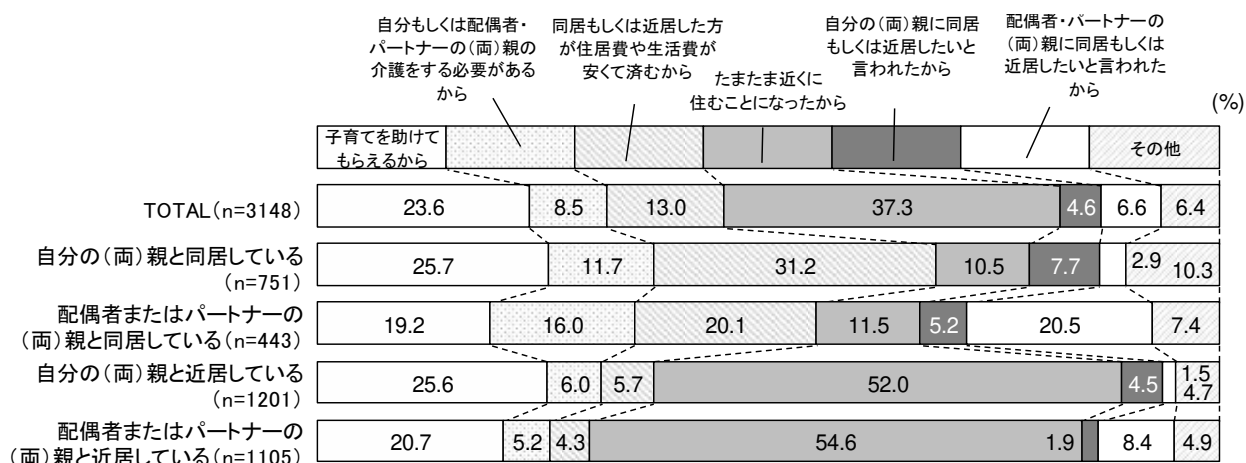


		n=	子育てを助けてもらえるから	自分もしくは配偶者・パートナーの(両)親の介護をする必要があるから	同居もしくは近居した方が住居費や生活費が安くて済むから	たまたま近くに住むことになったから	自分の(両)親に同居もしくは近居したいと言われたから	配偶者・パートナーの(両)親に同居もしくは近居したいと言われたから	その他	
TOTAL		3148	23.6	8.5	13.0	37.3	4.6	6.6	6.4	
既婚	子供なし	男性	291	14.1	10.3	16.5	38.1	5.8	5.5	9.6
	子供なし	女性	319	6.9	12.9	15.4	43.6	5.3	7.8	8.2
	子供あり	男性	1198	27.1	9.3	15.4	34.1	5.1	4.6	4.3
	子供あり	女性	1340	26.4	6.3	9.6	38.5	3.7	8.4	7.1

現在の住まい別の理由としては、

- 「自分の（両）親と同居している」「配偶者またはパートナーの（両）親と同居している」では「同居もしくは近居した方が住居費や生活費が安く済むから」「自分もしくは配偶者・パートナーの（両）親の介護をする必要があるから」が近居の場合と比べて有意に高くなっている。
- 「自分の（両）親と近居している」「配偶者またはパートナーの（両）親と近居している」では、「たまたま近くに住むことになったから」が同居の場合と比べて有意に高くなっている。

図表 4-3-6 同居もしくは近居することになった理由／現在の住まい別



n=	子育てを助けてもらえるから	自分もしくは配偶者・パートナーの（両）親の介護をする必要があるから	同居もしくは近居した方が住居費や生活費が安く済むから	たまたま近くに住むことになったから	自分の（両）親に同居もしくは近居したいと言われたから	配偶者・パートナーの（両）親に同居もしくは近居したいと言われたから	その他	
TOTAL	3148	23.6	8.5	13.0	37.3	4.6	6.6	6.4
自分の（両）親と同居している	751	25.7	11.7	31.2	10.5	7.7	2.9	10.3
配偶者またはパートナーの（両）親と同居している	443	19.2	16.0	20.1	11.5	5.2	20.5	7.4
自分の（両）親と近居している	1201	25.6	6.0	5.7	52.0	4.5	1.5	4.7
配偶者またはパートナーの（両）親と近居している	1105	20.7	5.2	4.3	54.6	1.9	8.4	4.9

【問 62】出産後の住まいについて、あなたはどのように思いますか。あなた自身の親、配偶者またはパートナーの親のそれぞれについて、あなたの考え方に最も近いものをお選び下さい。

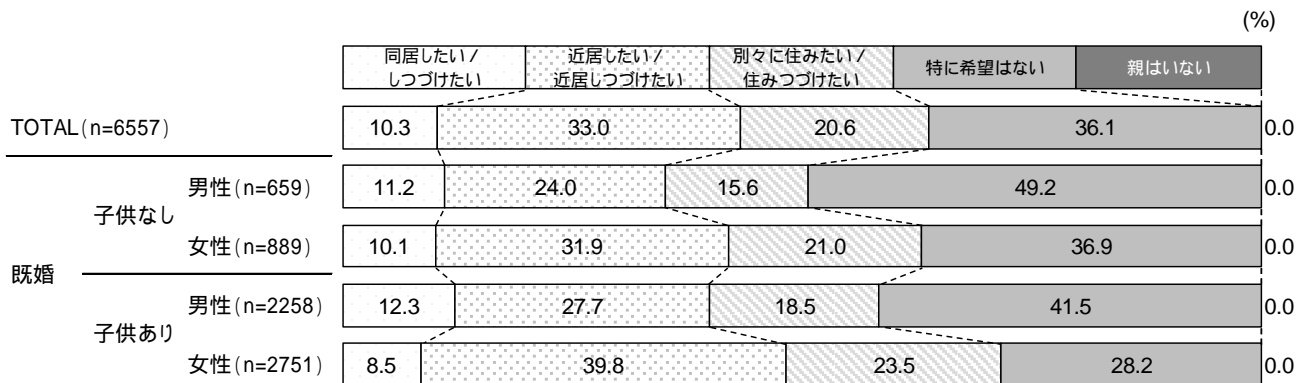
すでに子供がいる方は現在の希望をお答え下さい。配偶者またはパートナーの有無や実現できるか否かによらず、希望についてお答え下さい。

(1) 自分の(両)親

質問対象：問5で「両親ともいない」以外を選択した結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性（子供の有無にかかわらず）及び子供がいない既婚女性では「特に希望はない」が最も高く、次いで「近居したい/近居しつづけたい」となっているが、子供がいる既婚女性では「近居したい/近居しつづけたい」が最も高く、次いで「特に希望はない」となっている。子供の有無にかかわらず既婚男性では「特に希望はない」が女性と比べて有意に高くなっている。他方、子供がいる既婚女性で「近居したい/近居しつづけたい」「別々に住みたい/住みつづけたい」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 7 出産後の住まいの希望: 自分の(両)親(単一回答)



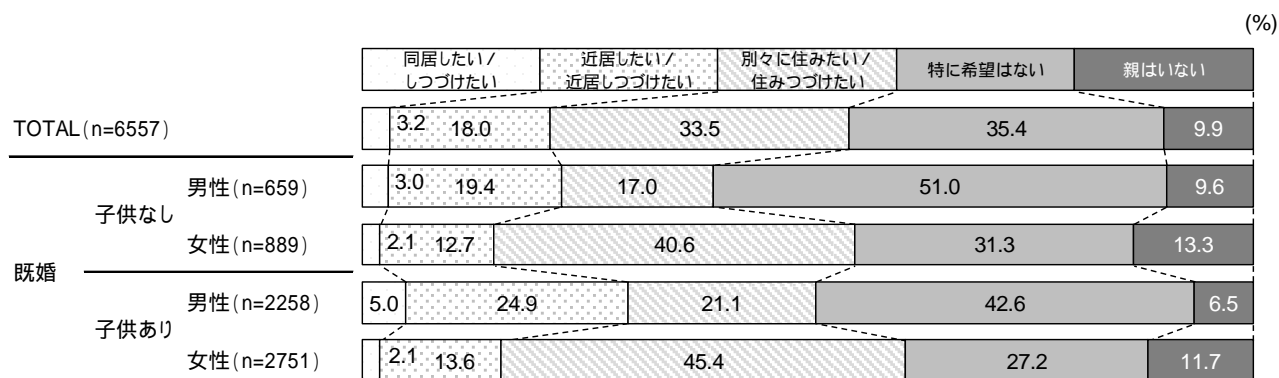
		n=	同居したい/ しつづけたい	近居したい/ 近居しつづけたい	別々に住みたい/ 住みつづけたい	特に希望はない	親はいない
TOTAL		6557	10.3	33.0	20.6	36.1	0.0
既婚	子供なし						
	男性	659	11.2	24.0	15.6	49.2	0.0
	女性	889	10.1	31.9	21.0	36.9	0.0
	子供あり						
男性	2258	12.3	27.7	18.5	41.5	0.0	
女性	2751	8.5	39.8	23.5	28.2	0.0	

(2) 配偶者の(両)親

質問対象：問5で「両親ともいない」以外を選択した結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性では「特に希望はない」が最も高く、次いで「近居したい/近居しつづけたい」となっているが、既婚女性では「別々に住みたい/住みつづけたい」が最も高く、次いで「特に希望はない」となっている。
 子供の有無にかかわらず既婚男性で「特に希望はない」、既婚女性で「別々に住みたい/住みつづけたい」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 8 出産後の住まいの希望: 配偶者の(両)親(単一回答)



(%)

		同居したい/ しつづけたい	近居したい/ 近居しつづけたい	別々に住みたい/ 住みつづけたい	特に希望はない	親はいない		
TOTAL		6557	3.2	18.0	33.5	35.4	9.9	
既婚	子供なし	男性	659	3.0	19.4	17.0	51.0	9.6
		女性	889	2.1	12.7	40.6	31.3	13.3
	子供あり	男性	2258	5.0	24.9	21.1	42.6	6.5
		女性	2751	2.1	13.6	45.4	27.2	11.7

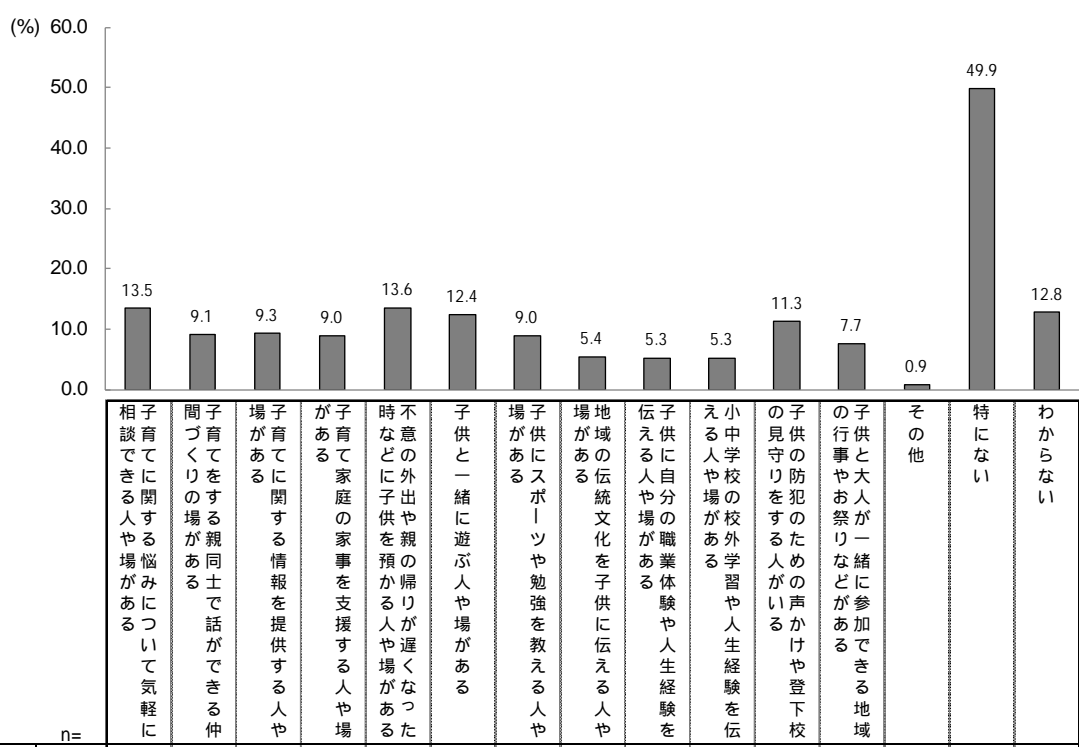
【問 63】あなたは、地域で子育てを支えるために、どのようなことに困っていますか。また、特に重要だと思うものをこの中からすべてあげて下さい。

(1) 現在困っていること

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）のうち、子供がいる者

既婚男性・女性とも、「特にない」が最も高くなっており、次いで既婚男性では「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場がある」、既婚女性では「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子供を預かる人や場がある」となっている。
 子供がいる既婚女性では「不意の外出や親の帰りが遅くなった時に子供を預かる人や場がある」「子供の防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいる」が子供がいる既婚男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 9 地域で子育てを支えるために現在困っていること(複数回答)



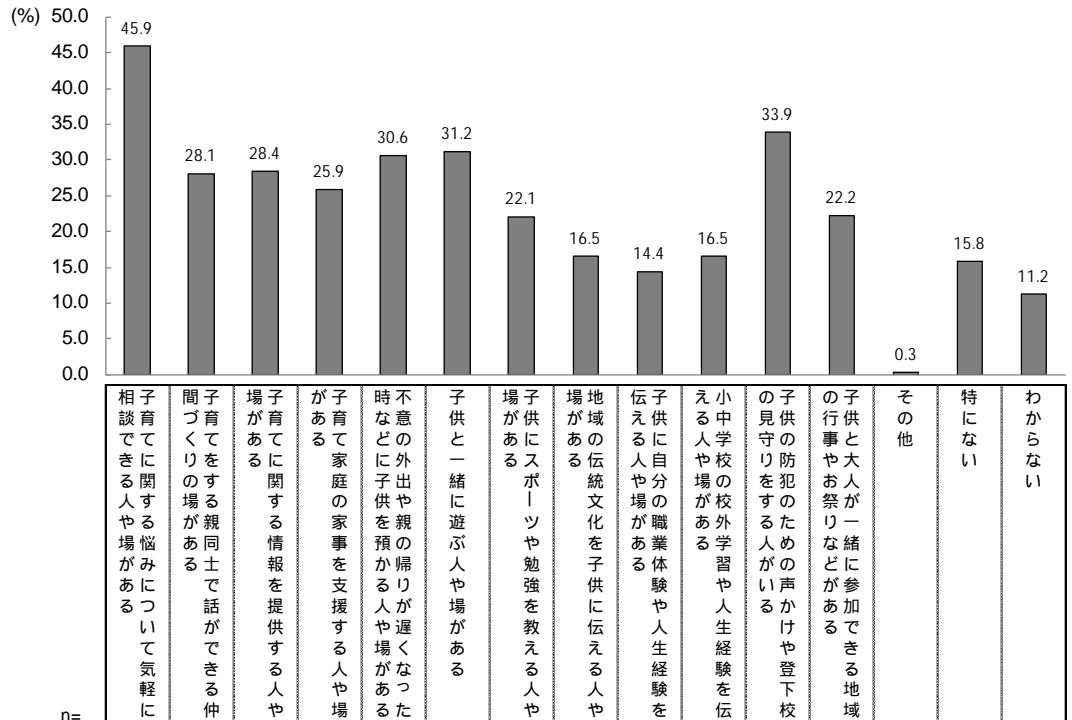
	n=	相談できる人や場がある	子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの場がある	子育てに関する情報を提供する人や場がある	子育て家庭の家事を支援する人や場がある	不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子供を預かる人や場がある	子供と一緒に遊ぶ人や場がある	子供にスポーツや勉強を教える人や場がある	地域の伝統文化を子供に伝える人や場がある	子供に自分の職業体験や人生経験を伝える人や場がある	小中学校の校外学習や人生経験を伝える人や場がある	子供の防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいる	子供と大人が一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがある	その他	特にない	わからない
TOTAL	5374	13.5	9.1	9.3	9.0	13.6	12.4	9.0	5.4	5.3	5.3	11.3	7.7	0.9	49.9	12.8
既婚 男性	2457	13.6	9.8	9.4	9.3	11.2	11.4	9.5	5.9	5.5	5.5	9.3	7.1	0.8	49.9	13.2
既婚 女性	2917	13.5	8.5	9.2	8.7	15.7	13.2	8.7	5.0	5.1	5.1	12.9	8.3	0.9	50.0	12.4

(2)重要だと思うこと

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性・女性とも、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場がある」が最も高くなっている。
 子供の有無にかかわらず既婚女性は「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場がある」「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子供を預かる人や場がある」「子育てに関する情報を提供する人や場がある」「子育て家庭の家事を支援する人や場がある」が他と比べて有意に高くなっている。
 前問の「現在困っていること」との比較では、当事者として困っていることを挙げる者は少ない一方で、本問では、地域で子育てを支えるにあたって重要だと思うことを複数挙げる者の割合が、子供の有無・男女別にかかわらず高くなっている。

図表 4 - 3 - 10 地域で子育てを支えるために重要だと思うこと(複数回答)



		n=	相談できる人や場がある	子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場がある	間づくりをする親同士で話ができる仲間がある	子育てに関する情報を提供する人や場がある	子育て家庭の家事を支援する人や場がある	不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子供を預かる人や場がある	子供と一緒に遊ぶ人や場がある	子供にスポーツや勉強を教える人や場がある	地域の伝統文化を子供に伝える人や場がある	子供に自分の職業体験や人生経験を伝える人や場がある	小中学校の校外学習や人生経験を伝える人や場がある	子供の防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいる	子供と大人が一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがある	その他	特になし	わからない
TOTAL		7197	45.9	28.1	28.4	25.9	30.6	31.2	22.1	16.5	14.4	16.5	33.9	22.2	0.3	15.8	11.2	
既婚	子供なし	男性	737	47.1	28.5	31.2	25.8	23.6	27.0	19.5	14.1	13.3	14.8	24.4	17.1	0.3	13.6	18.7
		女性	986	51.6	30.8	34.6	34.2	37.0	33.9	23.4	17.4	14.5	18.0	35.6	24.6	0.2	12.5	18.2
	子供あり	男性	2493	35.9	25.7	23.5	20.5	23.4	29.8	23.1	16.8	13.6	15.0	27.6	20.2	0.5	20.7	9.9
		女性	2981	52.1	29.2	29.9	27.6	36.2	32.5	21.4	16.4	15.3	17.8	40.8	24.4	0.1	13.3	8.0

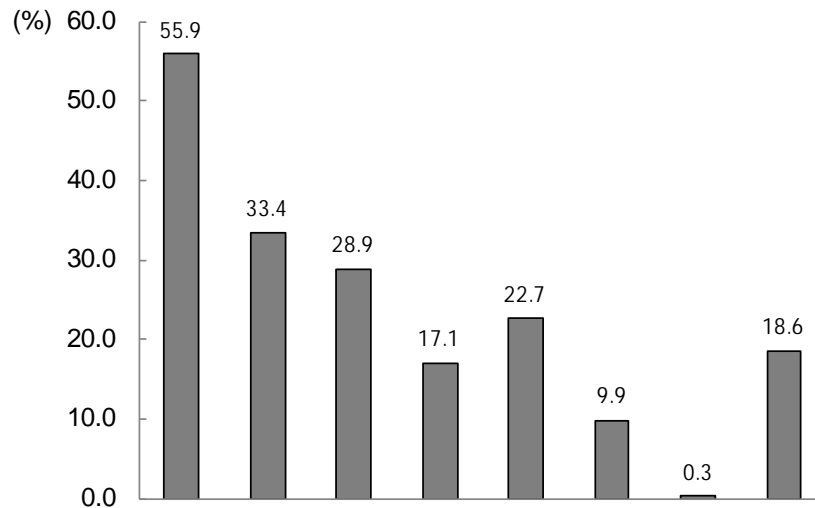
【問 64】地域や民間の、子供の一時預かりサービスを利用する際に、気になることはありますか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

現在子供がいない方は、子供を持った時のことを想定してお答え下さい。

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）で子供がいるか、子供を持つ意向のある人

既婚男性・女性とも、「費用面の負担が大きい」が最も高く、次いで既婚男性（子供の有無にかかわらず）及び子供がいる既婚女性では「よく知らない人や施設に子供を預けることが不安」、子供がいない既婚女性では「どのようなサービスがあるか分からない」となっている。子供の有無にかかわらず既婚女性では「よく知らない人や施設に子供を預けることが不安」「申込期限などの関係で、預けたいときに、預けることができないなど使い勝手が悪い」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚女性では「費用面の負担が大きい」「どのようなサービスがあるか分からない」「申し込み方が分からない」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 11 地域や民間の一時預かりサービスを利用する際に気になること(複数回答)



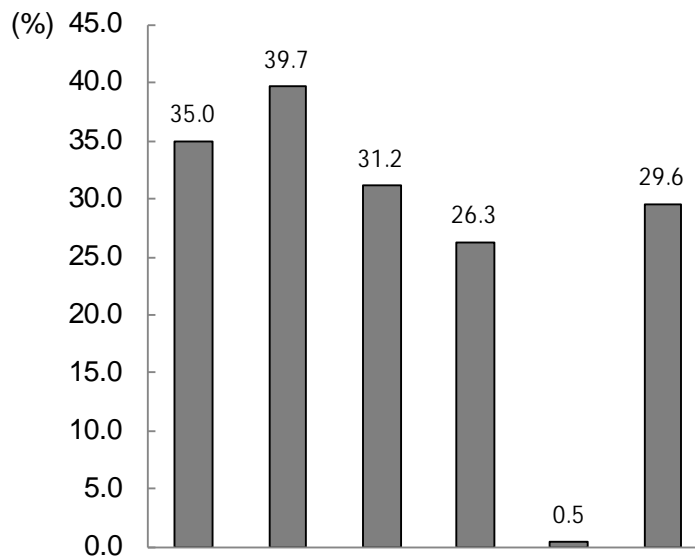
		n=	費用面の負担が大きい	よく知らない人や施設に子供を預けることが不安	どときにも預けることができない	申込期限などの関係で、預けたいときに預けられない	そもそも身近にそうしたサービスがない	申し込み方が分からない	その他	特になし	
TOTAL		6121	55.9	33.4	28.9	17.1	22.7	9.9	0.3	18.6	
既婚	子供なし	男性	322	58.4	34.5	27.3	19.3	30.7	13.0	0.3	18.9
		女性	325	63.1	40.6	36.9	17.8	43.7	18.8	0.0	9.2
	子供あり	男性	2493	53.4	28.7	22.9	16.6	19.7	8.0	0.4	22.5
		女性	2981	56.8	36.4	33.1	17.2	22.0	10.1	0.3	16.4

【問 65】保育サービスや身内による援助の他に、子育ての負担を軽減する政策として、必要だと考えるものは何ですか。あてはまるものをすべてお選び下さい。

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性・女性とも、「一時預り事業などの民間のサービスの施設の利便性を高める」が最も高くなっている。
 子供の有無にかかわらず既婚男性で「税制による優遇措置を創設する」が女性と比べて有意に高くなっている。また、子供の有無にかかわらず既婚女性で「一時預り事業などの民間のサービスの施設の利便性を高める」が男性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 12 子育ての負担を軽減する政策として必要なもの(複数回答)



		n=	施設の利便性を高める	一時預り事業などの民間のサービスの施設の利便性を高める	子どもを預ける（保育園、幼稚園、認定こども園、学童保育など）	子育て関連サービスの利用（上記の料金を含む）	税制による優遇措置を創設する	その他	特になし
TOTAL		7197	35.0	39.7	31.2	26.3	0.5	29.6	
既婚	子供なし	男性	737	33.0	36.8	21.8	30.1	0.1	34.6
		女性	986	37.3	43.8	28.2	20.7	0.6	33.8
	子供あり	男性	2493	31.6	35.0	28.3	32.2	0.5	30.8
		女性	2981	37.6	43.1	37.0	22.4	0.5	26.1

【問 66】あなたは、子連れや、ご自身の妊娠中もしくは妊娠中のパートナーと外出することに不安を感じていますか。または、感じていましたか。

現在子供がいない方は、子供を持った時のことを想定してお答え下さい。

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）で子供がいるか、子供を持つ意向のある人

既婚男性では「どちらともいえない(いえなかった)」が最も高く、次いで「やや感じている(いた)」となっているが、既婚女性では「やや感じている(いた)」が最も高く、次いで「どちらともいえない(いえなかった)」となっている。

子供の有無にかかわらず既婚女性で「感じている(いた)」が男性と比べて有意に高くなっている。また、子供の有無にかかわらず既婚男性で「どちらともいえない(いえなかった)」が女性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 13 子連れ、自身・パートナーが妊娠中に外出に不安を感じるか(単一回答)

(%)

		感じている(いた)	やや感じている(いた)	どちらともいえない(いえなかった)	あまり感じていない(いなかった)	感じていない(いなかった)
TOTAL (n=6121)		7.8	29.8	34.0	21.6	6.8
既婚	子供なし					
	男性 (n=322)	10.6	32.6	46.0	7.8	3.1
	女性 (n=325)	13.2	38.8	33.5	11.1	3.4
	子供あり					
男性 (n=2493)	4.8	28.2	38.3	21.9	6.9	
女性 (n=2981)	9.5	29.9	29.1	24.1	7.5	

		n=	感じている(いた)	やや感じている(いた)	どちらともいえない(いえなかった)	あまり感じていない(いなかった)	感じていない(いなかった)
TOTAL		6121	7.8	29.8	34.0	21.6	6.8
既婚	子供なし						
	男性	322	10.6	32.6	46.0	7.8	3.1
	女性	325	13.2	38.8	33.5	11.1	3.4
	子供あり						
男性	2493	4.8	28.2	38.3	21.9	6.9	
女性	2981	9.5	29.9	29.1	24.1	7.5	

(%)

【問 67】あなたは、次のような支援・環境があれば安心して妊娠中や子連れで外出できるようになると思いませんか。

(1) 交通機関において妊婦や子連れに配慮した設備やサービスが整っている

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性（子供の有無にかかわらず）及び子供がいない既婚女性では「どちらともいえない」が最も高く、子供がいる既婚女性では「ややそう思う」が最も高くなっている。
 子供がいる既婚女性では「ややそう思う」「そう思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供の有無にかかわらず男性で「どちらともいえない」が女性と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 14 安心して妊娠中や子連れで外出できる支援や環境：交通機関において妊婦や子連れに配慮した設備やサービスが整っている（単一回答）

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL (n=7197)		11.1	32.7	34.8	16.8	4.5
既婚	子供なし					
	男性 (n=737)	6.9	26.5	43.4	17.8	5.4
	女性 (n=986)	9.2	30.8	37.0	17.4	5.5
	子供あり					
	男性 (n=2493)	9.9	32.2	37.0	16.8	4.0
	女性 (n=2981)	13.8	35.3	30.2	16.3	4.4

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL		7197	11.1	32.7	34.8	16.8	4.5
既婚	子供なし						
	男性	737	6.9	26.5	43.4	17.8	5.4
	女性	986	9.2	30.8	37.0	17.4	5.5
	子供あり						
	男性	2493	9.9	32.2	37.0	16.8	4.0
	女性	2981	13.8	35.3	30.2	16.3	4.4

(2) 子供と一緒にだとお得なサービスが受けられる

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性（子供の有無にかかわらず）及び子供のいない既婚女性では「どちらともいえない」が最も高く、子供がいる既婚女性では「ややそう思う」が最も高くなっている。
 子供がいる既婚女性では「ややそう思う」「そう思う」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚者では男女とも「どちらともいえない」が子供がいる既婚者と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 15 安心して妊娠中や子連れで外出できる支援や環境：子供と一緒にだとお得なサービスが受けられる（単一回答）

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL (n=7197)		10.9	32.8	37.3	15.1	4.0
既婚	子供なし					
	男性 (n=737)	6.0	24.7	49.3	14.7	5.4
	女性 (n=986)	6.1	30.4	44.0	14.5	5.0
	子供あり					
	男性 (n=2493)	10.8	31.5	38.5	15.4	3.8
	女性 (n=2981)	13.9	36.6	31.1	15.1	3.4

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL		7197	10.9	32.8	37.3	15.1	4.0
既婚	子供なし						
	男性	737	6.0	24.7	49.3	14.7	5.4
	女性	986	6.1	30.4	44.0	14.5	5.0
	子供あり						
	男性	2493	10.8	31.5	38.5	15.4	3.8
	女性	2981	13.9	36.6	31.1	15.1	3.4

(3) 外出先で、妊婦や子連れに配慮した設備・サービスが整っている

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

子供がいない既婚者は男女ともに「どちらともいえない」が最も高く、子供がいる既婚者は男女ともに「ややそう思う」が最も高くなっている。
 子供がいる既婚女性では「ややそう思う」「そう思う」が他と比べて有意に高くなっている。既婚男性（子供の有無にかかわらず）や子供がいない既婚女性では「どちらともいえない」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 16 安心して妊娠中や子連れで外出できる支援や環境:外出先で、妊婦や子連れに配慮した設備・サービスが整っている(単一回答)

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL (n=7197)		14.8	35.6	31.6	14.3	3.8
既婚	子供なし 男性 (n=737)	8.5	30.4	41.5	13.8	5.7
	子供なし 女性 (n=986)	12.5	34.4	36.6	12.8	3.8
	子供あり 男性 (n=2493)	13.4	34.1	33.7	15.1	3.7
	子供あり 女性 (n=2981)	18.4	38.5	25.7	14.2	3.3

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL		7197	14.8	35.6	31.6	14.3	3.8
既婚	子供なし 男性	737	8.5	30.4	41.5	13.8	5.7
	子供なし 女性	986	12.5	34.4	36.6	12.8	3.8
	子供あり 男性	2493	13.4	34.1	33.7	15.1	3.7
	子供あり 女性	2981	18.4	38.5	25.7	14.2	3.3

(4) 周囲の人たちの妊婦や子連れへのあたたかい態度や手助けがある

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性（子供の有無にかかわらず）及び子供がいない既婚女性では「どちらともいえない」が最も高く、子供がいる既婚女性では「ややそう思う」が最も高くなっている。
 子供がいる既婚女性では「ややそう思う」「そう思う」が他と比べて有意に高くなっている。既婚男性（子供の有無にかかわらず）や子供がいない既婚女性で「どちらともいえない」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 17 安心して妊娠中や子連れで外出できる支援や環境：周囲の人たちの妊婦や子連れへのあたたかい態度や手助けがある（単一回答）

(%)

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL (n=7197)		16.0	33.3	34.5	12.6	3.6
既婚	子供なし 男性 (n=737)	11.0	28.1	42.7	13.0	5.2
	子供なし 女性 (n=986)	14.4	31.9	37.7	12.0	4.0
	子供あり 男性 (n=2493)	14.3	31.0	38.2	13.3	3.2
	子供あり 女性 (n=2981)	19.2	36.9	28.4	12.0	3.4

		n=	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
TOTAL		7197	16.0	33.3	34.5	12.6	3.6
既婚	子供なし 男性	737	11.0	28.1	42.7	13.0	5.2
	子供なし 女性	986	14.4	31.9	37.7	12.0	4.0
	子供あり 男性	2493	14.3	31.0	38.2	13.3	3.2
	子供あり 女性	2981	19.2	36.9	28.4	12.0	3.4

【問 68】「子育て支援パスポート」を御存じですか。

質問対象：結婚経験者（既婚・離死別）

既婚男性・女性とも、「知らなかった」が最も高くなっている。
 子供がいる既婚女性は「知っている」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚者は男女とも「知らなかった」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 18 「子育て支援パスポート」を知っているか(単一回答)

(%)

		知っている	知らなかった
TOTAL (n=7197)		20.5	79.5
既婚	子供なし		
	男性 (n=737)	12.6	87.4
	女性 (n=986)	14.4	85.6
	子供あり		
男性 (n=2493)	20.0	80.0	
女性 (n=2981)	24.9	75.1	

			n=	知っている	知らなかった
TOTAL			7197	20.5	79.5
既婚	子供なし	男性	737	12.6	87.4
		女性	986	14.4	85.6
	子供あり	男性	2493	20.0	80.0
		女性	2981	24.9	75.1

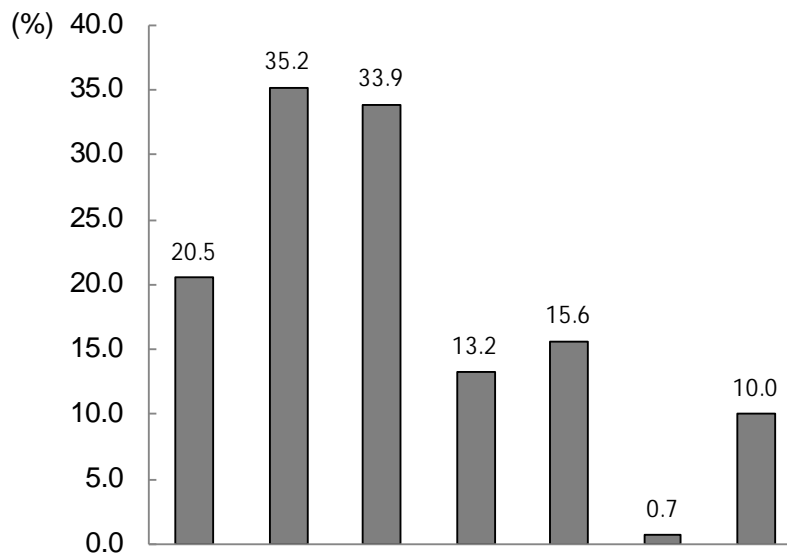
【問 69】どのようにしてお知りになりましたか。

質問対象：問 68 で「知っている」と回答した者

子供の有無にかかわらず既婚男性では「国や自治体のチラシやポスター、パンフレット等で知った」が最も高くなっている。子供がいる既婚女性では「自治体の窓口や学校等でパスポートそのものを配布された」が、子供がいない既婚女性では「新聞やテレビなどの報道で知った」が最も高くなっている。

子供がいる既婚女性は「自治体の窓口や学校等でパスポートそのものを配布された」が 41.6% と他と比べて有意に高くなっている。また、既婚男性（子供の有無にかかわらず）や子供がいない既婚女性で「新聞やテレビなどの報道で知った」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 19 「子育て支援パスポート」をどこで知ったか(複数回答)



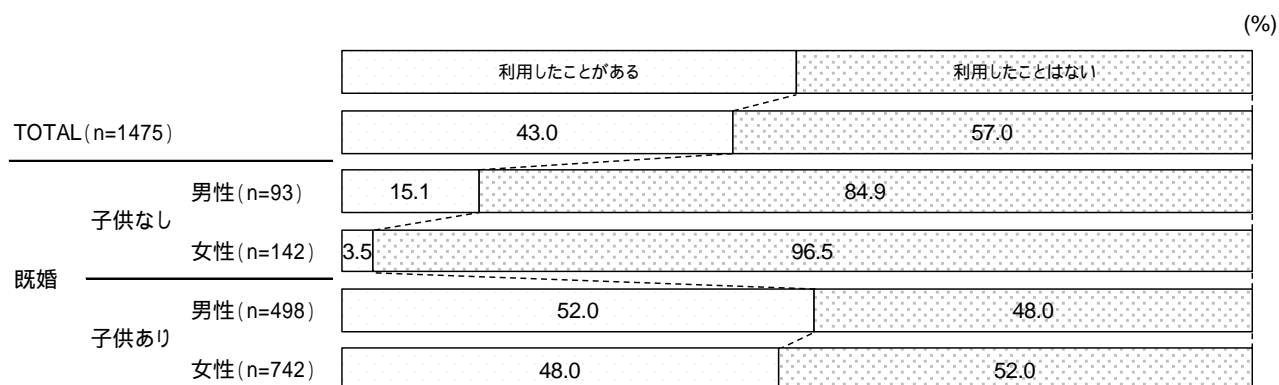
		n=	新聞やテレビなどの報道で知った	国や自治体のチラシやポスター、パンフレット等で知った	自治体の窓口や学校等でパスポートそのものを配布された	友人・知人・家族経由で知った	協賛店の店頭で知った	その他	覚えていない	
TOTAL		1475	20.5	35.2	33.9	13.2	15.6	0.7	10.0	
既婚	子供なし	男性	93	36.6	39.8	15.1	11.8	19.4	0.0	7.5
		女性	142	29.6	20.4	7.7	26.8	23.9	2.1	8.5
	子供あり	男性	498	24.7	37.8	33.3	16.9	13.9	0.2	9.4
		女性	742	13.9	35.7	41.6	8.2	14.7	0.8	10.9

【問 70】「子育て支援パスポート」を利用したことはありますか。

質問対象：問 68 で「知っている」と回答した者

子供がいる既婚者は男女とも「利用したことがある」が他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚者は男女とも「利用したことはない」が他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 20 「子育て支援パスポート」の利用経験(単一回答)



			n=	利用したことがある	利用したことはない
TOTAL			1475	43.0	57.0
既婚	子供なし	男性	93	15.1	84.9
		女性	142	3.5	96.5
	子供あり	男性	498	52.0	48.0
		女性	742	48.0	52.0

(%)

【問 71】「子育て支援パスポート」は、1)授乳やおむつ交換場所の提供、2)ベビーカー入店可能、3)ポイント割増サービス、4)金利優遇等、様々なサービスがありますが、利用してみたいと思いますか。

質問対象：問 70 で「利用したことはない」と回答した者

子供がいる既婚女性は「利用してみたい」が 54.7%と他と比べて有意に高くなっている。子供がいない既婚女性は「別に利用したいと思わない」が 57.7%と他と比べて有意に高くなっている。

図表 4 - 3 - 21 「子育て支援パスポート」の利用意向(単一回答)

		利用してみたい	別に利用したいと思わない
TOTAL (n=841)		50.8	49.2
既婚	子供なし		
	男性 (n=79)	46.8	53.2
	女性 (n=137)	42.3	57.7
	子供あり		
男性 (n=239)	50.6	49.4	
女性 (n=386)	54.7	45.3	

		n=	利用してみたい	別に利用したいと思わない
TOTAL		841	50.8	49.2
既婚	子供なし			
	男性	79	46.8	53.2
	女性	137	42.3	57.7
	子供あり			
男性	239	50.6	49.4	
女性	386	54.7	45.3	

